大正九年九月十四日（第三種郵便物認可）
★第九卷第四号（毎月一回一日発行）

建築ト社會



第三輯
第四号

大正九年四月一日

日本建築協會

日本建築協會會則

第一條　本會ノ目的ハ我國建築界ノ堅實ナル發展ヲ期スルニ在リ

第二條　本會ハ日本建築協會ト稱ス

第三條　本會ハ事務所ヲ大阪市ニ置ク

地方ニ支會ヲ設クルコトヲ得

第四條　本會ハ人格、學識、經驗アル建築家ヲ以テ會員トス

會員ノ氏名住所ハ會員名簿ニ之ヲ記錄ス

會員タラムト希望スル者ハ會員五名以上ノ紹介ヲ以テ入會希望書及履歷書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會ノ詮衡ヲ經テ例會ニ於テ之ヲ議決ス

第五條　本會ハ其目的ヲ贊成シ事業ヲ援助スル者ヲ賛助員トス

賛助員ヲ分チテ左ノ四種トス

一　名譽賛助員―地位又ハ學識アル名望家

二　終身賛助員―金百圓以上又ハ之ニ相當スル物件ヲ本會ニ寄附スル篤志家

三　特別賛助員―建築ニ關聯スル特種ノ技術家又ハ事業家

四　普通賛助員―建築ニ關係又ハ趣味ヲ有スル者

賛助員ノ氏名住所寄附ノ金額又ハ物件ハ各賛助員名簿ニ之ヲ記錄ス

第六條　名譽賛助員ハ例會ノ決議ニ依リ本會之ヲ推薦ス

終身賛助員タラムトスル者ハ會員貳名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及寄附ノ金額又ハ物件ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

特別賛助員タラムトスル者ハ會員二名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及履歷書ヲ本會ニ提出スベシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

普通賛助員タラムト欲スル者ハ會員ノ紹介ヲ以テ申込書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

第七條　會員ハ會内ニ於ケル其言行ニ付會外ニ於テ責ニ任ゼザルコトヲ得

名譽賛助員ハ本會ノ優遇及第十九條ニ基キ相當ノ利得ヲ受ク

終身賛助員、特別賛助員及普通賛助員ハ第十九條ニ基キ會誌ノ配布其他各相當ノ利得ヲ受ク

第八條　會員ニシテ脫會セムトスル者ハ其旨ヲ本會ニ申込ムベシ

前項ノ規定ハ賛助員ニ之ヲ準用ス

第九條　本會ハ會員ニシテ本則ノ規定ニ違背シ又ハ本會ノ名譽ヲ汚スノ行爲アリト認メラルル者ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ其權利ヲ停止シ若ハ之ニ脫會ヲ勸告シ又ハ例會ノ決議ヲ經テ之ヲ除名スルコトヲ得

前項ノ規定ハ賛助員ニ之ヲ準用ス

第十條　脫會其他ノ事由ニ因リ會員タルノ資格ヲ失ヒタル者ハ既納會費ノ返還ヲ求メ又ハ其債務ヲ免カルルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ賛助員ニ之ヲ準用ス

第十一條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一　會頭　一名

二　副會頭　一名

三　理事長　一名

四　理事　六名

會頭ハ會務ヲ總攬シ本會ヲ代表ス

副會頭ハ會務ヲ補佐シ會頭事故アルトキ其職務ヲ代理ス

理事長ハ會務ヲ總理シ會頭、副會頭事故アルトキ其職務ヲ代理シ理事會ヲ代表ス

理事ハ會務ヲ處理シ理事長事故アルトキ理事會ノ決議ニ依リ其職務ヲ代理ス

第十二條　役員ハ會員中ヨリ例會ニ於テ之ヲ選擧ス但會頭副會頭ハ名譽賛助員中ヨリ之ヲ選出スルコトヲ得

役員ノ任期ハ貳年トス

理事ノ改選ハ每年半數トス但引續キ重任スルコトヲ得ズ

第十三條　本會ニ左ノ職員ヲ置ク

一　主記　一名

二　主計　一名

三　編輯　三名

四　編輯補　若干名

五　書記　若干名

主記ハ庶務ヲ、主計ハ會計ヲ、編輯ハ編纂ヲ處理ス

編輯補ハ編輯ノ旨ヲ受ケ編纂ヲ分掌ス

書記ハ理事長理事ノ命ヲ受ケ會務ニ從事ス

第十四條　主記、主計、編輯ハ理事之ヲ互選ス

編輯補ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名ス

書記ハ理事會之ヲ任命シ有給トスルコトヲ得

第十五條　本會ハ調査研究ノ必要ニ應ジ例會ノ決議ニ依リ各部ノ委員長及委員ヲ設ケ各部ニ委員長一名委員若干名ヲ置ク

委員長及委員ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名シ委員長ハ當該委員ノ互選トス

理事會ハ特殊事項ニ關シ會員外ノ專門家ヲ囑託委員トスルコトヲ得

第十六條　委員長ハ當該委員會ヲ代表シ委員長事故アルトキハ當該委員會ノ決議ニ依リ委員其職務ヲ代理ス

委員會ノ經過ハ例會ニ於テ之ヲ報告ス

委員會ノ調査研究報告ハ例會ノ決議ヲ經テ本會ノ名ヲ以テ之ヲ發表ス但シ緊急事項ニ付テハ理事會ノ承認ヲ經ヲ當該委員會ノ名ヲ以テスルコトヲ得

第十七條　本會ハ每月一回會員ヲ召集シ例會ヲ開キ重要事項ヲ審議シ報告ヲ、談話會、討論會又ハ講演會ヲ催ス但理事會ハ必要ト認ムルトキ臨時之ヲ開催スルコトヲ得

例會ニ於ケル議案其他ノ事項ハ理事會之ヲ會員ニ豫告ス但緊急事項ニ付テハ此限ニ在ラス

第十八條　本會ハ春秋二季大會ヲ擧行ス

第十九條　建築ニ關スル諸般事項ノ調査研究

調査研究報告ノ發表

建築ニ關スル重要事項ノ議決

會誌ノ發刊

建築ニ關スル圖書ノ刊行

建築ニ關スル講演會ノ開催

建築ニ關スル展覽會ノ公開

建築ニ關スル視察

建築ニ關スル有志者ノ親睦會

理想的建築ノ計畫

其他建築ニ關スル有益ナル事項

第二十條　會員ハ會費年額金拾貳圓ヲ本會ニ據出ス

一時ニ會百圓以上ヲ出ストキハ爾後前項ノ會費ヲ免ス

會員タルノ承認ヲ得タル者ハ入會金金五圓ヲ本會ニ納付スベシ

特別賛助員ハ特別賛助員ハ特別賛助會費年額金六圓ヲ、普通賛助員ハ普通賛助會費年額金參圓ヲ本會ニ前納スルコトヲ得

但六期以内ニ之ヲ分納スルコトヲ得

第二十一條　本會ノ經費ハ會費入會金寄附金賛助金其他ノ收入ヲ以テ支辨ス

本會ノ財產ハ理事長之ヲ監理ス

第二十二條　本會ノ財產權義及每月ノ收支ハ主計其計算書ヲ作リ翌月理事會ニ報告ス

本會ノ財產權義及每年ノ收支ハ理事會ニ於テ報告ス

第二十三條　本會及本則ニ關スル詳細ノ事項ハ例會ノ決議ニ依リ細則ニ之ヲ定ム

第二十四條　本則ハ例會ノ決議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得

■ 東京電氣照明器具 ■



登録商標 TEC

無料で設計も取附も致します

明日の流行品

神奈川縣川崎町

東京電氣株式會社

出張所 東京市京橋區銀座尾張町一ノ一 電話 銀座 一三七〇、一三七一
大阪市西區阿波堀通一ノ五 電話 長 六二〇、八九九、八九八
門司市西本町三ノ二九 電話 長 西本、六八七
名古屋市中區南大津町二ノ三ノ二 電話 本局 七 二五九八

仙臺市大町五ノ一五 電話 一三二
札幌區南一條西四ノ二 電話 九八九
大連市山縣通四五 電話 一二五五
上海南京路東首五六四 電話 三二六七、四八〇七

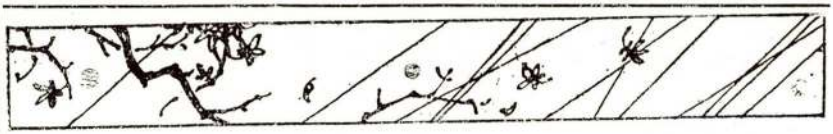
D-2

『建築と社會』第參輯第四號

目次

口繪　懸賞募集改良住宅設計圖案（自第一等當選至第二等第一席當選）

◉都市計畫と土地增價稅（卷頭）……會員　片岡安……二
◉都市建築勃興の大勢（上）……京都帝國大學教授　戸田海市……九
◉家賃騰貴、都市計畫及土地增價稅（上）……內務省都市計畫課長　池田宏……一八
◉都市計畫事業と財源（二）……會員　安井武雄……二二
◉大阪市市區改正計畫に對して……會員　伊藤正文……二五
◉改造と云ふこと……會員　工學博士　佐野利器……二七
◉大都市の建築物（B）……會員　葛野壯一郎……三〇
◉居構百選（其四）……特別贊助員　農學士　大屋靈城……三三
◉日本庭園考（一）……特別贊助員　伊藤清造……三八
◉京都古建築觀（補遺の畢）……江村郊邨……四一
◉『生』の反映たる建築
（一拳一想）＝都市計畫の觀方……大阪稅務監督局長　楠木正隆氏談……四六
◉稅務行政の側から觀た都市計畫……大阪府知事　池松時和氏談……四五
◉路面と公園と交通機關……



〔都市と社會施設〕

◉英國に於ける住宅政策(2)……大阪市發表……五一

〔資　料〕

◉大阪市都市計畫參考資料(其一)……五九

〔女流の建築觀〕

◉或男の話……美代子……六一

◉新式の斯ういふ旅館を建てたらと思ひます……婦人世界記者……吉村美代子……六四

〔漫　錄〕

◉四宜堂漫筆(三)……會員……佐藤四郎……六〇

〔藻　苑〕

◉俳句……芦田秋双選……七三

▲懸賞改良住宅設計案審査報告……七五

▲當選せる改良住宅設計案に就ての概評

□時報……八二

□會報……八六

附　錄

◉ブタペスト建築條例(下)……十七頁

GE. CHEMICAL PRODUCTS.

ジーエフ防水剤

GF. Waterproofing Paste.
GF. Trowel Coating.
GF. Dampproofing Coating.
GF. Acidproofing.
GF. Cristalrox,
GF. Mastic Cement.
GF. Timber Life.
GF. Floor Enamel,
GF. Brick and Cement Coating.
GF. Galvanized Steel Coating,
Etc., Etc.

ジーエフ塗料

GE
YOUNGSTOWN. OHIO.

TKS

製造元　米國ジェネラル、ファイヤープルーフキング會社

輸入元　中外貿易株式會社

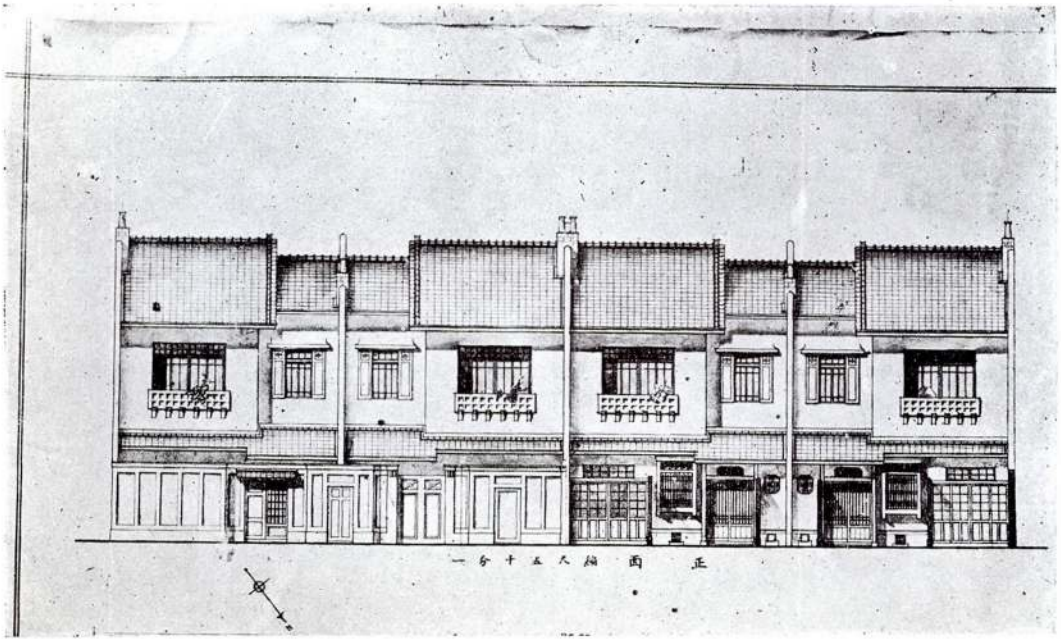
◉ジーエフ防水剤
◉ジーエフ防水防濕塗料
◉ジーエフ防酸塗料
◉ジーエフ室内裝飾塗料
◉ジーエフ床用塗料
◉ジーエフ金屬防蝕塗料
◉ジーエフ木材防蝕塗料
◉在庫品豊富◉

販賣元　株式會社東洋工業社

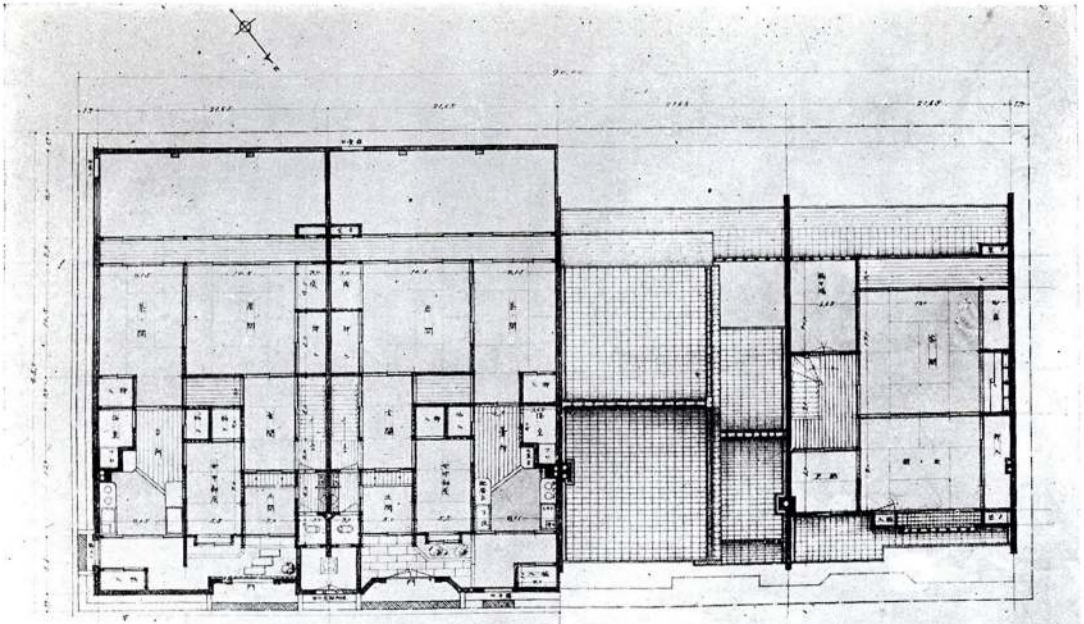
東京市京橋區傳馬町一丁目
電話京橋一二八〇・二二〇・四四三〇四五
出張所　大阪　名古屋　小倉　紐育

S.G.

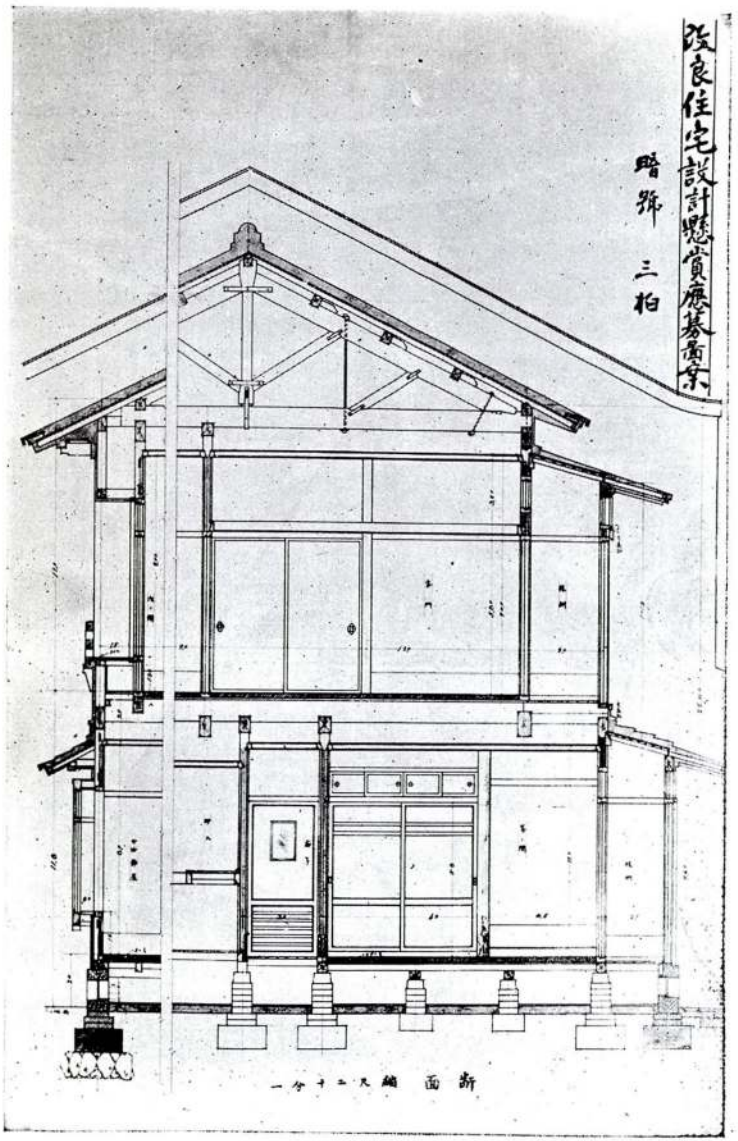
懸賞改良住宅設計案——壹等當選圖案の一



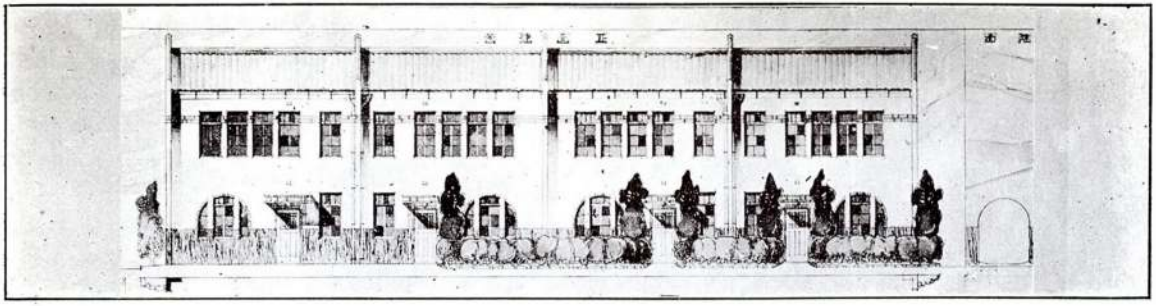
壹等當選圖案の二



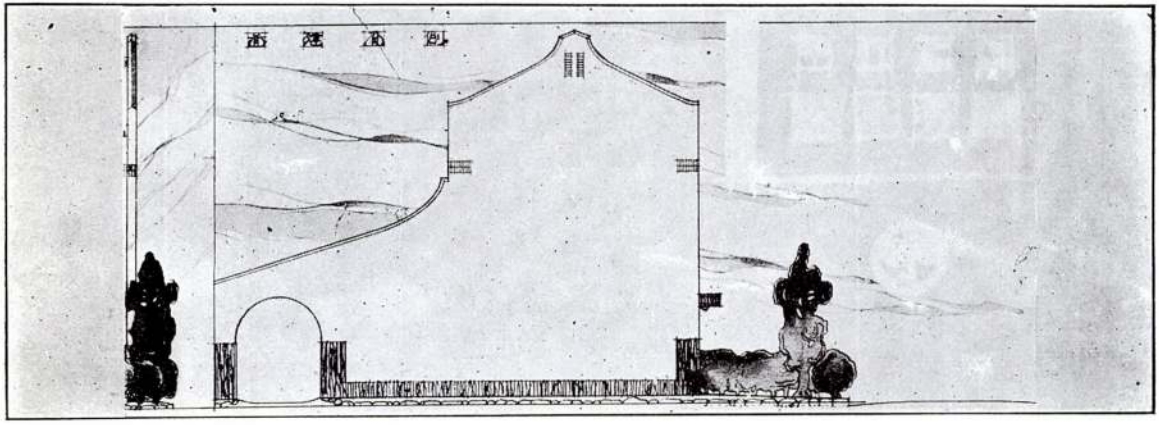
平面圖　縮尺五十分一


改良住宅設計懸賞應募圖案
暗殊 三柏
斷面圖 八二十分一

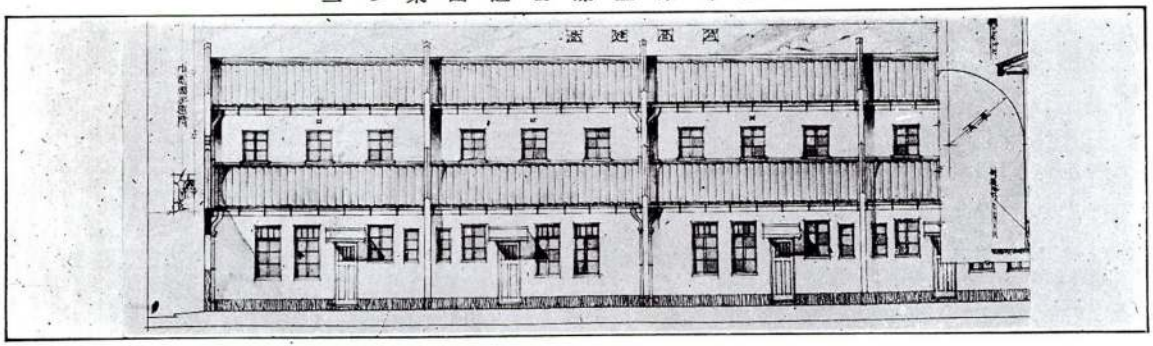
懸賞改良住宅設計案——第貳等第壹席當選圖案の一



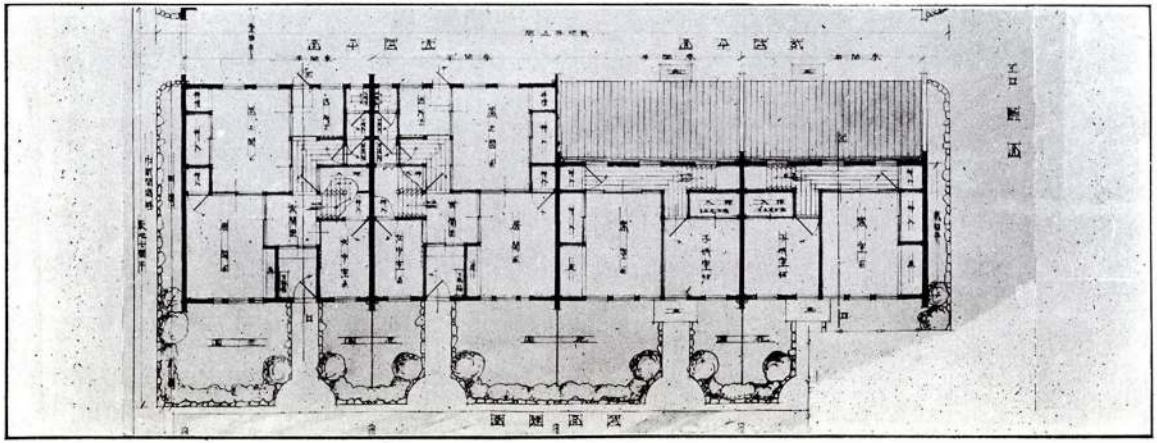
第貳等第壹席當選圖案の二



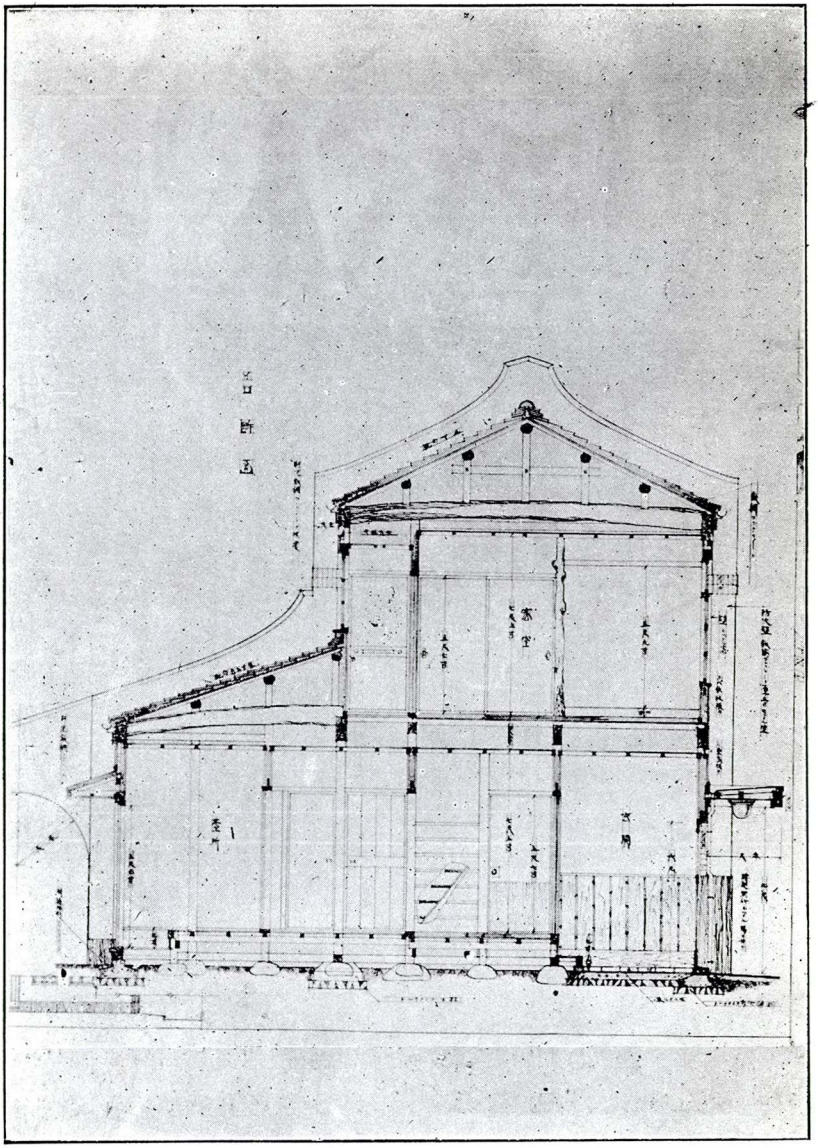
第貳等第壹席當選圖案の三



第貳等第壹席當選圖案の四



第貳等第壹席當選圖案の五



懸賞募集

改良住宅設計案當選者

曩に、大阪住宅經營株式會社の依囑に依つて募集せる改良住宅設計案は爾來審査中の處愈々去る三月十三日を以て左の通り當選者を確定し、同月廿日大阪市中央公會堂に於て頭書の賞金を交付せり

大阪市北區西梅ヶ枝町八九ノ一

第壹等（賞金參百圓）油谷清次君

東京市日本橋區濱町二ノ十四

第貳等第壹席（賞金貳百圓）中村庸二君

大阪市東區高麗橋横河工務所

第貳等第貳席（賞金貳百圓）藤原東君

極濱市神奈川仲町二七三

第參等第壹席（賞金壹百圓）荊木由太郎君

前橋市神明町馬場内

第參等第貳席（賞金壹百圓）澁谷唯男君

旅順新市街關東軍經理部營繕課

選外佳作第壹席（賞金壹百圓）川島良一郎君

新旅順月見町第六十八ノ四

選外佳作第貳席（賞金五拾圓）山岸政治君

追て、審査の經過及概記は本誌第七十六頁以下に就て觀られ度し

大正九年四月一日

日本建築協會

日本建築士會の報酬規定修正

同會は去る二月臨時總會に於て在來のものに修正を加へ左記の如く決せり尚ほ建築學會の在來技師報酬規定は去る一月の定期總會に於て廢止と決定せられたるを以て今後報酬規定を要せらるゝ向は麹町區永樂町一の一東京上海ビルディング七階日本建築士會へ申込まるときは左記規定印刷物を無料配布せらるゝことゝなれり。

（大正六年十月臨時總會ニ於テ決定
同九年二月臨時總會ニ於テ修正）

建築士の業務報酬規定

日本建築士會は建築士の業務に對する報酬を左の通り規定す

建築物の略圖案設計及監督の業務に對し建築士の受くる報酬定率は工費總額の百分の五を最低とす

一、略圖案とは依頼者との相談を經て大略の考案を提供するものを云ふ

二、設計とは建築を實施するに要する設計圖及詳細圖仕樣書及工費豫算書の作成を云ふ

三、監督とは工事の指導監督請負契約事務工費仕拂調査及承認を云ふ

四、工費總額とは如何なる場合に於ても總て新築物と見做して計算せる總金額を云ふ

工費總額五萬圓以内のものは定率に約百分の一を增加し、以下壹萬圓を減ずる毎に約百分の一宛を增加するものとす

左記の場合には報酬率を增加するものとす

一、住宅、附屬建造物、記念建築物、家具、庭園建築、裝飾物等

二、各種建造物の修繕及變更

三、工事を直營若くは分業請負に附するもの及設計、監督を建築士二人以上にて分擔するもの

四、依頼者の請求に依り略圖案決定後變更したるとき

左記の場合には報酬定率を減少するものとす

一、同一の設計を以て同時に二箇以上の建築を實施するとき此場合に於て其一に對し報酬定率を課し他は相當の減額をなすものとす

二、工場、倉庫其他建築の性質簡單にして建坪の大なるもの報酬金は便宜に依り左の割合に分割して之を受くるものとす

但工費確定前に受取るべき部分は概算に依りて受領し其確定後之を精算す

一、略圖案作成後　五分の一

二、設計作成後　五分の二

三、監督業務擔當中　五分の二を適宜分割す

依頼者が事業を中止し若くは廢止したるとき建築士は相當の報酬額を受くるものとす

現場監督員は建築士之を選定し其給料及諸入費は依頼者の負擔とす

建築士が監督の爲め若くは其擔當業務の爲め旅行するときは相當の旅費及日當を受くるのとす

建築士は左記の場合其他其擔當事項に關し依頼者の要求に應し特別の調査を行ふ場合には定率以外に相當の報酬を受くるものとす

一、煖房裝置、電氣裝置、瓦斯裝置、衞生裝置、機械的裝置及給畫彫刻裝飾其他の事項にして特に其專門技術家を要する場合

二、建築材料、構造、地質等の理化學試驗を要する場合

敷地の測量、建築法規上の手續、土地建物に關する協商、鑑定相談、評價の依頼に應ずるときは相當の報酬を受くるものとす

但前記は擔當業務と關聯したる場合に於ても亦本文に準す

圖面及仕樣書複製物は建築士の所有にして其著作權は建築士に專屬す



都市計畫と土地增價稅

凡ての各箇經濟は二方面の生活を營むものなり。即ち各箇經濟は、一面に於ては意識的に外界に向つて働き掛くると同時に、他面に於ては全く意思と作爲と不作爲とを離れて外界の勢力に服從するものなり。されば、之を國民經濟上正當にして完全なる營利課稅の目的より云へば、各箇經濟の收益中、多少ともに必ずや其經濟體の經濟活動即ち勞作 Arbeitsleistung に因りて出で來れりと見る可きものと、全く其經濟活動を離れ、唯單に經濟的法制即ち、所有權及び相續權の構成に附隨して起れる一般の原因若くは經過に依りて生じたるものとを嚴格に區別すべきものなり。此種の收益は、之を經濟上より見れば、遇然の事情に依り、若くは、自然增價に依り、全く人的經濟行爲を離れて發生せるものと云ふの外なし。されば此種の收益は、之を、國民經濟上正當にして公平なる租稅分配上より云へば、其收得者に對して課稅せらるべき課稅物體たるを爭ふ可からず。而して、自然增價に依る收益に課稅することの正當なる所以に至りては、之を、各個人及び各個經濟が國民經濟に對して有する關係中に求めざるべからざる也。

（アドルフ、ワグナー敎授但し河田博士の譯に據る）



都市建築勃興の大勢（上）

會員　片岡安

〔一〕世界的大勢

歐洲大戰亂の影響として各種の產業は其組織を擴大したけれども、獨り都市建築の建設は、大に其發展を阻止されたことは事實である。北米合衆國の如きは國令として其急要なるもの〻外は之を禁止した爲に、戰時中は俄然として其數量を減じたのである。我國にては、別に國法により戰時中の都市建築建設を制限した事實はなかつたのであるが、鐵材拂底の爲めに、又戰時工業の方に勞力を傾注した等の爲に比較的に其發展を妨げたように考へられる。我國には不幸にしてその方面の統計無きゆへに何等之を數量的に識るの途はないけれども、唯直覺的に之を見て都市建築の建設が大戰亂中は日一日と延び延びに見送られて來た事を承認し得るのである。其理由としては、大戰終熄の後は物價低落して建設の費用を減じ得ると言ふ打算と、又一つには經濟界に活動しつ〻ある人士は戰時中可成り多忙であつて、其期間も直ちに終りを告げるであらふと言ふ觀測をも數へ得るのである。

歐洲の交戰國に於ては都鄙到る處甚しき戰禍を受け、直接間接に家屋の窮乏を早めつ〻あつたの

であるから、戰亂終熄と共に、或は戰亂の終熄に達するまでに其復舊の急要を感じたのである。殊に戰士の歸鄉する者に對して住居の準備をなし置くべく可成り强く唱へられたことは、吾人の常に見聞した通りであつた。昨年初、英國の國民保健局が、英國を通じて五十萬軒の住宅不足を生したことを報告して其急設を輿論に訴へたことは、吾人の甚だ不可思議に感ずるところであるけれども、大戰の影響と社會の狀態變遷は兎に角直接交戰地ならざりし英國にさへも、斯る大量の住宅缺乏を招徠したのである。況してや、佛國や白國の直接交戰地であつた部分に於ける建築復舊の急要なるは、考へるまでもなきことである。

最近亞米利加の報告を見るに北米合衆國百七十一都市に於ける昨年度の建築工費は貳拾六億五千參百萬圓餘（一、三二六、九三六、七〇五弗）であつて、一昨年度（一九一八年）のそれが八億九千百萬圓餘（四四五、五四九、四九三弗）に比すれば正さに十九割八分の增加である。（以上の統計は The American Contractor 誌に依る）又ドッヂ會社の報告書を覽れば、土木工事を含める建築工費は昨年十一ケ月中にて其額四十六億六千六百萬圓餘（二、三三二、九〇二、〇〇〇弗）に達し、一昨年度の三十二億六千萬圓に比すれば正さに四割以上の增加である。而して一昨年度の土木建築工費は戰時施設の工費約三割三分を含むのであるから、一般的に土木建築工費のみを比較すれば、其增加率は更に著しきものとなるのである。

要之、昨年度の歐米各國殊に米國の建築工事は實に空前の盛況を呈し、戰爭中は勿論、戰前の如何なる隆盛の年次に比しても到底比較にならぬ程の活躍である。其理由としては、都市住宅の要求

頓に增加したると、經濟力の大活動開始に基く事務室及旅館の急要と及戰時の爲め閉塞又は破壞されたるもの、復舊とを數ふるを至當とする。

我國に於ても、大戰亂終熄と共に建築工費の低廉の狀態になるを待ちながら其建築を見送りて來たものは、その期待の當分到着せざるを見て、一齊に其建設を企てたように觀察される。搗て、加へて、我國の都市建築は一般に早晩大改造の運命を有し、都市計畫熱の勃興と並行して其改造實現の急要を感じた際であるから、少しく餘裕ある者や永遠の經濟的基礎を考ふる者は、此處に經濟の原則に適合し且つ科學的應用に富める堅實なる建築の建設を思ひ立つのは、當然の成行と言つても差支がないのである。

〔二〕我國都市建築の將來

然らば我國都市建築は今後如何なる程度に其建設を進展するやと言ふに、大体に於て可成り急激なる增進狀態を持續するものと見て差支はなからう。現在已に設計中に屬するものや、工事に着手せるものを數ふるも、過去十年間に比して非常の增進狀態にあるのみならず、近き將來に其計畫を急要とするものを算すれば恐らく數億圓に上るであらう。之を北米合衆國の急進狀態に比する譯にはゆかないとしても、兎に角或る距りに於て彼と並行して進むべき運命を有することは確かである

建築が一種の誇張的外觀を裝ふ表象であつた時代はいざ知らず、現代の如き經濟の大潮流と並行して其建設が企畫され、しかも經濟活動の基礎的條件の主要なる部分を占むるように立至つた以上今後の建築が從來の如き浮華的一盛一衰の小波動に漂ふて、藝術表現の手段としか役立たなかつた

ようなものでないことだけはたしかである。我國の經濟力は今や世界的に其彈力性を發揮し、其海運の力に於て、又一般の製產力に於て未だ歐米の第一流國には及ばざれども、少くとも及ばんとして進みつゝあるのである。素より種々の悲觀的材料なきにはあらざれども吾人の努力は凡ての方面に於て之を突破して進むべく盡されて居るのであるから、今後我都市に於ける建築物の建設は矢張り世界的の潮流に沿ふて進展するものと見なければならぬ。而して、其進展の度合は、經濟界の順逆によりて或程度の曲折はあるとしても、從來の如き甚しき沈衰狀態に陷るようなことは絕對にあり得ないかと考へられる。

北米合衆國に於ては大戰亂前までは、毎年拾貳億圓を下らざる程度の建築が建設されたのは事實であつて、一九一七年に愈交戰國となつてからでも、尙六七億圓に値する建築は毎年建設されて來たのである。而して戰亂終熄と同時に一ケ年參拾億圓に近き建築が建設された事實は、彼國の成金振りを遺憾なく發揮して居るとも見られるけれども、其建築たるや決して浮華輕跳の虛飾贅物にあらずして、其大部分は質實堅牢の經濟的實用構造物のみなるを知る時は、如何にも其根底深き文化的施設なるやに一驚を喫せざるを得ないのである。我國の建設的氣分は尙未だ幼稚にして、其經濟的識力の不透明なる點多き、到底彼の徹底的施設に比較する譯にはゆかないが、現時の狀態を更に一步進ましむれば、今後起るべき都市建築の改造は可成り急進的のものとなり得る可能率を有するのである。吾人は不幸にして之を數量的に打算するだけの精確なる推定を下し得ざるも、我六大都市の都市改良施設は今後十年間に少くとも參拾億を下らざるべく、而して其約半ばは建築物の建設

に屬するものであると見て差支はなからふと思はれる。北米合衆國に於ては、昨年度一ケ年間に於て建築に投資せる金額は正さに貳拾六億圓以上に達し、土木工事を合算すれば五拾億圓に近き數字を示して居るのである。我國の今後の都市發展に際し十ケ年間に於て參拾億圓を費すが如きは、彼に比して僅かに拾數分の一にしか當らぬことを考ふれば、古來曾て企て及ばざりし此の大建設費も世界的に之を見れば餘り大した計畫とか建設とか言ふ程のものでないかも知れぬ。然し之を我國現時の經濟狀態及生產力の程度から見れば、其遂行を期する爲めには可成り思ひ切つた積極的態度を以て出發せねばならぬのである。

〔三〕生產力增進の急務

積極的態度とは如何なることを意味するやと言ふに、其一は生產力の增進を企つるにあり、其二は建築技能の發達を圖るにある。我國現時の建築材料生產は非常に貧弱にして、到底吾人の豫期しつゝある需要を充たすに足らぬのである。又之を運用する勞働者の量に於ても質に於ても現在既に甚しき缺乏を感じて居るような始末である。抑も建築工費の約七割內外は材料の費用に屬するが故に參拾億圓の工費中約貳拾億圓は今後都市建築が消化する建築材料の費用と見ることが出來る。固より其種類は甚だ廣汎雜多であるから、同一種類同一品質のものに就ては其額は存外少量のものであるけれども、主要材料として數へらるゝものは、其種類に於ては僅かに六七種であつて、其生產の貧弱にして高價なる事は、即がて建築工事の勃興を甚しく制限する原因となるのである。

都市建築の主要材料として數へらるゝものは、鋼鐵、セメント、煉瓦、テラコッタ、石材、木材

石炭、砂利、砂、銅板、等である。中に就て、石材、木材、砂利等は全くの天産物にして製造力によりて産出するものにあらざるも、銅鐵、セメント、煉瓦、テラコッタに至つては全く優秀なる製造能力の齎らす材料である。故に、大規模の組織を有する完全な工場經營の下に其生産を計らざれば、到底巨額の優秀にして低廉なる製品を供給する能はざるは明白なる道理である。然るに、我國の從來の狀態にては、到底吾人の期待を滿足せしむるに足らぬのであつて、現在已に業に其缺乏を來し建築工事の進行を甚しく阻害しつゝあるは遺憾の極である。若し此儘にて推移せんか、都市經濟發展上實に由々しき損害を釀成するならんと思はれるのである。近時の鋼材其他の價格は殆んど禁止的相場を演出し、戰時中の非常缺乏時に等しき狀態にまで立至つて居るような始末である。之れ等は果して其生産を增進し得ぬであらうか、吾人の特に注意を喚起すべきはその點である。

我國に於ける鋼鐵材の缺乏は、古くより各方面の工業に於て深く憂慮しつゝある處であつて、今更ら此處に論述するまでもなき問題なれども、從來の我國の建築には、其缺乏は甚しき苦痛を與へなかつたに過ぎないが、現在及將來に亘り殆んど大部分の建築は其缺乏によりて建設の基礎を失ふような狀況によつて來たのである。して見れば、銅鐵材を豐裕に爲し其需要を容易に充たすようにするとは、造兵、造船、土木、機械の事業と共に今後我建築生産の基礎的要求であると言ふも差支がない。而して我國現時の鋼鐵製産の現狀を如何にして增進せしめ得るやは可成り六ケ敷い問題であるけれども、さればとて、又吾人は唯其貧弱な狀態を傍觀して居る譯にもゆかないのである。

セメントの製産に就ても一ケ年僅かに一千萬樽内外のものを以て、現時及將來の大需要に應せんとするは、甚だ心細き次第である。北米合衆國に於ては、戰前已に一ケ年一億樽を製出したのであつた、戰後の大需要に對しては更に更に大製産を企畫しつゝあるであらふと考へられるが、我國にては此際セメント製造業者の一大合同によりて大生産の計畫を爲し、以て今後の缺乏を救濟せんことを目下の急務とする。又、煉瓦、テラコッタ等の生産も、必ずしも從來の擴張のみを以て進むべきではないが、今後の建築界の進歩に適應すべき品質形態を研究して、一大生産力を發揮すべき緊急時に到着したことは、殆んど議論の餘地なきところである。

石材の産出、木材の製材形態及利用等に就ては、現在の方法により唯延長擴大するは好ましからぬことであるから、十分に其統一や利用の途を研究して一大方針を定め、適當なる産出を企畫するを目下の急務とする。僅少不統一なる材料を唯彼此地にて奪合ひするが如き需要家の態度や、現狀維持を僥倖する供給者の方針は一大刷新を要するは明かな事柄である。

要するに、現時に於ける我建築界の材料需給の關係は實に姑息消極的であつて、現狀僥倖主義とでも言ふべき狀態である。斯の如き狀態の持續は、我都市發展上最も不利とするところであるのみならず、建築に關係ある各種事業の一大障害であるから、其生産即ち供給の方法を刷新して、積極的、統一的に其組織を改め、以て來るべき都市建築發展の進路を開くべきである。（續く）



家賃騰貴、都市計畫及土地增價稅（上）

京都帝國大學
法科大學教授
戶田海市

本編は、我都市問題殊に建築界の爲、特に博士に請ふて高見に接するの光榮を得たるものにして、編中、我建築界に建築上の產業革命を行ふ必要刻々に迫り居る論旨の如きは、最も鑑省と做すに足るべし、敢て斯編を薦むる所以也。＝編輯者

一　家賃の不整一

何れの種類の建物でも個々の家賃は甚た區々てあるから、一般家賃の騰貴の程度を明かにすることも甚た困難てある。普通の商品か略ほ整一なる市場相場を有るに反し、各種建物の家賃は一坪當り何程と一定して居らぬ。貸家取引には小賣的取引かあつて卸賣的取引かない。其理由の主なるものを擧くれは第一に各個の建物の構造品質等の物質的內容か甚た區々なるのみならす、同し物質的內容の建物も其所在地點の異るに從ふて甚大なる價値の差を生することか多い。第二に建物の貸借も信用取引てあるから、當事者の信用の程度に由て家賃に差を生せさるを得ない。通例此貸借は敷金の提供に由つて危險を減し、從つて各借主の信用程度に由る家賃の差を緩和することゝなつて居るか、併し敷金の大さは大體三箇月分の家賃の大さとする慣習か汎く行はれ絕對に取引の危險を消滅せしむる程の大さに達しない。第三に各借家人の建物を毀損消耗する程度にも著しき差異かある。此差

異は建物を業務用に供する場合に存するは勿論住居用の場合に於ても借家人の貧富や其家族數の多少等に由て生し、從つて建物の利息の外に其元本償却に必要とする高も、貸家管理の費用手數も異らさるを得ない。

家賃を不整一ならしむる原因として更に注意すへきは、貸家供給者の側に於て多大の非營利的要素か加はつて居り、從つて其貸借に付ては商品取引に於けるか如く鋭敏なる競爭か行はれないことてある。小規模に貸家を經營管理することは簡單て別段の技能を必要とせす、又資本投下の方法として割合に確實てあり、特に現代都市は膨脹の一方てあるから、家賃地代の騰貴の傾向か強い。故に實業に從事せさる資本家か好んて貸家を所有するのみならす、實業家の中にも其資產の一部を土地家屋に投下し、且つ其投下に付ては餘り多く營利主義を行はない。保守的氣風の強き都市に於て、又保守的氣風の強き中產階級の間に於て特に此投資か行はれ、其經營は恰も農民か其農業を經營する場合に非營利的要素の加はつて居ると同樣てある。是れ都市の不動產所有か安固てあり、其價格の騰貴する見込かあつて必しも目前の收益に多く注意するを要せさるのみならす、田舍に於ける農地の所有の場合と同しく、都市に於ても土地家屋の所有は少くとも中產者に取つては一種の名譽とせられて居る爲めてある。我か封建時代に於て貸家主は借家人に對して大なる行政上の權利と責任とを有し、「大家は親てある」とせられて居た。今日は勿論此の如き思想は存しないが、保守的資本家の間に於て不動產の所有を誇りとするの風は容易に消滅しない。故に家賃か甚た區々となるのみならす、多くの場合に地主家主の收入の利廻りか二三步の低率に止まることも、尙ほ田舍の農地の利廻りの低きと異らぬ。

二　家賃の變動

家賃も商品と同しく一般の景氣の好惡に從つて變動するものてあるか、商品は騰貴と同し程度に下落の機會も多いのてある。然るに今日の

都市就中大都市は人口膨脹の勢ひ盛んであるから、家賃の下落する場合は少なく、寧ろ其騰貴の勢か急速となるや緩慢となるやの差を生するに止まる有様である。商品取引に於ても小賣相場は卸賣相場の如く鋭敏に動くものではないか貸家取引は全部小賣取引と云ふべきものであるから、家賃の動變か鋭敏に生しない。加ふるに建物の貸借は三ケ月以上半年一年と云ふか如き長き期限か存するから、一層家賃の變動か少なくなる。

家賃の變動も亦甚た不整一である。例へは同種の貸家ても營利心の強き家主の所有するものは、家賃の變動も割合に鋭敏である。又住宅貸借の場合に於て中層民以上の需用する住家の家賃は緩慢の變動を呈するに反し、下層民の需用する長家の家賃には變動か多い。是れ中層民以上の需用する貸家の家賃收入は確實であり、其取引交渉も簡便に行はれ、特に中層以上の者は其地位職業か割合に安定的であるから、貸家に對する需用にも變動か少ない。故に營利的要素の乏しき貸家經營か此方面に多く行はれる。然るに下層民を相手とする貸家の收入は頗ふる不確實であり、借家人の建物毀損に注意するの必要かあり、特に人格の低き此等の借家人を相手として取引するには普通資本家の品位を傷けすして之を行ふことの困難なる場合か存するのみならす、好景氣不景氣に由る都市人口の伸縮か主に下層人口の增減に由て生すると同しく、貸家に對する需用の變動も下層民を相手とする場合に甚しく、特に下層民は所得の增減に應して新たに一戸を構へ又は之を閉ちて他人と同居することも多いから、彼等を相手とする貸家の需用には大なる變動か起る。故に此種の需用者を相手として貸家經營を爲す者は主に純營利的の小資產者である。最下層民を相手とする貸家經營は多くの場合に於て冷酷なる高利取引となつて居る。

家賃の變動は景氣の好惡に從ふて起るものであるが、貸家需用者の主なる部分を占むる中下層民の所得の增加は景氣の發展に後れ勝ちであ

るから、營利に敏なる貸家主も好景氣に伴ふて迅速に家賃の引上を行ふことは困難である。又貸家の一大部分は營利の要素乏しき投資者に由て所有せらるゝ故、自然に家賃の騰貴は好景氣に由る諸物價の騰貴に後れて騰貴することゝなる。元來小賣取引的性質を有する貸家取引は緊張せる競爭關係に由て支配せられないから、家賃を增減するの餘地は常に多大に存在する。從つて景氣の如何に係はらず、家屋稅增徵の如き一般家主の負擔を增加する事件が起るときは一體に家賃の引上が行はれる。好景氣を理由として家賃を引上くるよりも、租稅負擔の增加を理由として之を引上くることが、普通の家主に取つては正當視せらるゝ傾がある。各個の貸家に付て家賃引上の最も多く行はるゝ場合は、舊借家人が他に移つて新借家人と入れ替る場合であるか、我國には西洋の大都市に於て見るが如く住宅貸借の期限を整一に一年二回に定めるが如き慣習がなく、各貸借の期限が區々であるから新舊借家人の入れ替りを機會として家賃引上を行ふことは家賃の變動を整一ならしむるの效果を生しない。

三　戰爭以來家賃の騰貴

歐洲戰爭勃發の翌年末より諸物價は早く騰貴の勢を示したるに反し、貸家の缺乏と家賃の騰貴とに隨伴する宅地經營の勃興とは餘ほど後れて現はれたか、昨年に至つては空家皆無の狀を呈して屢法外なる家賃の騰貴を耳にするに至つた。戰爭以來の家賃の騰貴に付ては大阪市役所其他二三の調査が發表せられたか、此等の調査は調査事項の性質上何れも部分的斷片的たるを免れぬから、之にて全體を推測するは困難である。元來家賃が甚た不整一であり、又其變動も甚た不整一であるから、戰爭以來の家賃の騰貴に付ては大體の推測を下たすの外はないか、借家人の大なる部分は餘り移動せず、又貸家の大なる部分の經營も左まで營利に敏感でないから、全體の騰貴の程度は今日も尙ほ恐らくは諸物價の騰貴に及はないであらう。家賃の變動の

最も鋭敏なるは下層民を相手とする貸家の場合であるが、此場合に於ても其騰貴の程度は未だ日用品の騰貴率を超過するには至らぬやうである。

昨年來時々法外なる家賃の騰貴を耳にするが這は主に新築家屋の貸借又は移轉に由る新規貸借の場合であつて、一般の家賃とは大に趣を異にする。曾て大正六年に石炭の暴騰が大問題となつた場合の調査に由るに、當時石炭産出額の大部分は以前の長期契約に由り極めて底廉に供給せられ、特に供給者側に於て運賃を負擔する契約の場合には、海上運賃の暴騰の爲めに供給者の得る所の石炭代が運賃の支拂にも不足する場合もあり、實際に暴騰せる相場を以て石炭の取引を行へるは、供給者の側に於ては生産の小部分を支配するに過ぎざるが炭坑、就中新開の炭坑を主とし、需用者の側に於ては主に戰時の新興事業及不確實なる小企業者なることを發見した。今日の家賃暴騰と云ふことも頗ぶる之に類する現象であつて、其の法外なる騰貴は小部分の貸家取引を支配して居るに過ぎないやうである。著しき家賃引上の實行せらるゝ普通の場合は新舊借家人の入れ替りの場合であるが、此場合に於ても通例其引上の程度は商品取引に於けるが如く需用供給關係の許す極限までに達することは少なく、幾分か尙ほ引上の餘地を殘す場合が多い。其結果として昨年來大阪を初め關西の大都市に於ては、他に移轉する舊借家人に對して新借家人より權利讓渡に類する取引が汎く行はるゝこと恰も電話の賣買の如くであり其金額は數金と同じく家賃三箇月分に達する場合が多いとのことである。

家賃の騰貴が緩和せらるゝ原因は既設家屋の密住、就中下層階級の密住と新築の增加とである。而して新築の增加は既に述べし如く一般經濟界の景氣の進行よりも餘ほど後れるものであるが、戰爭以來諸事業が特に好景氣となりし爲め世間の投資が貸家建築に向ふ割合が少なく、而も一面に都市人口の膨脹は甚しくなつた爲め遂に昨年に至り極度の貸家缺乏狀態を呈するこ

と〻なつた。然るに此間に於て建築材料及労銀も非常に騰貴したから、家賃の騰貴に係はらず新築を増加して之に應ずることが困難となつて今尚ほ貸家の缺乏が容易に緩和せられない。今日の新築家屋の家賃は世人の法外に高率と認むる所であるが、併し建築費用の甚しく増加せる爲め其利廻りは甚だ低く、只だ將來の地價の騰貴を見込んで低利に甘んずるの有樣である。此點より見ても都市の住居問題の解決の甚だ難事業たることが明かである。

戰前に歐洲の大都市就中大陸の都市に於ては下層民の家賃負擔が其所得の二割以上を占むる塲合が多く、二割五歩以上に達する塲合も少なくなかつた。我國に於ては所得の割合に最も大なる家賃を負擔する者は中層の智識階級であつて、勞働者の負擔割合は遙かに低い。家賃の暴騰せる今日に於ても大阪市に於ける一部の調査に依れば、勞働者の家賃負擔は其收入の一割二歩より一割五歩の間に止まるやうである。大阪は家賃騰貴が最も甚しい都市であるから、他の諸都市に於ける割合も大阪の夫れを超過することはあるまい。併し勞働者の家賃負擔の收入に對する割合が歐洲に比して此の如く低きことは決して我勞働者の住居に關する幸福の大なるを示すものではない。我勞働者の住居する長屋は文明國人の住居として甚だ不適當なるが如くに其實質が貧弱を極めて居る。而も我國に於ては食物が歐米に比して甚だ高價な爲めに勞働者の收入の大なる部分が食物の爲めに必要とせられ住居に至つては今日の如き貧弱なるものに滿足するの已むを得ないのである。又住所の改善を欲することは人間の慾望の向上を示す重要の象徴であり、進歩せる勞働者は無益有害なる消費を節して住居を改善するの傾向が強いのであるが、我勞働者の多數は未だ此方面に多く注意するほどに進歩して居ないとも云へる。大都市に於て困難なる下層民住居問題の起る重大の一原因は、實に下層民か住居の不完全に對して甚だ無頓着なることである。最も我國の住居問題に付て特に注意を要する點は、我が住宅其他の建

築物が生産費の大なるに比して實質の甚だ貧弱なることである。我が一般の固有産業と同じく建築業も年々價の騰貴する傾向を有する所の有機材料たる木材と勞働とに依賴し、西洋の建築の如く工業の進歩と共に價の低落すべき鐵材、煉瓦、洋灰等の工業品を建築材料とせず、又日本建築は耐久力耐火力等の保存力に乏しく、從つて短期間に建築資本を償却することを要するから、其家賃が大に高くならざるを得ない。故に我國の住居問題の解決の爲めには建築技術の上にも産業革命を行はねばならぬ。

四　交通機關と家賃

都市の人口膨脹に從ふて家賃の騰貴するは經濟上社交上の便宜の大なる中心點に成るべく接近して多數の人々が生活せんとし、互に狹隘なる場所の占領を爭ふが爲めである。故に家賃騰貴の勢を緩和する爲めには、狹隘なる面積の上に多數の人々が住居し得るか如く高層建築を盛んにすると同時に、交通機關を完備して遠距離より中心地點に交通することを容易ならしむるの必要がある。最近に六大都市は都市計畫法に基きて大規模の計畫事業に着手することに決定したが、此計畫の實行上中心地域の建築を一般に高く改築するの必要あるは勿論であるが、高層建築は商工業用事務用には適するも、一般市民の生活慣習を一朝に變化するを得ないから、我國の住居を歐米の如く高層建築とすることは甚だ困難であるのみならず、又必しも有利でない。故に住宅供給を增加する爲めには主として交通機關を完備して住居區域を水平的に擴張せねばならぬ。又我國の都市には非常に小規模なる小賣店の割合が甚だ多い。多くの日用品小賣店は得意廻りと掛賣との方法に由り、各店僅かに數十軒平均の得意を相手として生活する有樣である。今後は小賣取引に改善が行はれて此の過多なる小賣店が整理せられる勢かあるか、併し小賣取引の改善は一般消費者の生活方法の革新に由らされは充分に實行し難いから、當分我都市に於て小規模の小賣店過多の弊を脫するを

得ない。百貨商店の如き大規模の小賣店は五階六階にも小賣場を設けて營業を爲し得る故高層建築を適當とするか、普通の小賣店は道路面に位して設くることを要する。故に都市計畫の實行に伴ふて繁華なる區域に高層建築か盛んとなることは明かであるか、併し小規模の小賣店の過多なることか高層建築に由て都市區域を水平的に收縮することを不能ならしむるは勿論、假りに當分都市の人口膨脹か起らすとするも、都市計畫の中心的事業たる道路幅の擴張の爲めに取拂はるへき現在の商店住宅を盡く舊區域内の高層建築内に收容することは不能てあつて、新區域に之を移轉せしめねはならぬ。此等の點より我國の住居問題は特に交通機關の完備と重要の關係を有する。

都市交通上最も重要なるは地面地下及高架の電車の普及てある。家賃の騰貴を防く爲め交通機關を完備すると云へは、主として此等各種の電車線を增加延長して頻繁に車輛を運動することゝ其乘車賃を低廉にすることゝてある。從來我大都市の電車線か甚た少なく、又其乘車賃も我民衆の所得に對しては頗ふる高かつた。我都市の從來の道路か一般に狹隘なるか爲め、電車を通せんとすれは先つ両側の高價なる土地建物を買收して道路幅の大擴張を行はねはならぬ。是れ電車線の甚た少なき所以てあるか、更に從來電車線を通するに必要なる道路擴張の巨大費用は之を一般都市計畫事業の負擔とせす、其主なる部分を電車經營の負擔として乘車賃收入に由り之を支辨するの方針を採つた。是れ電車設備の不完全なるに係はらす、其乘車賃か高くなる所以てある。此外我國には鐵材及車輛も高價てあるか、今日まて電車經營を多費ならしめた最大原因は、本來一般都市計畫事業の負擔たるへき道路擴張の大費用の主なる部分を電車に負擔せしめたることてある。

戰前に於て歐米大都市の電車賃は我國の夫れと略は同額てあり、而も我勞働者階級の所得は先進諸國の夫れに比して三分の一乃至五分の一に過きなかつたから、我勞働者は充分に電車を

利用して健全低廉の住居を得ることが出來なかつた。元來幼稚なる勞働者は低廉にして健康なる郊外に住居することを好ます、娯樂、社交及職業上の關係よりして家賃の高き不健康なる舊都市區域内に密住するの弊がある。特に我國の勞働時間は尚ほ甚だ長きに失する故、勞働者が電車を利用して遠方より通勤することは甚だ苦痛である。故に一般の住居問題の解決就中勞働者階級の住居の改善及其家賃負擔の輕減を圖らんとすれは、我國では大に電車賃を低くし、且つ電車線路を大に普及せねはならぬ。戰爭以來諸物價の騰貴と共に勞銀も次第に騰貴し、從つて勞働者の收入に對する電車賃負擔の割合も大に輕減せられて、戰前に於ける先進國の夫れに接近せんとしつゝあつたが、最近諸大都市に於て電車賃の引上が實行せられ、住居問題の解決に再ひ不利を及ぼさんとしつゝある。今日の都市財政及電車經營の方針の下に於て電車賃の引上は已むを得ないであらうが、既に述へし如く道路擴張と云へる都市計畫事業の經費の主なる部分を電車の經營に負擔せしむる在來の姑息の方針は、都市計畫法の定められたる今後には不當である。故に今回の電車賃引上は之を一時の應急策とし、今後普及せらるへき一般電車の經營に付ては更に電車賃を適度に引下けねはならぬ。（續く）

英國に於ては、住宅問題が奈何に重要視せらるゝかは、下記の一例に徴しても明かである。ミルバンクといふ所に改良長屋がある、此建築は今より廿年程前のものである、元英國の最大なる監獄の所在地であつたが、在監者の次第に減少したるが爲め、それを取崩し、一部に貸長屋を建設したのである。是は全體にて千五百人を容るゝに足るのみであつて、家屋は五階造りであるが、通風採光宜しきを得て、公園又は兒童の遊戲場等あり、それ相當の設備を有してゐる。



都市計畫事業と財源

内務省都市計畫課長　池田宏　(乙)

（本編は仝氏の講演を記者の筆記せるものにより作成せり、故に文章上の責任は勿論記者の有する處也）

前號掲載

都市の膨脹的可能性
災害と都市膨脹の實例
都市の膨脹性は恒久的なり
其發展は中心を得るに在り
都市の發展を助長するは市民の義務
其膨脹發展に順應するの施設を要す
我邦には世界大都市たる施設無し
不便と不利と浪費を忍ぶ我都市民
都市計畫實行と否とにより生ずる利害
殊に我邦にも其苦き經驗の事實を有す

▲奈何にして都市計畫の財源を得べきか
▲這は單り當局者のみの問題にあらざる也

斯る事實より稽ふれば、大阪は斯の計畫に就て一歩を進め、既に道路に對する處の大体の計畫を樹て、將來に於ける處の方針を確立して着々實行を見むとするに到りし事は、寔に欣快な次第である。されど、之が實行に方りては莫大なる經費を要する、即ち、道路の計畫でも、今日之を實行せむには、壹億四千萬圓許を要するのである。況て、近く、斯の經濟的の大都市に相應はしい各種の施設計畫があり、それを充實せしめむには、頗る巨額の經費を要する。茲に於て乎、斯の經費は奈何にして支辨すべきか、奈何にして斯の仕事を實行し得るか、といふ問題が起つて來る。蓋し、奈何に立派な計畫が出來ても、之を實行する事が出來得なかつたなら

ば、勿論何等の効果もない事である。唯徒に土地の如きものあらば、土地の思惑の爲に投機の弊を馴致し、之が爲に、失敗を爲す者と又は利得を爲す者とが生じて、竟に經濟界を紊亂するに至り、延ひては、市民の康安の基礎を覆し、唯、世の中を攪亂するといふ結果に終るのみである。されば、斯る計畫が確立せる以上は、一日も迅く之が實行の計畫を具し、而して之を進捗せしめなければならぬ譯である。其爲には財源を要する事勿論であつて、其財源を奈何にすべきかといふ事は、素より、幵が實行の局に膺る者の十分に考慮せざるべからざる事である。否な、單り當局者許でなく、斯る問題は、市民全躰の問題として篤き考慮を要すると仝時に、當局者をして、斯る計畫の實行を速ならしむる爲に市民全体としても調査研究を逐げ、適當なる策案あらば、之を進言しても可いと思ふのである。

▲凡ゆる收入より其財源を繰入るを相當とす

▲されど其不足ある場合は奈何にすべきか

大躰から申さば、都市の計畫も。又、其仕事の實行も、這は、云ふ迄もなく、都市内に於ける特殊な人達の仕事でなく、所詮は、市民全躰の仕事である。即ち、市民全躰が連帶して仕上げなければならぬ處の仕事である。果して幵うであるとするならば、都市として其法律に依り與へられた處の財源に賴りて、又、法律命令の範圍内に於て各種な施設行爲を爲して取得した處の財源其他のものを提げ、或は、各種の經營を爲して得た處の收入を之に當てるに於て何等不可な事ではない、否な幵うしなければならぬと思ふのである。

以上は大躰論であるが、奈何なる收入にしても、即ち租稅よりするものであつても、事業より生ずるものであつても、乃至は、各種な施設所爲より生ずるものであつても、之を擧げて都市の事業に投ずるのは、寧ろ當然な事であらうと思ふ。されど、斯る各種の財源に賴つても尙不足を生ずる事は有り得べき事である。即ち、仕事が膨大に、分量が多く、隨つて費用が嵩むといふことにならば、是に伴ふて、增々所定の

財源にては支持し得ざることゝなる、茲に於て必要なる仕事を實行するにしては、奈何に爲したらば可なるか、といふ事は、何れの所に於ても起る問題である。故に、我邦に於ては、斯る問題を一應は都市計畫法で決めたのである。

▲都市計畫法に於て豫見されたる財源

▲殊に地帶收用なる一制度を認めたり

扨は何であるかといふに、(一)斯の仕事に因りて特に利益を享くる者に相當な負擔を爲て貰ふ事と(二)特別稅の賦課である。蓋し、斯樣な仕事に因つて常に一般に利益を享くるものは土地であり、當業者であり、乃至は、家屋の所有者である事は、一般的に想像し得るのであるが、斯る者に對して、特別な租稅を市制の認めてゐる以上に負擔して貰ふ事である。其他、若し必要があつたならば、勅令を以て斯の事業の費用を支出するに適當なるような稅目を規定する事である。其次には、(三)都市將來の必要を慮り、是に順應するが爲に適當なる土地開發の計畫を爲て貰ふ事である。即ち、或は一團の住宅地であるとか、或は工業地であるとかいふようなものを創設する爲に要する土地の獲得、或は宅地の利用を開發增進し都市の健全なる發達を促す處の、適當なる區劃整理の仕事を爲すに要する土地の獲得、之等に對する相當な途を開くのである。(四)殊に都市を造るような時期に於ては、道路に必要なる土地の買收をなさむ歟、其新しく出來たる道路に面して、寔に不便不經濟極まる殘地を生ずる事が屢々ある。是は、市民の側より不利不便、其他斯る土地の利用に關する處の都市全躰の非常なる損失である。斯る損失を生ぜしめずして、事業の目的に協はしむべく適當なる建築敷地を生ずるように道路沿ひの地帶收用なるものを認めたのである。

▲地帶收用と特別負担と差增稅は適當な財源

▲白耳義ブラツセルに於ける地帶收用の實例

斯樣な事は、都市計畫法に於て、即ち議會の協贊を經て發布されし法律の運用奈何に仍つて之を實行し得る處の、財源の手段として擧げて

可からうと思ふ。就中、地帶收用と特別負擔とは、土地の自然增價に對する課稅、即ち所謂差增稅と三つ並むで、近世に於ける都市計畫事業の爲に最も適當なる財源であり、最も公平にして正義の觀念に合致せる處の財源として、歐米に於ても等しく肯認されて、斯の三つのものを新財源に供され來つたのである。殊に、地帶收用抔の問題に就ては、佛蘭西や白耳義や英吉利等に於ても、其道路を造る爲に旺に用ひられた政策である。就中、白耳義のブラッセルの如きは、始むど斯の政策に依りて今日のブラッセルあるを致したのである。ブラッセルといふ所は寔に狹隘な道で、非常に困つた所であつた、恰も、吾々が今日日本の多くの町に於て寔に困つてゐるのと同樣であつた。纔にブラッセル市の眞中に、小さな河があつたが、其河を下に堀り下げ、之を下水の幹線とし、其上を主なる街道筋として用を足してゐた位の憐な市であつた。然るに、斯くては、到底、近世商工業の發展に應ずる處の都市として立つ事が出來得ない、といふ事よりして、先づ道路の擴築計劃を決め、之を實行するに方りて採つたのが、即ち地帶收用であつた。而も、ブラッセルは、斯の地帶收用を爲すに方り、市の當局者をして、頗る自由に其手腕を振はせたのであつた。而して、其出來上つた後に於て、市民は、何人と雖も、地帶收用なる政策がブラッセルの面目を改めた事を感謝してゐる。斯る次第にて、權利や自由の思想が頗る喧しい亞米利加の如きでも、斯の地帶收用なるものは段々行はれつゝある。（續く）

■市街の建築■

市街の建築は地形に依つて千差萬別一定する譯にはゆきませぬ。併し大体東京とか京都とか大阪とか名古屋かといふやうな面積の自由に取れる所は圓形式若くは方形式を選ぶのです。圓形式といふのは蜘蛛の巢見たような市街を作り中央の蜘蛛の居る處が政廳若くは主腦になる者が在る所で、其處からはすつと各宿驛に大道を通じ、其を縫ふてくる〳〵と廻して街道を作るのです。方形式の方は申す迄もなく京都大阪本所深川の如く碁盤成りに作るのです。巴里抔は大體圓形に作られて居ります。



大阪市市區改造計畫に對して

會員　安井武雄

大大阪建設の端緒として大阪市區改造計畫が發表された。聞く所によれば、其計畫區域は四ツ橋を中心として約五哩半徑の圈内に及ぶとの事其廣さに於ては世界有數の大都市となる譯である。併し都市の面積が世界有數だからと云ふて決して誇とする事は出來ないので、根本に統一的の計畫なく徒らに切迫した都市の諸問題の解決に眩惑されて内容を顧る所が無かつたならば市域の擴張は株式會社の所謂增資と何等撰ぶ所がないのである。

吾人は、斯道の大家を網羅し在る都市計畫當局を信賴する者であるから、如上の如き事は一片の杞憂に過ぎないとは思ふが、今回發表されし市區改造計畫圖を見る時に多少不安なき能はざるのである。

今當局苦心研究の結果出來たと稱する市區改正圖を覽るに、吾人は、第一に大阪驛と難波驛とを連絡する幅員二十四間の廣路の新設を始め、在來の道路は各所で其幅員が二倍にも三倍にも擴張されて完成の曉きの面目が想像される。併し、如何に虫眼鏡で見ても、是以外に何等特異の点を發見し得ないのは甚だ恨みである、之が現代の大都市に適應する街路系統の全部であるならば餘りに貧弱である。吾人をして言はしむれば、今回の市區改造計畫案は市區改造計畫には非ずして道路取擴計畫に過ぎないのである。在來の大阪市の道路は餘りに狹隘である。案の如く道路の幅員が廣くなつたら嘸ぞ便利であら

うし都合も好からう。併し、唯是のみで吾人は滿足する事は出來得ない。進で都市の靜的交通の結構をなす街路系統を現代及び將來に對して計畫したいのである。大阪市在來の街路系統が之に順應せるものかは唯しも疑問を挾むであらうと想ふ。然るに、今回の改造に方りて當局が少しも斯点に觸れて居ないのは、吾人の最も了解に苦しむ所である。

吾人は、一歩を讓り、各國を通じて舊都市を改造する場合に遭遇する難關、即ち歷史上の遺跡とか、殷盛なる道路の改廢抔に左右された爲に執つた策として一先づ看過しても、新たに市域に編入されると言ふ所謂擴張近郊部の街路の計畫が、餘りに無頓着で不統一なる事は蔽ふ可からざる事實である。新都市のフヒヂカルボディトの一部として働き得るかは頗る疑問である。頃時一部人士の問題になつた港灣に對する街路の關係も同意し難い所がある樣に思はれる。

吾人は、過日、今回の計畫の一部の批評に對する辯解として、有力なる當局者が大阪市の今回の市區計畫案は決して充分なるものでないが、一時に完全なる域に向て急進する事は實行上種々の困難に際會するから、漸次に夫れに向て進むのである、當局は決して現在の計畫を以て滿足して居るものでない、といふ事を新聞紙上に發表して居られた事を記憶する、之に據て見ると、當局者の意向は滿足なる計畫に進むのは實行が困難だから、不滿足ながら不完全な計畫に甘じて他日機を見て完全なる計畫に歩を進めるにある、と解釋して差支がなからう。

斯の所論は、單に文字の上から見るに、如何にも穩當な而して如何にも周到なる考への樣に見へるが、實際上から見ると甚だ妙な事になりはしないかと思ふのである。此場合改造計畫は事業のオブヂエクトである、而して實行はミイニングである、如何なる事情があるにせよ誤れるオブヂエクトに向てミイニングの容易なるを撰ぶのは根本に於而大なる間違である。而して斯樣な考への下に計畫を進める事は市民に對して甚だ不親切な遣方である。夫れに一度畫案が發

表されると同時に、市民は直に各自其計畫に適應する樣に行動をとらねばならないのである。即ち市民は其計畫に從つて、其住居なり商店なり事務所なり皆其生活及營業の狀態に適應する造營を與さねばならない。而も其造營や各自にとつては少なからざる負擔である。併し、此少なからざる資本の固定も、永き將來の目的に向てならば、經濟上より打算して決して過重ではないが、斯くして固定したる資本が、數年を出でずして再び市區の改廢に遭遇する樣な事があつたならば、市民は再び莫大なる負擔を繰返さなければならない悲境に陷入るので、其趨勢が如何なる結果を齎らすかと云ふ事は深く、考慮を要すべき事であらうと思ふ。

大なる事業の前途には大なる障害がある事は自然の理である。其障害を恐れて一時的の繕縫策を採るのは識者の態度ではない、其障害を恐るゝならば凡てを放棄するにしからずである。而も、大阪市の市區改造の如きは。他の諸大都市に比して障害少きに於而をやである。都市は市民の都市である、都市の政策は凡而市民を立脚地としなければならない、大多數民の福利增進を圖る爲に其幾パーセントの或る階級の者が犧牲になる事は、社會政策の上から不止得ない事である。要するに、今回の計畫案が全部にして最後のものであるならば、吾人は、都市經營の凡ゆる点より見て、其杜撰なるに驚かざるを得ないのである。又前揭の如く不完全なるを知りつゝ發表したりとせば、市民を或る意味に於而僞るものであつて、甚だ罪な遣方である。何れにしても、今回發表されたる大阪市區改造案が甚だ徹底しないのを遺憾に想ふのである。

（三月十五日記）

✤ 獨逸の花園都市 ✤

獨逸、獨逸も花園市に倣ひ既に數箇所を存し、工業分離を主眼となして、內地殖民を奬勵す、都鄙を近接ぜしめ、兩者の利益を收むるを以て、其目的とす。斯の目的を達するが爲には、花園市內に於て土地の投機賣買行はるゝの不利を察じ建物遺傳權法なるものを發布せり。是は建物を買受者又は建築者の所有として子孫に傳ふるものとし、安心して家屋を建設するを得せしむる也。



改造と云ふこと

會員　伊藤正文

此頃世の中に起つて來る問題で、一として生活の改造と云ふことを目的としてゐないものはない位にさへ思はれる。近い例が、協會で改良住宅案を懸賞で募集した際にも、生活の改造を基調とした所謂改良住宅案を募るのを主意としてゐるらしく見受けた。

併し乍ら、人間生活の改造と簡單にも云ひ、又單純な頭で容易に考へられる程度の問題ではないと思ふ。『生活の改造とは何か』と聞かれて一言で即答出來得る問題ではない。

勞働問題、都市計畫、或は普選運動等、日々起りつゝある問題も皆、改造と云ふ目的に立脚した事件であるに違ひはない。けれども、之等の問題は改造を目的としての運動の現れである、即ち道程である。社會運動は一つの現象で、此迄進んで來た文明の行詰りに現れた火花である根本は個人個人の頭の問題に歸して了ふので、社會運動は原因でも結果でもない、生活の行詰りから脫却した新生面を拓く可き生活改造を目的として現れたので、生活の改造はすべての人間の頭の改造を根本から要求してゐる。

約り、すべての人が、自分と云ふ人間をもう一度靜な心で見直すことが第一に必要なのだ。

建築家に關係の多い都市計畫について云ふならば、個人個人の精神と肉體との生活に、成る可く滿足を與へ得る樣に都市を改造するのが根本で、そうした曉に、初めて都市と云ふ有機體が完全な運動をすることになる。

道路を擴げ、高速電車を布設するのは寔に結構である。併し、市區改正の當事者諸君は餘り

に『社會の仕事を迅速に片づける樣に』、『社會の仕事を便利に出來る樣に』と云ふ理由を強く抱き過ぎはしないか、それが却て社會を組成する一人一人の人間に不滿足を與へ、『あれ程までにした都市計畫が、これは又何と云ふ不愉快なことだ』と思はしむる結果を生みはしないか。都會で商賣が便利になり、出勤時刻が短くなり仕上の能率が上つても、單にそれは人間が一種のマシーンに成り了つたことを示すだけだ。その點でもつと當事者も民衆も頭の改造が必要なのだ。仕事は勿論必要だが、生活のフォートと云ふことがより以上重大なのだ。昔の如く馬車馬の樣に働く時代ではない、フォートに生活出來ればそれだけ仕事の能率も上るに定つてゐる。そう考へるならば、大大阪市の都市計畫に何故にもつと人間の生活に便利である可く遠大の計畫をしないのか、が少し疑はれる。私達に云はせるなら、中の島の公館の周圍や、梅田驛前を大公園にしたい位に思はれる。

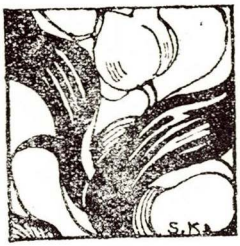
都會を馬車馬が働く所と思つてもらいたくない都市は矢張り人間の働き、生活する所なのだから、只單に仕事の能率や交通便の能率から割出した都市計畫は有がたくない。こんなことは一寸考へてもわかり相なことに思はれる。けれ共、發表された市區改正は大阪の人間をマシーン扱ひにしてゐる樣に思はれるのは殘念だ

こんなわけで都市計畫一つについて見ても大概わかる樣に、今起りつゝある社會運動にはき違ひも却々多い樣に想はれる。普選を唱導する位置に立つ人々は成る程充分の理解と成算とを以てやられるに違いないし、勞働問題を說く學者の態度や議論には感心してゐるのだが、民衆のすべてまでそれを正當に受入れてくれるか否かが疑問であるし、隨分妙な獨斷的解釋を爲てゐる人間もあるらしい。

改造の原因をわきまへて、頭の改造を第一に要求する理由はそこにある。

頭が改造されて初めて生活の改造が安全であり得る。自己を見直すことだ。その上で家庭生活と事務の生活との改造をしなければなるまい。

現在の市區改正案が實施されても、頭の改造されてゐない人には、天保時代の人間が、初めて電車か自動車にのつた樣な滑稽と矛盾があるだらう。（了）



大都市の建築物

(B)

工學博士　佐野利器

〔本編は同博士の講演を記者の筆記に據りて作成せるものに係り、其文章上の責任は記者の有する處也〕

我邦交通機關の發達

□日本の軌道延長は歐米の三分一
□我自動車數は亦歐米に比適せむ

自動車の數は、今日に於てすら、往來を歩いてゐると隨分澤山あるやうに想はれるのであるが故に、今後の增加は非常なものであらうと考へなければならぬ。是は決して戰爭の結果許りではないのである。蓋し、日本全國の鐵道といふものは、人口一萬に付き最早二哩强になつた强いふことであるが、二哩强と云へば、歐洲列との約三分の一迄漕ぎ付けたのである。又、東京や大阪抔に於ける電車も、私の考へでは、歐米に於ける大都市の約三分の一迄漕ぎ付けたといふて可からうと思ふ。斯くの如く、大切なる交通機關は最早約三分の一まで漕ぎ付けて居るのである、今日に到りて自動車は決して贅澤品ではない、都市行政の上に最も大切な交通機關である。是も、亦驗て三分の一まで漕ぎ付けるものと想像することは、決して無理な事ではなからうと思ふ、否、幷うならねばならぬのである。若しも幷うならぬといふのは、都市も國も進歩しないと想像するようなものではあるまいか、必ず斯く成るものと考へて可いのである。今、試みに、三分の一と云へば奈何程な數にな

るかといふ事を調べてみむ歟、亞米利加の大都市に於ては、今や人口十八内外に就き一臺といふ割合になつてゐるが、其三分の一と云へば、即ち人口三十人に付き一臺の自動車があるといふ事になる、我邦も、近き將來に於て是非此處迄は進むべきものであらうと想ふ。扨うすると東京市と接續町村、即ち事實上の東京市民約三百萬人から割出すと、十萬臺といふ數になる。今日東京市に四千臺未滿、大阪市に千臺未滿あるが、之を較べてみたならば、當に幾十倍の數である。けれども、什うしても今後斯る數を實現されると考へるのは、無理からぬ事である。扨うなれば、今日でさへ我邦の道路には隨分困つてゐるのであるから、斯る將來を想ふたならば蓋し戰慄せざるを得ない次第である。

都市の地域制度

□一家に間取りを要するが如く

□都市にも地區なる間取を要す

次に、工業地域内にある所の建物に就いて、卑見を述べてみやう。恰當、一家に間取りなるものがあるように、都市にも夫々間取りがなければならぬ。臺所で客を通す譯には行かず、客間で炊事も出來ない如く、矢張り、大都市には夫々間取りがなければならぬのである。是れ即ち前述の通り能率を增進する所以である。所謂工業地域とか、商業地とか、乃至は、住居地域とかいふようなものがなければならぬ。尤も、是は都市の狀態に依りて自然扨う出來て居る。併し其關係は屢々亂されるのである。住居地域として今日澤山住居のある所では、往々低地や濕地などがありて、直ちに住居とするに不適當な土地があると得て工場等が建ち易い。夫れ等の建物が出來た結果は、其周圍が非常に迷惑を蒙る出來た工場は初の間奈何にも便宜なようであるが、段々交通に於ても都合が惡く成り、運輸上も他の人が開いて呉れないといふような事に成り、又、他の工場相互の聯絡も甚だ圓滑でないようになる。結局、其位置を得なかつた爲めに損夫を招くといふやうな事例は澤山ある。され

ば、工場地は成る可く工業地域に集つて、交通機關でも運輸機關でも、其他必要なる機關を共同して、大規模な設備を爲し、相互に之を利用して往くことの有益なるは勿論な事である。

工業地の經營と其實例

□紐育に於ける貸工場の一例
□小工場の合同的設備の利用

是に就て、少し工業地經營の事を述べてみたいそれは、恰も、田園經營とか、都市經營とかいふものと同じ樣な事であるが、先づ・貸工業地の經營の事を述べてみやう。

一例として、亞米利加に於ける、一の貸工場地經營の模樣を述べてみむに、紐育の南ブルックリンに位置して、ブシ・ターミナルと名くる貸工場がある。是は、紐育灣に面して、約二百萬坪の地面を占有してゐる。而して、灣に向ひ七箇の荷揚棧橋を造つて、船を入れるようになつてある。其背面には、七棟の大工場を造つてあるが、其工場は目的の無い工場である。

其間には、多數の倉庫があり、動力室がある。其動力室に於て蒸汽を拵へ、之を其工場に配付するようになつてゐる。又、電氣も各工場に配付されて、給水、給燈、其他凡ての設備を整へてある。而して、斯の七箇の大工場は各建坪約三千坪位あるが、孰も皆六階建で、汽車の引込線が各建物の中庭まで來てゐる。斯の樣な設備であるが、借り主は、其中の幾工場かを借り受けて、動力あり、用水あり、或は湯抔を廉く供給して貰ふので、非常に便利である。小資本の工場主は、工場の建設等に資本を固定することがなくて、非常に便利な次第である、即ち小資本の工業家には是程便利な設備はなからうと思ふ。之を、都市の他の部分から攷へてみても、大工場には自らなる位置がある故に、餘り都市を案ずと云ふような事はない。都市を案ずる虞あるのは小資本の工業である。扨ういふものが、斯る設備に賴りて一箇所に集り、而して能率を增進し往くことが出來たならば、單り工場の爲め許りでなく、又他の市民の爲にも非常に都合の良いことゝ思はれる。（續く）



居構百選（其四）

會員　葛野壯一郎

拾　バンガロー（その壹）

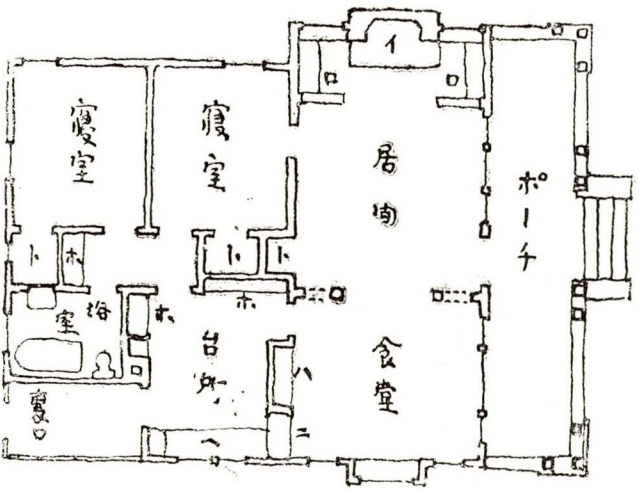
米國加州

第拾二圖に示すものは、米國加州に於けるバンガロー即ち洋風平屋建簡易住宅の一例で、ロスアンゼルス、インヴエストメント社の提供せる設計で有ります。居間の大サが約十六疊位で其一方に暖炉(イ)を設け(ロロ)の長椅子を置き、食堂は約八疊位(ハ)の棚及び(ニ)の冷藏箱を具へて居ります。寢室臺所は何れも六疊餘、(ト)の押入(ホ)の戸棚(ヘ)への流しを設け、浴室は約三疊位で浴槽手洗器及便器を置いて居ります。總建坪は約三十六坪此工費邦貨にして五千八百圓とありますから、一坪當り百六十餘圓といふ豫算で有ります。もつとも是れは戰前の相場で有りますから現今では左樣安價に出來ない事は勿論で有りますが、兎に角簡易住宅建築として最安價なもので有る事は明らかで有ります。

バンガロー本來の意義は竹等で造つた平屋建の廣椽即ちヴエランダを廻らした家といふ事でベンガル人及びムーア人等の建物から暗示を得て、是を印度風スペイン風さては日本風に取扱つた新樣式が現に加州に行はれて居るバンガローの實際で有ります。現今では單に平屋建と限らず、中二階或は二階建でも同樣の意味に於て

造作せらるゝものは矢張りバンガローと呼んで居ります。氣候の宜いところで土地が廣ければ住居は平屋建を理想とすることは勿論、殊に攀じ登る階段の無いといふ事が、家庭に於ける勞力の半分以上を節約し得る而已ならず、家中の何の室も凡てがたゞちに庭園に接するといふ事は、非常に心持のよい樂しい事で有ります。

一般バンガローの構造は内外ともに簡楚を旨とし、周圍の天然の調和をたもつ事を本義として居ります。斯の意味から外壁の如きも荒削りの板だの杉皮の様な類で張上るか或は荒い添喰塗を使用し、廣椽の柱は野面石の崩し積か、又は煉瓦積等が普通であります。屋根の如きも、板葺または簡單な便利瓦を使用し、けば〳〵しいペンキ塗だの念の入つた技工を避ける事を以て本義とするので有ります



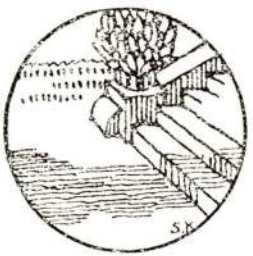
家の大さは五室乃至八室位を以て通則とし、是等の各室を最巧に配置する事により、最少の工費で充分な便利と美觀を得ることに成功したものと稱さるゝので有ります。物々しい車寄或は玄關らしいものは設けないで、廣椽から足一歩をふみ込めばそれが居宅の中心たる可き居間即ちリヴイングルームとなるのを原則とします家の内外の連絡が面倒な玄關の取次に依らないで、たゞちに一家の中心となつて居る居間に通ずるといふ至極輕便なやり方で有ります。凡て室内の造作にしても出來る

だけ簡單清楚を尊重し、舊式の住宅に見受ける様な華麗な色彩だの珍奇に走る調度を廢して、自然で簡易平凡を主として居ります。家具の如きも大部分は造り付けのものが多いのを特長とします。居間或は食堂の中心に石或は練瓦で雅味に富んだ壁附暖炉を設け、造り付けの長椅子をかこつて是を全家居の中心として居ります。居間は出來るだけ廣きを尊び、長サ三十尺のものが最多く、古い二十年も三十年も以前に行はれた客室と云つた氣分から全然脫却して、直ちに其處に『生活する室』といふ考を根本の基礎とするのであります。

室内の羽目や造作は凡て自然の木地を顯し色付を主としますが、流し湯殿や便所の様な水を使用する所はペンキを使用します。窓の障子は上下げでは無くて開きの式を普通とします。

是は窓を開いたとき一杯に空氣を入れるためで有ります。天井は寧ろ底い目の方で、底い出の深い軒を廻らすのが通則で、是れが非常に自然と親しみの有るよい感じを與へるところは、和風住宅によく似て居るので有ります。居間や食堂前の廣椽即ちポーチは是亦バンガローには無くてはならぬ附物で、外氣を樂む自然で愉快な生活には、是非とも必要の場所とされて居るので有ります。食堂は居間に次いで廣く設け、大抵は居間からブツ通しに食堂を置き、其間の仕切は造附の書棚だの飾棚で格好よく仕切つたものが多いので有ります。臺所は主婦の仕事場としてとりわけ注意し、すべてが手近に便利に處理せらるゝのみならず、各棚の配置、冷藏箱其他充分の設備を具へるので有ります。

要するに住宅としては最進んだ歡念を以て考案せられたものがバンガローで、氣候の温和な地方即ち我邦の如きにも是を採つて多少の修正を加へたならば、改良住宅としては至極便利で且つ又頗る安價なものとなるだらうと信ずるのの有ります。以下二三此所のものを擧げて一般の參考に供したいと思ひます。(ブラクチカル、バンガロース)



日本庭園考（一）

特別賛助員
農學士　大屋靈城

一緒言

庭園と建築とは常に離るべからざる關係を保つて進むものである。我國の屋制が太古より今日迄或は三韓の手法に倣ひ或は支那建築の風を學び近くは泰西の樣式を採りて色々と發達進歩變遷の跡を示して居ると同樣に庭園に於ても遠く印度の制に習ひ或は支那又は歐米の影響を受けて種々の方式を生じ今日に及んだものである從て我國の建築史に趣味を有つて居らるゝ人々は必ずそれに附隨した庭園が如何なる狀態を保つて源流したものであるかをも究めたいと云ふ氣を起されるに違ゐない。私は今日本庭園に就て聊か研究した處を披瀝して此等の人々の參考に供したいと思つて筆を執つた。幸に諸彦の研究に一助とだに成ることが出來れば余の欣びはこれに越した事はない。

今話の順序を假りに次のように定めて順次述ぶる事にしよう

一　日本庭園の起源
二　日本庭園の變遷
三　日本庭園年表
四　日本庭園と眞行草
五　日本庭園の特徵
六　日本庭園の將來

さて茲に御斷りして置かねばならぬ事は我國の造庭術は昔は多く秘傳口傳として極く親近の者

にのみ纔かに口授したと云ふ位であるからこれに關する著書や記錄抔が寔に少ないと云ふ事と造庭は建築と異ひ昔から單に趣味のある人が娯樂に造つて來たに過なくてこれを深く心得て以て職業とすると云ふ樣な所謂庭師と云ふ如き者は殆んどなかつたと云ふ、此の二つの事で我國の造庭術には一寸も順序秩序等と云ふものが立つて居らず又昔の造庭の模樣を明確に探知すると云ふ業べが無い爲に頗る研究に不便を感じ到底滿足なる批判を下す事が出來得ない從つて話が或は不徹底に終るではないかと云ふ心配であるが其の邊は一應御宥怒を願いたい。又貴重なる本誌を餘り多く穢す事も恐縮の至りであるから成るべく簡略に述ぶる考へである其の邊も御推察を豫め乞ふ次第である。

さて何が故に斯樣に造庭に關する處の著書が少ないか又研究の資料となるべき如何なる材料があるかと云ふ事に就て以下少しく詳細に述べて見よう。

抑本邦に於ける庭園書が如何なる理由でこんなに少きかに就ては色々の原因もあらうが私は大凡次の四つに起因するであらうと思ふ。即ち

一、造庭の事は各個人の思想幷に技術に關聯せる事が多く其の方法の如きも一定の法則又は形式に依る事は六ケ敷から造庭家が自己の造庭術を他人に傳授するのに文字又は文章を用ゐなかつた事

二、往古にあつては庭園を築造し渡世の具となすものはなく單に一つの娯樂としてこれを弄びたに過ない、從て譬へ作庭に妙技を得た人でも敢てこれを他人に傳授するのを好まなかつた事

三、中世にあつては、武術、歌道、蹴鞠、茶道等の諸藝の奥義は悉く之れを秘密にする風習が盛であつた爲親近や又は自己の門弟に口傳する位に限られて萬事秘すべし主義を取つて敢て之れを世に布衍しようの抔と考へたものが少なかつた事

四、王政維新に方つて當時の無風流なる官吏が庭園に關する處の記事著書抔を輕んじて之を

外國輸出品の詰物としたと云ふが是れは單に風説に過ぎないかも知れぬけれども内閣文庫中に藏せられた斯の種の書籍のどんなに少なきかを知るならば這般の傳説も輙ち信せざるを得ない。是等は本邦に於ける庭園書の少ない主なる原因であらう。

其他例へば天變地異の如き或は兵燹の如きそれが爲に失はれたものも、又數知れずあるも要するに初めから之れをものせし者が甚だしく少なかつた事は疑ひを容れない。就中、庭園書として纏まつた思想を表はし以て一本とせるようなものに至りては曉天の星の如く他の隨筆中に散見するものを加へても、僅かに數十種を越へない、今試みにそれらの書名を列記して見よう。

一、増圓僧都撰　庭園書（標題ナシ）
二、後京極攝政良經撰　作庭記
三、慶算法印撰　山水抄
四、中院康平撰　山水秘傳抄
五、後成恩寺兼良撰　尺素往來
六、玄惠法印撰　庭訓往來
七、相阿彌流　築山山水傳
八、菱川師宣撰　築山庭作傳
九、紅染山鹿庵子撰　古今茶道全書
一〇、烏丸光廣撰　山水可致抄
一一、撰者不詳　前栽秘抄
一二、清水可道撰　庭石立樣書（寫）
一三、東睦庵主人圓補撰　築山染指錄
一四、北村援琴齋撰　築山庭造傳　前編
一五、離島軒秋里撰　築山庭造傳　後編
一六、同　都林泉名稱圖繪
一七、同　石組園生八重垣傳
一八、甫喜山景夫撰　江戸名園記
一九、撰者不詳　庭山水極秒傳書（寫）
二〇、青柳堂可須美撰　改正山水庭相錄圖入
二一、點々齋撰　茶道　全幕
二二、喜多村信郎撰　嬉遊　笑覽
二三、澤田名垂撰　家屋　雜考
二四、撰者不詳　庭口傳抄
二五、横井時冬撰　園　藝　考
二六、小澤圭次郎撰　園苑源流考
二七、杉本文太郎撰　純日本式庭園圖說
二八、同　座敷と庭の作り方
二九、同　茶室と茶庭園圖解
三〇、内山正如撰　家屋と庭園
三一、木田錦吉郎撰　日本名園圖譜

三二、同　圖解造庭法
三三、近藤正一撰　庭園圖說
三四、同　名圖五十種
三五、田中收吉撰　庭園の造り方
三六、中島義信撰　造庭法圖式大鑑
三七、江原梅松撰　山水深秘造庭圖解
三八、竹貫直次撰　造家と築庭
三九、碓井小三郎撰　花洛林泉帖
四〇、秋元蔚堂撰　蔚堂譚叢
四一、田村剛撰　造園概論
四二、同　實用主義の庭園
四三、同　庭園鑑賞法
四四、上原敬二撰　住宅と庭園設計
四五、同　樹木移植法
四六、新島善直　森林美學
村山醸造掛
四七、ダエゴルドン撰　ランドスケープガーデン、イン、チャパン
四八、ヒーゴッド撰　ザ、ガーデン、オブ、チャパン

等にあり。就中第二五に揭げた横井時冬撰園藝考以下は明治以後の著書であつて、維新以前に於けるものは僅に、二十餘種に過ぎない。而も大抵は先哲の言を寫したもので新機軸の言を述べたるものは至て少い。茲に我國最古の庭園書として今日珍藏さゝるものは『第一の增圓撰』（標題無し）庭園書であるが僅に一本を前田侯の書庫内に殘すのみである。次に有名なのは第二の『作庭記』でこれは後京極攝政良經公の撰とあるが先輩の研究によれば中納言俊綱公の撰であるとも云ふ。第一の書と共に鎌倉室町時代の著書で、何れも日本造庭法の骨子を造るに與つて力あつた書である。德川時代の代表的庭園書としては北村援琴齋、離島軒秋里の築山庭造傳上下六册であるがこれは近世の庭師が必讀した書として世に名高い尙此の外に日本庭園に關した記事殊に、紀行文、詩歌、繪畫等を載せた書の主なるものを擧ぐれば、萬葉集、日本書紀日本紀、日本後紀等の正史を初め、延喜式拾芥抄、臥雲日件錄、鴨長明無名抄、碧山日錄空華日工集、蔭凉軒日錄等の日記類、山城志、山州名跡志、和州舊蹟幽考、大和名所記、其の外誌、名所圖會の類、伊勢源氏等の物語類、懷風藻、文華秀麗集、本朝文粹、續文粹以下の詩文集等枚擧に遑あらぬ位だが一つとして其の構造又は樣

式に渉りて詳細の説明を試みたものはない。明治以後の庭園書としては先づ横井時冬氏の園藝考、田村剛氏の造園概論等が名著であるが前者は日本庭園を歴史的に論究し後者は造庭の理論を學術的に述べ未だ曾て其の設計併に施工に説き及びたるものはない。要するにこは我國最近の造庭家が或は理論にのみ偏し或は實地にのみ趨り両々相俟つて進んで居らぬのを示すもので我造庭界の爲に寔に惜むべき事である。私は此後理論にも歴史にも設計にも施工にも管理にも凡て造庭のあらゆる方面に完全なる良書の續々として顯はれん事を我造庭界の爲に切望して矣ぬのである。（續く）

〔建築の内容界〕是は建築の意味表顯（エキスプレッション）で、人間を主として云へば印象（イムプレッション）である。是には二通りあつて、假りに抽象的と、具體的とに分ける。抽象的とは、例へば壯嚴、瀟洒、優美、淡泊、沖澹。崇高と云つた様な事で、具體的とは、實用上の目的から來る表現、例へば宮殿ならば宮殿の意味、商店ならば商店の表現、又住宅ならば住宅の印象を云ふのである。而して此の抽象的表現と具體的表現との間には自ら一定の組合せがある。例へば宮殿の表現は壯嚴だとか、茶屋からば瀟洒だとか神殿ならば崇高だとか云ふ様にきまつてゐる。



京都古建築觀

（補遺畢）

特別賛助員　伊藤清造

去る十一號まで拾有五回に亘りて京都の古建築に對する吾人の卑見を述べた、而して、餘りに回數を重ぬるの多き爲客年の本誌最終號を以て一先づ打ち切ることにした併し乍ら、其結尾を見ずして稿を畢るのは奈何にも物足らぬ感なきを得ない、仍つて、前々號より更に兩三回に亘りて掲ぐることゝしたのである。

第參章　結論（畢）

繪畫は須らく印象的でなければならないと論じ又は宜しく説明的でなければならないと敎へ尙深く詳細に入つて、雲には此いふ色を用ひねばならない。木には此いふ色を用ふべきであるとし、既往の作品から歸納して、論述した所で雲に美くしい繪畫が出來上るであろうか。吾人は作家の製作的心理に、苦悶の過程を取る要を認めるのである。短歌は萬葉集風でなくてはならない、説明的ではならないと做し、古今調の和歌は短歌ではない、文學の遊戲である、最も切實な、生の表現を主とせなければならない、といつたとて、吾人は容易に三十一字の詩歌は作成出來ないのである。

希臘の現世的な現實的な所謂 Hellenic realism から羅馬の極点に達し Gothic の宗敎時代から始つた、靈的の暗黑の時代を通つて Renaissance 內の曙光を論じ、輓近に至つては Naturalism, Idealism, Impressionism, Neo-Impressionism, Expressionism等と種々なる藝術的思潮を、

論じ來つて、將來かくの如き方面に美術は進展すべきであると、批判家は敎へたとて、吾人はこれに從つて、自個の藝術上の主義を變更すべき適當なる理由を發見することは、出來得ないのである。吾人は、最つと主觀的地位に立脚地を確立して、最高義の藝術に突入すべきである

かくの如く論述して來ると、吾人は全然客觀主義の方法論的形式を否定し去ろうとするようである。けれ共、客觀的研究の事實は、吾人は一應考察するの必要を感ずるものである。既往の作品を批判してゆくのに、又は、將來の藝術を建設してゆくのに、成程必要は認めないけれ共、客觀的研究の結果は、吾人は一種の趣味なくして迎へることは、出來得ないのであつて、石山寺多寶塔の比例が、武田先生の說明の如き結果を有するの事實は、吾人は無意義に葬り去ることは出來ないのである。

吾人は、以上多々辨じた處は、純理論的見地からした予の藝術觀の一般であつて、實際上藝術は主義が並行して、始めて偉大なる進展を企圖してゆくことは、予の藝術觀の如何に拘はらず、依然として變らないのである。

（三）

建築は雨露風雪を凌ぐのみと考へてをつた先史時代や、原始時代の事はともかく、苟しくも建築が人類生存上の必須要件の一として考へられ、十九世紀頃から美術の一科として認められるようになつてからは、是等建築に對する要求も、亦次第に複雜して來た事は勿論であるが。これ等の發達過程を單なる技術と形式との方面のみから觀察してゆこうとすることも、美術と許された建築には完全な研究ではないことになるのであつて、當然文明史と親密な關係を有すべきである。歷史は純然たる客觀主義のみでは不完全なものであつて、多少の主觀を伴ふべきである、と或る歷史學者は論じてゐるけれ共、是れと同樣の事柄は、我建築史によつても當然論せらるべきである。

某の寺の建築はこうである、某の社はあゝであるとのみ論じて行くのは、眞個の美術史の領域ではなくして、主觀的論述が始めて意義ある美術史ではなかろうか。

茫漠たる埃及に起つた美術は、埃及の美術で

あつて他國に移植すべきものではない。移植するには、その間に幾分なりとも醇化するの機會に接してゐる。希臘のアクロポリスに生れた藝術は、此處以外に輸出せらるべきではない。而し實際に於いて移植せられ、輸出し輸入されてゐるのはどうであろう。此れ畢竟する所形式の移植輸入であつて、美術的精神の移植輸入ではない。文化の根本的基調となるべき民族性ではない。幾ら Hellenic style だといつたとて、希臘にあるものと、佛國にあるものとは此處に大なる徑庭があるものである。

我邦に於いて飛鳥時代の建築が、如何に支那南北朝時代の直寫だとて、吾人は支那南北朝時代の美術と、我が飛鳥時代との對照を同日に論ずることは出來ないと思ふ。我日本國内にあつてさへも、奈良と京都とは已に大なる差異を以つて吾人に接してゐる。京都の建築は、京都の人心を反映せしめ、奈良の建築は、奈良の人心を反映せしめてゐる。況んや、外國の建築を我國へ輸入しようとした明治初年に於いて、建築のみでなく美術の全般と他の制度文物皆であるが）思想上一大海嘯を起したのは、故あることである。

支那の建築が、我邦に移植されて比較的よく醇化され、今日、恰も我邦國有の美術かの如き觀のあるのは可成古くから彼國と交通して、國風民情が比較的理解されてをつたからである。此れ等の支那日本所謂極東の美術が、今度は外國に如何に解釋されてゐるのであらうか、吾人は未だその實際を知ることは出來ないけれ共、その一斑は The Room Beautiful 所載の寫眞に依つても略識ることが出來ると思ふ。此の數多の寫眞中の一つの A novel treatment in a Japanese restaurant の如きを見ると、思ひ半ばに過ぎるものがある。外國人が我日本美術と理解し兼ねるのは、故ある事としても、吾人でさへ、我邦の美術を充分に理解し能はないものがあるに於ては、實に慚愧に禁えないものがある吾人は、閑を得る毎に古美術を巡訪して、眞個の美術史の第一義に接しようと努めてゐるけれ共、未だ遼遠たるの前途を有してゐる。本稿一編幸にも多くの措誤なくして、この企圖に一歩を進めることが出來得れば、最も欣喜に禁えないのである。



『生』の反映たる建築

―勞働觀念の建築に及ぼす關係―

江村郊邨

原始建築――空間美術の一種――個性の表顯――時代思想と個人の性格――建築の新なる表顯――現代建築の進歩は必ずしも藝術的進歩に非ず――人々の內的價値の進歩――生命の泛い――設計家と施工者――實際の藝術的表顯は施工者に在り――ウイリアム・モリス氏の藝術と勞働觀――物質文明の茶毒――現代物質文明の病患に惱れる勞働者――勞働問題は藝術味を喪つた叫びなり――ブラグトン氏の建築と時代精神觀――現代の建築物は何を徵象する?

原始建築、即ち、主として『自然』の壓迫より逃れむとする處の必要から生じたる建築は、單に之等の目的にのみ生じたのであるが故に、それ以外の意義は有してゐなかつたのである。けれども、現代までに進歩したる建築は、單に實用といふ意義に止まらずして、所謂『生の觀喜』を表現せる處の一作物、即ち、美術中空間美術の一種に屬するとは云ふ迄もない事であり又、近代の建築は、斯の兩方面の調和に向つて著しき進歩を示せると同時に、就中都市に於ける建築の如きは、寧ろ美的方面に其生命を有してゐるように想はれる。而して、建築物は、少數な人々、時によると僅に一人によりて設計されるのである。故に其細部（デテール）に於ても、恰好（プロポーション）に於ても、美術の本性として、其處に其者の個性が表顯されあることは申す迄もない事である。けれども、一面に於て、個人の性格は、時代の

思想に依りて影響されることの著しきものあると同時に、時代思想は亦個人の性格によりて造られるのである。例へば、個人價値の自覺が強烈となつた時代は、即ち、政治的又は經濟的の壓迫に抗して、其處にデモクラチックな時代思想を生じ、又、之等の時代思想は一層個人の自覺に深みあらしめ、若くは、個人の性格が、曾ては無關心なりし凡ての勾束や壓迫なる形套を嫌忌するに至るが如きであつて、是は、世界の國民性發達の蹟を繹ねてみても、又、現代に於ける所謂社會思想變遷の歷史から稽へても、之を肯定し得べき事實は幾等もある。されば、現代に於ける我建築物に於ても、漸次舊套を脫し新なる表顯に向つて進みつゝあることは、決して事實を証ゆる見方ではあるまいと想ふ。

併し乍ら、時代の發展と共に建築の進歩といふ事は、必ずしも藝術的進歩といふ意味ではない、藝術的進歩といふことは、之を表顯すべき人々の内的價値即ち品性（キャラクター）の進歩でなければならぬ。單り建築許りでなく、繪畵の如きでも彫刻の如きでも、又、すつと下つて、日常の調度品の如きに到りても、是等の製作其ものによりて自己の品性（キャラクター）が表顯さるべき筈である。云ふ迄もなく、それ等の藝術的價値は、其現顯されたる線の配合でもなく、結合されたる或ものでもない、恰當、奈何に絶巧な造花でも、之を眞の花卉に較べて、其處に『生氣』の躍動せるものなきが如くに、全体としても部分としても、眞處に生命の泛いがなければならぬ。而して、斯の生命の泛いは、實に、直接には作者自身の表顯であり、間接には時代其ものゝ反映である。

繪畵や彫刻や音樂杯は、其作家や演奏者の個性を直接に表顯し得て、亦、聽ては、其時代思想を透見し得べけむも、建築に到りては、近代の分業組織として、勿論、其設計家と施工者とは全一人でない、寧ろ、其實際の衝に膺る者は多數な人々である。されば、設計家が奈何に椽大なる手腕を振ふても、實際の藝術的表顯は、即ち藝術としての其生命は、それ等施工者によりて制御（コントロール）されるのである、否な、寧ろ之が施工

者其ものゝ品性（キヤラクター）を現顯されるのである。

茲に於て、わたくしは、端しなくも、彼のウキリアム・モリス氏の藝術觀を想起せざるを得ない。氏は、斯ういふてゐる。

『勞働が總ての人に對して愉快なるものたるに至らば、美術は茲に自ら生れ來らざるを得ないのである。何となれば、美術は（――）勞働に於ける各自の喜を徴象するものたるに外ならぬからである。而して、勞働が人々に對して、一般的に愉快のものとなり、茲に藝術の生れ出づるものなりとせば、其藝術は人民一般の爲に人民一般の間より生れ出でたるもので、（――）然かも藝術が、よく斯の如きものたり得むが爲には、之に當る人々は、道德的に大いなるものを必要とするのであつて此の必要は二つある、即ち、誠實と生活の簡素と之である』（河田博士譯を摘錄）

。而して、更に、斯う云ふてゐる。

『喜ばしき勞働は、自由で束縛や强制を受けない勞働でなくてはならぬ。――其勞働に於ける喜悦の表象が、即ち、藝術なのだから、藝術といふものは、たゞ藝術の爲に存在するのではなく、日常普通の勞働も藝術たり得ざる筈はなく、日常普通の製作品が美術品たり得るのである。（――）然るに、近時に於ては藝術は人生日常の行爲と離れて、段々專門化するに至り、從ふて、漸次人生と沒交渉たらんとするに至ると仝時に、勞働は漸次に其の愉快を失つて、苦痛たるに至りつゝある。之れ洵に、現代の文明が齎せる災害であるから宜しく之を本道に皈らしめて、勞働と藝術の一致を計り、勞働を手段化することなく人生其物たらしむるに努むることが、現代に於ける要務たらざるを得ぬ』

と。斯の思想を、建築物の上に徴象することはモリス氏も、英國に於ける古き建築物の上に看出され得ることを云ふてゐるが、今や、世は物質文明の茶毒に惱まされ、人々は競ふて、ヨリ多くの物質の獲得に趨り、奈何にして物質生活の飽滿を得むか、といふ事にのみ考想を濺ぎ、

殆むど絶へて、内に自ら『考ふる』の時を得ず、モリス氏の所謂勞働、即ち、廣き意義に於ける處の勞働を唯物慾の手段化して、『生の歡喜』でなく、寧ろ、生の苦痛を呪ふのは、實に、現代に於ける狀態である。焉ぞ、其處に何の藝術があらうか、又、崇高なる思想の表現があり得ようか、わたくしは、現代の建築施工者に於ても斯の病竇を有するなきかを欵ふ。建築設計家の椽大な面して崇絶な設計でも、例へば、細部（アテール）の一彫鑿に、或は、煉瓦一つ積むにも、其實際の勞働に膺る人々が、現代物質文明の病患に罹りて、勞働其ものが藝術たる力を喪ひ、所謂世智辛きを呪ふて、勞働を苦艱視する以上は、建築設計家の高邁な理想も、竟には完全に現顯し得ないではあるまいか。要するに、現代の所謂勞働者問題の如きも、所詮は、勞働其ものに藝術味を失へる思想の、操ける物慾の叫びだとも聞へる。されば、建築勞働者の問題は、嚮て建築の眞生命、即ち、建築藝術思想の問題、更に、換言すれば、現代の建築が藝術たる一特性を喪ひ、殘るは、唯、ヨリ多くの材料を聚合配別したといふに過ずして、實質は原始建築の昔に憂はあるまいか。

ブラグトン氏は、建築が時代精神、即ち、嚮ては其個人の思想を徵象せる事に就き說いて曰く、(The beautiful necessity.)

『埃及建築に於ては、自然に、原始時代に於ける長夜の怠眠から覺醒せる處の、人類の靈魂に關する事情を徵象してゐる。尙又、直ちに神の威力を自覺することになり、肉體的周圍の鉛の如き重荷から自覺することになつた事を示してゐる。埃及は新に生れた人間であつて、而かもその臍の緒が未だ離れずに、『自然』と續いて居つたのである。(——)希臘の建築では、畏敬と神秘に關する俤とは、純然たる喜悅と自內とに變化した。

(——)希臘は、『愛の時代』てふ少年時代を標示してゐる。(——)羅馬帝國の建築が體現發露した精神は(——)君權を極端に發揮したもので、(——)煉瓦と混凝土の非常に大なる未

熟な肉慾的な塊で出來た建物の内に、其原型を檢出することが出來る。(――)羅馬の天下が其最も特色とする表出を發見したのは。神々の高い殿堂の上にしたのではなくて、寧ろ(――)人民の娯樂の爲に、純然たる現世的の要求を建築した點にあつた。』

是は、素より、古昔の建築物が、其時代に於ける『人生』を返照せる事を云ふたのに過ぎないが唯、斯の眞理は今も尙渝らざると共に、建築が時代と個性を背景とした藝術的徴象物なる事を裏書し得られるのである。されば、現代に於ける我建築物は、果して、是より何ものゝ徴象を得るであらうか、乃至は、眞の藝術味として、何ものも描出し得ないであろうか、物質文明の壓迫に殆むど藝術味を喪はむとする現代人の實狀と、併せ稽ふべき頗る興味ある問題ではあるまいか。

はにのふいがルイラーカ

『世界には只一つの殿堂がある、其は即ち人間の體の事である』と。若し此身體がカーライルの述べたが如くに、それが殿堂であるとしたならば、丁度個性が肉や骨で出來た要塞内に住つてゐるか如きものである。それと全樣に、建築術に於ける殿堂又は何かの作物は、人間が其用途に應じて創作したる稍大なる身體であるといふのを信ぜざるを得ない。人間界と全樣に、建築なる物も全體に對して部分が特別なる從屬を存すといふ點に一致するものがあるのである。之等各部間に存する調和したる内的關係、その一官能又は數官能の各表情的で且之等が多くなり分離したるときにも、他のものと之等との調停一致を爲すものである。斯くして、その界の源泉を不解説明せんとする見地を以てする人體關係の研究は、その有効なるを否定することは出來ない。

一一想事

都市計畫の觀方

稅務行政の側から觀た都市計畫

大阪稅務監督局長　楠木正隆氏談

◉都市計畫とわたくし方の關係と致しましては土地の分割と、收用土地の評價に參加するといふのが、先づ只今の處で明確に考へられる關係でせやう。

◉其他、都市計畫に仍つて、其路面に伴へる宅地が著しく騰貴するであらうといふ事は、現在からして豫想される事であります。蓋しですナ、現在の地價なるものは、明治四十四年かに修正されて引き騰げられたのですが、是には制限があつて、現在地價の四倍以上とするを得ない事になつて居ますから、舊地價の低い處では、現在でも多少な不公平を來して居ります。

◉其宅地價は、御承知のやうに稅額算定の基礎となつてゐる賃貸價格の標準となるのですから都市計畫の施行に因りて、自然課稅額は上つて行くことゝ想ひます。例へば、都市計畫の爲に交通路面に臨む土地とか、或は、從來、所謂袋地であつた爲に地價の大層廉かつたものが、步道に面するやうになつた爲め勿論地價の騰貴を

來すことでありませやう、或は、角ど地になつた處も一層地價の騰るには相違ありますまい、彼樣な關係から觀ますと、宅地價の修正といふ事が、都市計畫に因りて差當り生ずる關係であります。

◉其他、營業稅に就ても、都市計畫の實施と關係を生じて參ります。何故かと申しますと、御承知の通り、營業稅も、其課稅額を算出する標準の一とつは、宅地や家屋の賃貸價格でありますから、都市計畫に因つて、自然其家屋土地の增價と成る結果、それ等の賃貸價格にも影響を及ぼすからであります。

◉更に、亦其結果として、所得稅にも影響を及ぼします、例へば、從來裏地であつたものが、表地となつた爲め賃貸價格がずつと騰るのは勿論な事でありますから、自然、其所得上に及ぼすは申す迄もない事であります。

◉彼樣に考へますと、わたくしの方の關係と致しましても、都市計畫の實施が何も彼もに差し響いて來るのであります。但しですナ、市街宅地は、法律の改正を爲して、其修正法の實施された後でなくば、勿論現實に斯の樣な關係は生じません。其他にも種々な關係を生じて來るであらうと想ひますが、今差當つて考へに浮ぶのは之等の關係であります。

◉次に、大阪市の如きも、市區改正に就て問題となるのは其財源でありましようが、斯の事に關しては、既に、愛市公債に賴れとかいふやうな說もあつて、其財源上の研究も遂げられつゝある事と想ひます。けれども、わたくし共稅務行政の局に膺り、大阪市の經濟力に就て多少其消息を解して居る者から觀ませば、其豫算に計上されたる處の一億三千萬圓といふ負擔力は、左して困難な問題では無いと想ひます。

◉其經費は申す迄もなく繼續費でありますから要は、其償還すべき財源さへあらば足れりで、多少利率の問題はありますけれども、償還期限の長短は、應募者として左したる問題ではありますまい。

◉大阪市は、其財源に就て奈何なる方法を採るのか、わたくしとしては豫め判りませぬが、若し之を全然公債に賴るとしても、其償還期限を

假りに五十箇年とせば、平均一年當二百六十萬圓で、之を、現在大阪市だけで凡ての租稅額一年當五千萬圓を負擔してゐる處の實力から觀ますれば、縱し多少戰後の變化ありとしても、決して重い負擔ではないと想ひます。

◉大阪市としても、一方には、土地增價稅又は路面稅或は空地稅等兎に角適當な財源がありまず。他面には、國稅の附課稅も、前申しましたやうに、地租とか、所得稅とか、乃至は營業稅とかいふやうな國稅が、都市計畫の實施に因る增收から膨脹したならば、市も亦此處にそれだけ財源を得る事になります。

◉又、一方から考へますと、其經費なるものは全部を現代の人々殊に市民が負擔するのでなく多くは公債支辨でありますから、後代の者に其負擔を分割される結果となります。話は再び後へ戻るやうでありますが、件の財源として、官有土地の或ものゝ如き、或は市有土地の整理抔是も一とつの財源でありましやう、けれども、恒久的の財源としては、什うしても租稅に藉るより外はありませぬ。

◉租稅を現在の狀況より觀ますと、大阪市だけでも、國稅市稅が、年々二割以上の增加率を示して居りますから、斯の割で茲數年せば一億圓以上となりましやう、其他、附課稅も、三五年の後では二千萬圓位にはならうと想ひます。

◉併し、實際は、其財源の多くを經常費の方へ取られるでありましやうから、勿論其悉くを都市計畫に關する建設費に充てることは、云ひ換れば、都市計畫事業公債とでも云ふべき、一億三千萬圓の償還に充てることは出來得ないでありましやうが、先づ前お話しました處の大勢から觀ますと、左して困難ではありますまい。

◉終りにお話致したい事は、市が都市計畫に就て其建設費を餘り膨脹させない一策として、差當り其豫定地を一日も早く買收する事であります。申す迄もなく現代の經濟狀況よりすれば、宅地等の價格は、極端に云はば刻々に騰貴しつゝあるので、是は恐らく經濟界の膨脹に伴ふ自然の趨勢でありますから、買收を急ぐ事は先づ採るべき策ではあるまいかと想ひます。左すれば、差當りそれに對する財源を確定する事は尙取り急ぐべき政策ではありますまいか。（畢）

路面と公園と交通機關

大阪府知事　池松時和氏談

◉都市計畫に關して何か抱負を話せといふのですか？、扨う開き直られてはちよつと困りますヂ、――御承知の通り、大阪へ來てからまだ間もない事でもあり、田舍からやつて來たのですら、抱負だの意見だのといふ程度には至りませんよ、併し、大阪へ來ても一層感じた事は、由來我邦の道路といふものが甚だお粗末なものでありますが、大都市としての大阪市の路面に至りては大に改造を要しますヂ。

◉都市計畫の上からしても、當然の成り行きとして、何れは路面の鋪裝問題抔に接觸しましようが、道路幅を幾等廣く爲した處で、路面の整理がなかつたなら、申す迄もなく路線の改造許では駄目です、勿論、大阪市としても斯の問題に就て、現に着々遣つてゐるやうでありますが先日池上市長に會つたとき、全市主要の道路を鋪裝するだけで六千萬圓許も要るやうに云ふてゐましたつケ。

◉大阪の市區改正事業に一億三千萬圓を要する豫算になつてゐるやうですが、路面の鋪裝を完了するだけに六千萬圓も掛るとなれば、市として大きな問題ではありますけれども、是は市區改正に伴ふべき事業でありますから、事情の容す限り努めて現在の路面から先に遣つて貰ひ度いものですヂ。

◉次には公園と交通機關の問題でありますが、是も今回の都市計畫中にも當然這入つてゐて、而も其計畫中の重要部分ではありましやうが、大阪は、東京抔のやうに、行くとして樹木を見ざるなしといふ有樣とは異つて、街衢に身心を

休めるやうな自然に接し得べき場所は殆んど絶無で、市内の二三小公園は勿論な事、天王寺公園邊りでも、直に都會の黄塵から避ける事は望み得ないのであります。

◉公園は單なる遊び場所でなく、一面から云はば、都市民の品性（キャラクター）に重い關係を有つてゐると想ひます、何故ならば、都市民は、四六時中斯の都會的な強烈なる刺激に惱まされてゐるのでありますから、直に身心を休めるといふ事は、什うしても『自然』に接して長閑な心持ちになるとか、或は默想するとか、乃至は歌ふとかいふ風にならなければなりません。

◉都市の絶へざる強烈な刺擊に萎靡したる心を恢復せむ爲に、芝居とか活動とか其他熱踏の巷街に行く事は、恰當、ウヰスキーに醉つた惱みを消さむが爲めに、燒酎をあふるやうなものですヲ、矢張り刺擊に次ぐに刺擊を以てするので斯くては、都市民に神經衰弱者の多い事、蓋し怪むに足らずですよ。

◉單り都市民ではなく、人間は、什うしても、恒に『考へる』といふ事が必要です、馬車馬のやうに都會生活の軌道を駛つて〳〵、其處に餘裕も何も無いとなると、人間の品性（キャラクター）といふ事が自然に荒むで來るものです、善良なる都市民たらむには、其處に、什うしても、『考へる』といふ時と場所を與へなくてはなりません、其機會を與へるのが、即ち公園ではありますまいか。

◉斯う考へて來ますと、現在の大阪としては、到底其適當な場所を見出し得ませぬから、大阪の近郊に之を求めなければなりません、扨うすると、問題は一轉して、都市と是を聯結する處の交通機關の問題となるのでありますが、現在のやうなそれ等の設備が不完全では、殆んどお話になりませんヲ。

◉ちよつと近郊へ行うとしても、現在の電車抔が婦人や子供は到底乘り得ないやうな狀態で、吾々でも時々は餘程努力せなくては、何時までも置いてけ放りにされるやうな狀態では、交通機關より亨くる都市民の福利といふ事は、甚だ以て普遍的でない事になります。故に、斯の改造も、公園問題と共に考ふべき、都市民の重要問題ではありますまいか。（畢）



都市と社會施設

英國に於ける住居政策（2）

（大阪市發表）

次に箇々住宅の處理に當り其の全地域を全然廓清し再築せざれば到底危害を除き得ざる程密集して建込められ且つ設計不完全なる時は地方當局者は隨時其の目的に對し計畫を立つるを得其場合如何に手段を講ずるも人の住み得る樣修繕する事能はざる特殊の家屋を除く外破壞したる家屋に付ては所有主に賠償金を支拂はざるへからず。されど全地域を買收し（時には工場其他の善良なる住宅を含む）廓清し改善するに要する費用の實に莫大なるものあるは此の計畫の今日迄餘り實行されざりし一事に徵するも明らかなり。斯の如き比較的大なる計畫は戰前には一年に僅か二三回提出されたるのみなり。目下各市に於いて是等『煩はしき地域（スポツツ）』を更に經濟的（フレイグ）なる方法に依り處理し得んものと努めつゝあり

十九世紀の間新築住宅建築の監督範圍は更に擴張され地方當局者は其れに對し細則を作るべき權能を與へられ或は與へらるべく要求したる

あり。かくして監督は（地方に依り多少の異同あり）住宅の給水、排水、或は其の建築に用ふる材料各室の高さ等にまで及べり。是等規定の結果、私人の計畫して建築されし住宅は著しき改善を見たりしが一方細則の頑強にして融通の利かざるより時には大なる困難を感じ、莫大なる費用を要せしものありといふ。（國會議員ステフエン、ウオルシュ氏 Mr. Stephen M.P. Walsh を委員長とせる特別委員は目下細則問題に付き考慮中なり。）

是等の規定は漸々住宅標準の向上に當り大いに價値ありしが尚土地計畫、地取等は自然の成行に任かされ地方に於ける將來の發達に關しては何等の考慮さるゝ所もなかりき。地域は工業の目的、居住の目的の差別無く用ひられし爲め結局工業家、居住者共に益せざりき。而かも住宅は何等の趣なく單調なる一列になりて敷地に群がり健康も快樂も共に是等の犧牲となれり。

一九〇九年都市計畫問題に關する制定條項は初めて住宅及都市計畫條令中に挿入され、次で地方當局者は地方自治總務省の認可を得て改善の途に於ける或は建築に使用し得べき見込ある土地に都市計畫を行ふべき權限を與へられたり

戰亂の影響

這般戰亂の住宅拂底に及ぼせる影響は（一）著しく住宅の缺乏を增加したる事（二）不適當なる住宅の修覆閉鎖或は貧民窟廓清等に關聯せる一般事業を事實上中止したる事（三）建築費及金利の著しく昂騰したる事（四）建築材料の缺乏甚しき事等なり。

（一）拂底

一九一五年以來勞働者階級の住宅は軍需品製造場幷に造船所を除きては建設されたるもの極めて少く是等と雖も住宅は絕對的必要を感じたるにあらざれば建設されず其數亦僅少なりき。最近地方自治總務省は英蘭及び威爾斯の各地方當局者に對し其地方に於ける住宅拂底に關し左の如き照會を發せり。

（一）現在必要なる新設住宅數。

(二)戰亂終結の曉其地方に於ける勞働者階級の必要なる收容に備へんが爲建築せざるべからざる新設住宅數。

右に關し今日迄各地方當局省より集まりたる回答約千五百に及べり、其の結果(一)に關しては十七萬戸(二)に關しては十九萬戸なりき。(故に若し戰爭が今直ちに終局を告ぐるものと假定せば三十萬戸乃至四十萬戸の住宅は即刻建設されざるべからざるべし。)

(二)不完全なる住宅及貧民窟

之と同時に勞働の不足、材料の缺乏より住宅にして修繕されたるは極めて必要なる小部分にのみ限られたり地方當局者は不完全なる住宅に對しても閉鎖命令を發し能はず、或は修覆の戒告を所有主に與へ得ざりき。一九一五年地方自治總務省は地方當局者宛左の如き通牒を發したり。

『其の區域に於ける公共衛生管理の標準を弛緩せざる範圍内に於て地方當局者は出來得る限り障害物の取除き又は健康保全上絶對的必要なる工事を除きては個人に依りて費用を負擔されざるべからざる工事實行の要求を控へられたし。』

戰亂による特殊の事情より此の必要を生じたるものにして一般に既存住宅の性質は著しく下落したり、又貧民窟にして廓清されたるものは極めて少數にして改善計畫の着手されたるもの亦少なかりき。

(三)建築費

建築費は戰前十ケ年間に實に著しき昂騰を見たり。戰爭開始せられてより其の暴騰殊に甚しく現在にては戰前の約二倍と目せらるゝに至れり、而して平和回復の曉と雖も尙一九一四年の一倍半を下らざるべしと觀測されつゝあり。故に戰前二百磅を價したる住宅は戰後少くとも三百磅を要するならん。加ふるに戰爭に依る多額の借款の結果金利は益々昂騰し戰前政府が住宅計畫の爲地方當局者に三分五厘にて貸付けるたりし資金は現在にては實に五分五厘ならざれば貸付け得ざるなり。然れども一九一五年、家賃

抵當利子增加條令（戰時制限）(the Increase of Rent and Mortgage Interest (War Restrictions) Act, 1915)の結果戰前に存せし住宅の家賃は一九一四年と同標準にあらき。

(四) 材料の供給

大なる木材の需要煉瓦工業及其他建築材料工業に於ける勞力の不足等に依り供給力は著しく減せり、而して本問題に關しては目下特別委員調査しつゝあり。吾人は今や戰後直ちに要すべき多數の住宅に對する建設準備の如何に重要なるかを示さんとするものなり、而して住宅建設をして確實ならしむべき我政策實行方法を示さんとするものなり。

實行の必要

斯く住宅の狀況は戰前に於て良好ならざりしが更に戰亂の結果一層重大となれり、戰後本問題を急速に有効に處理せざるべからざるの必要なる事を主張する亦所以なきにあらざる也。

不良且不適當なる住宅の社會上幷に產業上に及ぼす影響の至大なるは言を竢たず、こは疾病の傳播、幼兒の高き死亡率、肉體の衰弱及社會幷に產業上の不安等の主因の一と謂ふべし。之に反して多數新設住宅の建設は增加せる食料製產にも、迅速なる復員にも共に肝要にして戰後の失業を防ぐに足るべし。

(イ) 不良住宅の健康並に生命に及ぼせる影響

過住且不良住宅の健康に及ぼす害毒の如何に甚大なるやは周知の事實たり、閉込められし地空氣の豐かならざる所、日光の不足　濕潤、排水作用の不完全、或は過住の狀態、總て斯る所は常に病毒の蔓延速にして、幼兒の死亡率は勿論、一般死亡率に著しき增加あり。本問題に關し專門的研究を遂げたるメーヤー博士 Dr. Mair は肺病に依り死亡したる者、及幼兒の疾病に罹りて斃れたる者は普通の住家にては實に背中合せの住宅の半數に過ぎずとの事實を發見せり。

過住並に非衛生的住宅の結核病に及ぼせる影響著しきものあり。倫敦結核病施療所（the Lo

ndon Tuberculosis Dispensaries) の報告に依れば同所の施療を受けつゝある患者の二分の一は僅か一二室より無き住宅に居住せるものなり、又一施療所の報告中左記の如きものあり。

『明かに結核の徴候に依り苦しみつゝありし七百六十六人の患者中、僅か百三十四人が夜別室を占め、其他の者は一人或は一人以上の人々と共に就眠す、而も是等の中僅か百七十九人が別の寝臺に眠り得るも殘る四百五十三人は實に一人以上の家族と寝臺を同うしつゝありしなり』

個々の場合に於ける不良なる住宅狀態の如何なるものなるかは又一施療所の次の如き報告抜萃に依り例示されん

『百八十一番地に寡婦シムスを訪ぬれば、戸打ちて案内乞ふも哀れなるばかり悲慘なる狀態にありき、其朝早くシムスは目覺め、一入劇しく咳込みたる後息絶ねぬ、保險にも加入し居らず、蓄へも無く收入も無く、哀れ彼女の遺骸は冷かに横はれり。五人の幼き孤兒は小さき目を見張りて、初めて目の當り見たる死の光景を不思議氣に見守りつゝ、亡き母の周圍に立てり、乏しき火は幽に爐格にゆらぎ、窓は只閉ぢられたるのみならず窓框の端は細長き紙片を幾重にも折りて堅く糊付けされありたり、古びて緩みたる戸窓の隙間等より定めし冬の夜は肌を劈く烈風の容赦なく入り來りしならん。是等の窓は久しき間紙にて閉ざされあたれば身を切る冬の寒風も、觸るゝに心地よき夏の冷風も共に鎖ざゝれき。紙片は以前の借家人に依りて張られしなり。彼等が立退を命せられしは實に總數十四人の家族となりし時なり。窓閉ぢたる二箇の小室に十四人の家族!! 死の種子は百八十一番地の床上に厚く固く播かれたる也。』

惡しき住宅の狀態は肉體の健康上のみならず一般生活標準にも又影響を及ぼすものなり。家族は十四人を數ふるに僅か二箇の室より無き住宅にして、如何に清潔を保ち住心地良き家庭(ホーム)を造り得べきや。異性を分つに充分なる室の無き

處に、或は六箇の共同家屋に只一ケ所の便所より無き處に――此の如きは我都市の或る地に於ては異當事にあらず――斯る狀態の下にありて如何に善良なる風俗を保ち得べきや。

(ロ)住宅と産業不安

昨年(一九一七年)産業不安原因を調査すべく勅定(ロイヤルコムミション)委員任命され先づ英國を八地域に分ちて之等委員を各地に派し、其不安原因を調査せしめたり。其の報告中八地域の内七地域迄不安の原因は豊ならざる惡しき住宅なりとの事實を特報せり。

東北地域(イースイースタンエイリア)に派せられたる委員は報告して曰く『住宅問題は産業不安の一般的原因の一として指摘せざるべからず、即ち國家の利害より考察するも第一に處理せられざる可らざるものなればなり。』又ヨークシャイヤ地域の委員は戰後社會改造の必要を説きて、特に住宅收容力の增加並に之が改善を絶叫せり。又威爾斯(ウエールズ)の委員は曰く『既に集りたる許多の材料に徵するも明かなるが、不滿足なる周圍の狀況並に住宅收容力の不充分は不安原因の最も重大なる要素たり。』

(ハ)食料生産と復員

今や吾人は家内生産食料品の增加を計る事の重要なるを實覺せり、現在にては勞力の不足に依り土地より充分なる生産を取得し居らず、されど戰ひ一度終結を告げ、歸國せる兵士を故郷に送り相當なる前途を與ふるに於ては充分なる勞力の供給を得ること不可能事にあらず。されど彼等と雖も相當健康に適へる住宅の保證されざる限り如何に戶外生活に憧るゝとも田園生活に立歸らざるべし。出征前鄉土にありて農業に從事せし既婚の兵士は大部分歸る可き家庭あれど、結婚を望める獨身兵士は住宅問題に關し爲政者が有効なる手段を採らざる限り田舍の地方に住宅を見出すは難事と謂ふべし。

加之二百萬エーカーの原料地を開墾せんには更に多大の勞力を要し、又之に伴ひて更に多くの住宅を要す、故に地方に於て相當の田園を有

する多數の良住宅の一日も早く建設されん事實に焦眉の急と謂ふべし。

(二)復員と失業

戰亂の終熄するや陸海兩兵の出來得る限り速かに復員されん事は、彼等の爲にも又吾人の爲にも希望する所なり。軍事上の必要と輸送上の困難とを離れて復員の速度に至大の關係を有する二問題あり、其の一は除隊の曉き兵士の往いて住むべき住宅の有無、他は職業の得らるべきや否や也。

戰より平和の礎へとの變遷により產業上にも財政上にも大なる混亂を生じ同時に著しき失業の難あるべし。原料の乏しき或は輸入に竢つ可き諸工業をして急速に再興せしめんとするは不可能なり、不足せる船腹は軍隊並に食料の輸送の爲めに其の大部分を占められて層一層不足を告ぐべし、然れども建築材料は殆ど全部我國にて製產され木材のみ缺乏を告ぐる樣なれどこは目下住宅建設に要する木材を能ふ限り最少量に減少せしむべき方法試驗中なり。即ち大體に於て必要なる建築材料の少くとも十中の八九までは——即ち煉瓦、セメント、鐵器類、葺石、瓦等——我國にて生產し得るなり。

實際に必要なるだけの住宅建設計畫が平和回復後直ちに實施されんか、仕事は煉瓦製造人及其他の建築材料製造に從事せるもの（即ち煉瓦積工、左官、大工、指物師、鉛管類敷設工、其他事實上住宅建築に附屬する總ての者）に割合てらるべし。又道路築造、下水設備、土地改善等の爲多數の勞働者に對し直接仕事を供給し、又造作付其他の職業者にも間接に供給するに至るべし、故に必要なる多數の住宅と相關聯して仕事は此の如く百萬以上の人に與へらると言ふも亦過言にあらざるべし、而してこは實に失業問題に對する唯一の救助船たるなり。

實に國家は戰後其の國民の保持扶養を圖らざるべからず、眞に必要にして有益なる仕事に彼等を用ひて國民の保護に努むるは、軍隊に於て最早必要もなきに彼等を止め置き或は市街を彷徨ふ扶助料受給者たらしむるよりも幾倍の良法

◀倫敦の細民住宅▶

倫敦の細民窟は、東部倫敦と稱する方が廣大にして且つ著名である。其人口は約百萬と稱せられ、其家屋は紐育や市俄古の如く五階六階でなく、多くは二階建である。倫敦の細民窟は初から細民の爲に建設されたものであつて、隨つて其家屋は細民の住居に最も適應するように建築されてゐる故に、光線の透入を遮り又は空氣の流通を缺ぐが如き場所は極めて少い、併し、床は煉瓦を疊みたる儘の敷物をも有せざる場所が多い。

と云はざるべからず。

此の如く適當なる住宅計畫は刻下の必要を充たすのみならず、亦復員を速め失業難を減少せしむるを得ん。而して尙更に進歩的住宅政策必要の理由を要すとせば實に次の如きものあり。

そは簡明なる公平の手段として、國家の爲に戰ひ、働き其の最善を盡したる人々は周圍の心地よきところに適當なる住宅を與へらるべき權利ありと考ふる事これなり。ウオルター、ロング氏(Mr. Walter Long)は地方自治總務省長の職にありし峙戰後の住宅に關し一派遣委員に答へて曰く、

『我勇士の塹壕内にて嘗むる苦痛の驚嘆す可き記事を讀む時に、我々が尙靜かに坐して何事も爲さゞるならば、そは實に罪惡也、悲しむ可き罪惡也、恐ろしき浸水せる塹壕より豚小屋と何等選ぶなき所に彼等を迎ふるは實に我々の罪なるべし、而してこは吾人が嘗て吾人は如何になるとも彼等が吾人の爲に盡したる總てに對し彼等に報ゆる能はじと述べし總てを否定するものにあらずや。』

又、改造大臣アデイソン博士は言へり、『戰爭の辛慘を嘗めし人々、或は長き別離の哀愁に鎖ざされし人々は貧民窟に其の生涯を送るが如きことなく否寧ろ我々に比し優良なる生活を爲すべきは當然なり』と。



資料

●大阪市都市計畫參考資料（其一）

（I）都市計畫區域內人口及密度

▲面積　今回施行さるべき我大阪の都市計畫區域內に屬する總面積は、三十七方里七〇六八にして之を市郡別に觀れば、大阪市は三方里七九、郡部は三十三方里九一六八なり。而して郡部は西成、東成中河內、三島、豐能の各郡に亘れり。更に各郡別に於ける、其面積は、西成郡三方里〇九二七、東成郡十八方里九〇一一、中河內郡二方里五〇四、三島郡三方里七八三、及び豐能郡五方里六三六を算す。

▲人口　都市計畫區域內に於ける、總人口（大正七年現在）二百〇八萬五千百九十五人にして、就中、大阪市は百六十三萬三千三百三十八人、郡部は四十五萬千八百五十七人なり、而して、其郡別に觀れば、西成郡二十三萬〇三百二十二人、東成郡十九萬〇〇〇七人、中河內郡八千〇九十六人、三島郡九千九百八十五人、豐能郡一萬三千四百四十七人なり。

▲密度　更に其密度に觀ん歟、大阪市は一

方里四十三萬九百六十人にして、十坪〇八二六餘に一人の割、郡部は、一方里六萬二千七百七十七人の割合なり。其詳細は左表に參照さるべし。

(II)都市計畫區域內人口增加の趨勢

▲大阪市　明治三十一年に於て人口八十萬を稱したるもの、十年後の明治四十一年に於ては約五割の增加を示して、實に一百二十萬を算し更に、十年後の大正七年に於ては、三割五步の累加を爲し、之を右明治三十一年に於ける八十萬に比すれば、實に、十割の膨脹を示して一百六十三萬餘を算ずるに至れり。而して、這回都市計畫中に包容さるべき接續十八箇町村の人口は、明治四十年に於て、一百二十餘萬なりしもの、十一年後の大正七年に於ては、實に其約六割を增加して、一百九十餘萬となれり。更に、其一人當平均坪數を觀るに、大阪市は、明治四十年に於て約十五坪なりしものが、大正七年には低下して、約十坪餘となれり。

○郡　部　然るに、接續郡部は、等しく明治四十年に於て、平均二十四坪なりしものが、大正七年に於ては、約三割餘を減じて一人當八坪に低下せり。這は、一面に於て前記の如く郡部の人口增加が著しき數を示せる關係よりする、當然の結果なれども、以て、大阪都市の其外廓に膨脹し行くの趨勢を察するに足るべし。

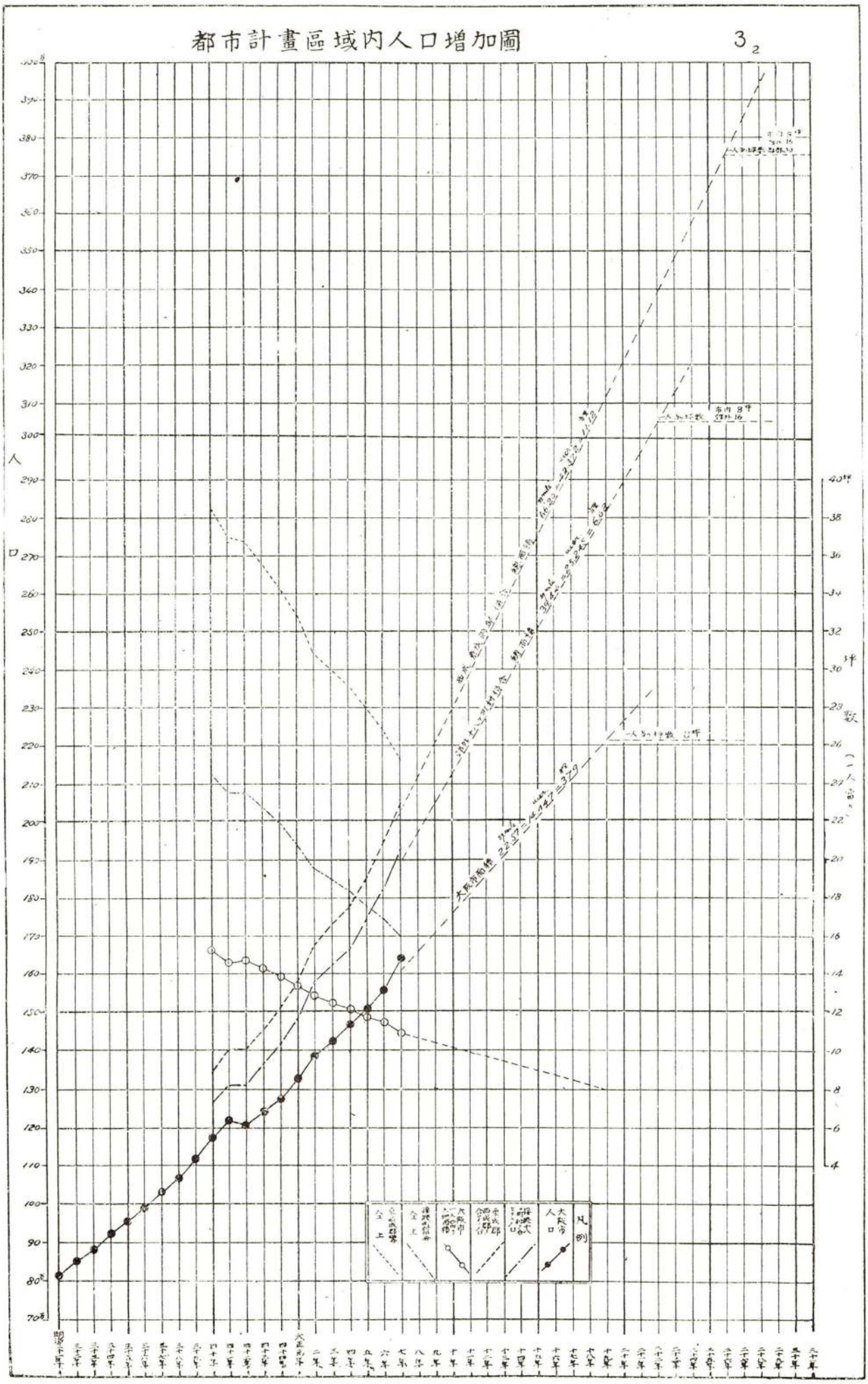
× × × × ×
× × × ×

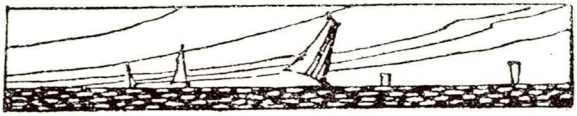
都市計畫區域內人口及密度

備考　西成郡ノ各村中ニ新淀川ノ面積ヲ含マズ

市區町村	面積		明治四十年		明治四十一年		明治四十二年		明治四十三年		明治四十四年		明治四十五年 大正元年		大正二年		大正三年		大正四年		大正五年		大正六年		大正七年	
	平坪	平方里	人口	密度 一平方里ニ付人	人口	密度	人口	密度	人口	密度	人口	密度	人口	密度	人口	密度	人口	密度	人口	密度	人口	密度	人口	密度	人口	密度
大阪市	12,682,624	3.79	1,171,193	309,020	1,216,167	321,047	1,303,476	317,540	1,238,298	326,728	1,272,484	335,749	1,321,709	348,726	1,387,366	366,060	1,423,057	375,477	1,458,361	384,924	1,517,162	397,668	1,557,986	411,078	1,633,338	430,960
西區	8,724,672	1.87	289,544	154,834	298,588	159,673	305,466	163,351	309,802	165,670	325,163	173,884	343,613	183,752	354,686	189,672	366,594	195,936	382,634	204,622	398,303	213,000	421,823	225,574	441,112	235,889
南區	2,985,984	.64	361,784	565,289	378,573	591,523	388,501	607,033	400,721	626,127	401,368	627,138	418,372	653,706	433,670	677,609	443,911	693,611	454,847	710,692	470,328	734,888	478,038	747,012	502,280	781,688
東區	2,286,144	.49	234,159	477,876	240,252	490,310	246,495	502,441	252,988	516,302	258,695	527,929	265,112	541,147	278,196	567,747	283,458	578,486	290,348	592,547	296,419	604,937	303,130	618,633	315,411	643,720
北區	3,685,824	.79	285,710	361,658	299,352	378,927	268,313	333,308	274,737	347,832	287,213	363,637	303,559	384,252	320,814	406,074	329,094	416,575	331,012	419,003	342,110	433,051	354,945	449,297	376,535	476,627
西成郡																										
伝法町	173,703	.03723	8,489	228,015	6,320	169,756	6,444	173,086	6,755	181,440	8,426	226,323	8,607	231,185	9,460	254,096	8,629	231,795	9,107	244,615	9,388	252,160	10,944	293,957	10,946	294,010
鷺洲村	877,000	.18797	10,964	58,328	11,765	62,590	15,257	81,167	16,035	85,306	17,786	94,621	20,508	109,102	21,879	116,396	21,984	115,891	24,052	127,957	24,977	132,878	30,633	162,968	33,728	179,423
野田村	284,000	.06087	7,219	118,597	7,652	125,771	8,205	138,081	9,305	152,867	10,095	165,845	12,539	207,640	18,265	300,394	19,335	318,466	19,909	327,076	20,855	342,615	22,305	366,437	22,853	375,441
福島町	525,000	.11253	9,263	82,316	12,157	108,032	12,784	113,605	15,956	141,784	19,354	171,990	20,954	186,208	26,232	233,111	28,475	253,044	30,106	267,538	35,123	312,129	39,202	348,725	43,894	407,858
上福島村	265,000	.05680	3,411	60,053	6,441	113,398	6,512	114,648	6,958	122,676	7,616	134,085	7,756	136,548	7,313	128,750	7,431	130,827	7,543	132,800	8,014	141,093	7,741	136,300	8,137	143,257
北野村	456,000	.09774	4,791	49,018	5,060	51,770	6,530	66,810	7,641	78,177	8,645	88,448	10,694	109,413	9,142	93,534	9,387	96,061	10,356	105,934	10,544	107,869	11,243	115,030	12,424	127,115
中島村	584,000	.12517	1,881	15,027	2,538	20,276	2,898	23,073	3,002	23,983	3,263	26,069	3,607	28,817	3,916	31,285	3,969	31,709	4,694	37,341	5,128	40,968	5,870	43,701	6,322	52,185
曾根村	803,000	.17211	4,031	23,421	5,309	30,867	7,572	43,995	9,192	53,438	11,229	65,243	12,799	74,365	18,342	106,571	18,592	108,024	18,817	109,331	22,584	131,218	24,529	142,514	27,017	157,789
豊里村	1,345,000	.28828	6,469	22,440	6,694	23,220	8,516	29,541	9,228	32,011	9,168	31,802	10,660	36,978	10,641	34,831	10,322	34,965	9,423	32,637	10,243	35,531	10,392	36,044	11,608	40,266
中里村	578,000	.12389	1,963	15,845	2,269	18,315	2,351	18,976	2,249	18,153	2,294	18,516	2,363	19,073	2,145	17,314	2,059	16,442	2,177	17,572	2,132	17,209	2,185	17,637	2,428	19,598
道正村	742,000	.15904	1,678	10,531	1,834	11,532	1,567	9,853	1,528	9,608	1,465	9,212	1,429	8,985	1,564	9,834	1,546	9,721	1,515	9,526	1,540	9,683	1,523	9,576	1,706	10,727
庄村	567,000	.12153	774	6,369	1,129	9,273	809	8,107	753	6,196	771	6,344	752	6,188	757	6,229	749	6,163	939	7,726	817	6,469	814	6,698	944	7,765
中島村	480,000	.10288	1,502	14,600	1,776	17,253	1,462	14,211	1,426	13,861	1,469	14,279	1,501	14,590	1,545	15,017	1,523	14,804	1,651	16,048	1,598	15,533	1,509	14,668	1,483	14,562
島屋村	1,072,000	.22997	2,726	11,864	2,722	11,847	2,762	12,021	2,818	12,265	2,946	12,822	3,139	13,662	3,294	14,336	3,203	13,940	3,442	14,980	3,603	15,680	3,899	16,969	5,081	22,113
福村	1,282,000	.27478	3,044	11,250	4,057	14,768	4,231	15,398	4,477	16,293	4,871	17,727	5,638	20,519	5,419	19,721	5,573	20,282	5,705	20,962	5,977	21,752	6,773	24,649	8,222	30,000
歌島村	2,335,000	.28614	2,820	9,855	4,084	14,273	3,530	12,337	3,530	12,339	4,011	14,018	4,134	14,447	4,694	16,405	4,722	18,502	4,709	16,457	4,840	16,915	5,290	18,487	5,651	19,750
福村	293,000	.06216	4,800	77,220	5,606	90,187	5,618	90,350	5,610	90,251	6,925	111,406	7,366	118,501	7,122	114,575	7,468	120,142	7,651	123,086	7,823	125,853	8,375	134,723	9,325	150,016
福村	310,000	.06644	2,370	35,671	2,298	34,588	2,369	35,636	2,402	36,153	2,418	36,394	2,476	37,267	2,417	36,379	2,507	37,733	2,507	37,733	2,482	37,337	2,485	37,402	2,505	37,703
弘北村	900,000	.19290	6,230	32,297	7,219	37,424	7,356	38,186	7,635	39,580	7,821	44,544	7,976	41,348	7,523	39,030	7,306	37,875	8,207	42,545	8,276	43,030	9,018	46,750	10,098	52,348
弘村	1,180,000	.25291	1,397	5,524	1,538	6,081	1,552	6,137	1,545	6,109	1,564	6,184	1,634	6,461	1,627	6,433	1,701	6,726	1,655	6,544	1,654	6,520	1,701	6,726	1,715	6,781
東成郡																										
天王寺村	1,399,992	.30006	4,832	16,103	5,194	17,310	6,306	21,016	7,801	25,998	9,837	32,983	11,582	38,599	14,047	46,814	16,537	55,112	17,157	57,179	18,479	61,584	20,515	68,370	22,984	76,600
生野村	594,432	.12741	1,567	12,299	1,808	14,190	1,968	15,446	2,186	17,000	2,324	18,240	2,054	16,121	3,156	24,770	3,313	26,042	3,902	30,626	5,180	40,479	5,773	45,310	5,195	40,774
勝山町	697,763	.14955	3,290	21,949	3,899	26,072	4,652	31,107	5,934	39,679	7,444	49,776	8,696	58,485	13,564	90,699	15,267	102,086	16,493	110,284	20,255	135,440	23,718	158,596	27,589	184,480
中神路村	817,761	.17527	7,635	43,561	9,319	53,169	8,734	49,832	9,790	55,857	12,076	68,899	15,727	89,787	19,912	113,608	21,287	121,483	20,971	119,650	22,912	130,724	23,377	133,398	26,817	153,006
小橋路村	702,000	.13946	2,593	17,267	2,757	18,324	2,825	18,776	2,970	19,739	3,081	20,477	3,136	20,843	3,293	21,886	3,515	24,425	3,469	23,036	3,957	25,300	4,230	28,114	4,795	31,869
成底村	592,000	.12689	1,885	14,855	1,933	15,234	1,945	15,328	1,872	14,753	2,104	16,581	2,347	18,496	2,046	16,124	2,022	15,935	2,121	16,716	2,305	18,165	2,500	19,702	2,854	22,492
今福村	777,762	.16670	3,885	23,329	3,161	18,962	3,689	22,130	3,793	22,753	4,208	25,243	4,649	27,888	4,523	27,113	4,785	28,704	7,712	46,263	8,107	48,632	9,711	58,254	10,714	64,271
鯰江村	1,041,000	.22310	4,792	21,477	4,949	22,179	5,027	22,530	5,081	22,772	5,287	23,696	5,423	24,305	5,435	24,359	5,534	24,803	5,702	25,556	5,755	25,793	5,852	26,228	6,184	27,734
城北村	677,783	.14527	6,151	42,410	6,728	46,314	7,674	52,826	8,577	58,529	9,369	64,494	11,191	77,036	10,281	70,792	12,316	84,864	12,589	86,693	13,984	96,252	14,481	99,745	14,792	101,824
猪飼野町	422,213	.09050	2,578	28,486	2,732	30,188	2,628	29,059	2,956	32,110	3,120	34,475	3,961	43,768	4,431	48,961	4,738	52,354	4,970	54,919	5,207	57,536	5,357	60,409	5,535	61,160
北村	1,434,415	.30744	3,794	12,341	3,518	11,443	3,635	11,823	4,079	13,270	3,964	12,894	3,959	12,877	3,634	11,820	3,588	11,996	3,862	12,562	4,156	13,518	4,932	16,042	5,908	19,217
今市村	835,000	.17897	2,044	11,421	2,094	11,700	1,920	10,728	2,214	12,371	2,187	12,220	2,406	13,444	2,328	14,125	2,603	14,544	2,560	14,304	2,797	15,181	2,857	12,850	3,230	14,497
今津村	533,000	.11531	1,579	14,581	1,689	14,647	1,660	14,396	1,959	15,253	1,858	16,113	1,812	15,714	1,817	15,758	1,850	16,044	2,058	17,848	2,108	18,281	2,207	19,140	2,204	19,114
野田村	670,000	.14360	9,816	68,357	9,926	69,123	9,948	69,276	9,950	69,339	9,966	69,401	10,742	74,805	11,557	80,481	11,662	81,212	11,823	82,333	11,841	82,458	12,238	85,223	13,792	95,905
豊崎村	357,000	.11938	1,715	14,374	1,671	14,000	1,806	15,128	1,845	15,455	1,846	15,463	1,917	16,058	1,764	14,776	1,759	14,734	1,869	15,656	1,871	15,663	1,830	15,750	1,824	15,279
百津村	683,000	.14639	2,249	15,369	2,070	14,140	2,341	16,000	2,359	16,108	2,273	15,527	2,582	17,638	2,302	15,725	2,600	17,761	2,378	16,927	2,442	16,681	2,425	16,565	2,725	18,614
西淀村	694,000	.14875	1,127	11,610	1,718	14,550	1,748	11,751	1,733	11,653	1,778	11,953	1,790	12,034	1,727	11,610	1,750	11,765	1,809	12,161	1,853	12,457	1,923	12,928	1,995	13,076
鷺洲町	894,000	.19162	3,054	15,938	3,032	15,823	3,059	15,966	3,015	15,734	3,130	16,334	3,251	16,966	3,587	18,719	3,643	19,012	3,631	18,949	3,725	19,440	3,879	20,243	4,618	24,100
長屋村	969,000	.20769	2,830	13,626	3,001	14,449	3,140	15,119	3,160	15,215	3,193	15,374	3,320	15,985	2,843	13,689	2,985	14,372	3,366	16,207	3,470	16,708	3,461	16,664	3,433	16,592
江吉村	378,000	.12389	2,335	19,009	2,493	20,123	2,517	20,316	2,571	20,752	2,628	21,212	2,710	21,874	2,263	18,266	2,345	18,928	2,515	21,107	3,595	29,018	2,619	21,140	2,636	21,270
立津村	1,132,560	.24275	5,258	21,660	7,056	29,067	7,386	30,426	8,458	34,822	8,291	34,154	7,302	30,080	6,596	22,777	6,611	27,234	6,759	27,843	7,049	28,956	8,070	33,244	8,503	35,028
野田町	873,620	.18725	2,964	15,829	3,089	16,497	3,215	17,170	3,333	17,800	3,718	19,863	3,820	20,401	3,584	19,140	3,689	19,701	5,021	26,814	5,252	28,048	5,399	28,833	5,010	26,756
村	119,790	.02568	2,968	115,577	3,152	122,741	3,203	124,727	3,196	124,455	3,108	121,028	3,155	123,248	3,659	142,484	3,805	148,170	3,893	151,597	3,970	154,595	4,369	17,013	4,411	17,177
西成郡	1,700,050	.36438	1,271	3,488	1,297	3,559	1,357	3,724	1,398	3,837	1,468	4,029	1,473	4,056	1,618	4,440	1,674	4,594	1,613	4,427	1,612	4,424	2,188	6,005	2,265	6,216
中河内郡																										
英田村	860,000	.18433	1,867	10,129	1,930	10,470	1,926	10,449	1,939	10,519	2,061	11,181	2,110	11,447	2,034	11,035	2,075	11,257	2,085	11,311	2,108	11,436	2,190	11,881	2,400	13,020
矢田村	785,000	.14253	3,292	23,097	3,392	23,800	3,378	23,688	3,441	24,142	3,493	24,507	3,461	24,283	3,597	25,237	3,828	26,858	3,804	26,689	3,859	27,057	3,846	26,977	3,720	26,100
瓜破村	879,030	.18840	1,821	9,666	1,830	9,713	1,850	9,820	1,854	9,841	1,920	10,191	1,908	10,127	2,118	11,242	2,161	11,476	2,315	12,288	2272	12,060	1,955	10,380	1,976	10,490
三島郡																										
吹田町	1,766,000	.37852	6,552	11,336	6,167	16,292	6,380	16,855	6,657	17,584	6,974	18,424	7,423	19,611	7,136	18,852	6,064	16,020	7,077	18,696	7,494	25,082	7,021	19,048	7,803	20,615
千里村	2,017,000	.43231	1,986	4,594	2,023	4,680	2,077	4,804	2,610	6,650	2,020	4,673	2,053	4,749	2,213	5,119	2,169	5,017	2,127	4,920	2,186	5,057	2,191	5,068	2,182	5,047
豊能郡																										
庄内村	1,103,000	.29928	2,449	8,769	2,587	9,270	2,550	9,135	2,749	9,843	2,806	10,047	2,872	10,284	2,874	10,291	3,048	10,914	2,996	10,728	3,075	11,082	3,129	11,204	3,250	11,638
南豊島村	1,420,000	.30436	2,787	9,157	3,044	10,001	3,042	9,995	2,957	9,748	2,918	9,850	2,993	9,834	3,124	10,264	3,271	10,747	3,226	10,597	3,295	10,820	3,397	11,168	3,390	11,137
小曾根村	962,000	.20619	2,025	9,821	2,040	9,894	2,050	9,991	2,053	10,005	2,151	10,393	2,171	10,529	2,171	10,529	2,284	11,077	2,224	10,786	2,277	11,043	2,320	11,252	2,342	11,359
豊津村	1,305,000	.27971	2,531	9,049	2,526	9,031	2,531	9,049	2,569	9,185	2,604	9,310	2,474	8,845	2,601	9,299	2,670	9,546	2,682	9,589	2,684	9,596	2,699	9,649	2,677	9,571
豊中島村	846,000	.18133	1,450	7,995	1,340	7,390	1,395	7,693	1,483	8,178	1,580	8,713	1,571	8,278	1,638	9,033	1,657	9,138	1,664	9,177	1,732	9,562	1,781	9,822	1,788	9,861

都市計畫區域內人口增加圖





女流の建築觀

或る男の話

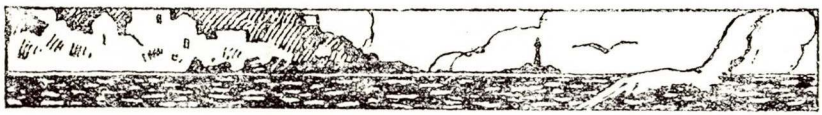
『文明に逆行して建てゝみたいカッフエー』

『私はこゝに一萬圓の金が欲しいと思つてるんですいつかは、誰れかゝ本當に私といふものを知つて、金を出してくれる時があつたら、一生のうち一度は私の計畫してるこのカッフエーをやつてみたいと思つてるんですがね。』

彼は椅子に掛けた両足をのつそりと投げ出して、暖爐（ストーブ）の石炭を長い火箸でがら〳〵と交ぜつかへしながらこんなことを云ひました。

何でも、彼は永い間船に乘り込んで方々外國の港も覗いて來たときく、現に南で或るカッフエーを開いてゐる、其處の主人なのです。

其人の云ふ處によると、澤山ある大阪の今の樣なカッフエーは自分から云はせればもう時代後れであつて、今後のもつと頭腦（あたま）の進んだ人達は、あゝしたがちやがちやの不愉快な刺激を好まない、そして日常のめまぐろしい焦燥に耐えない自分の生活から、例へ一時だけでもすつかりと開放された

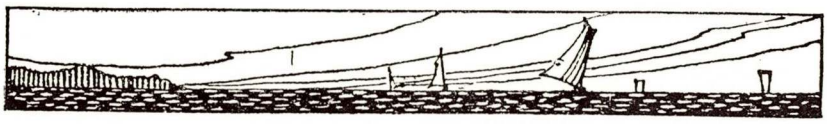


眞實に潤ろぐことの出來る靜寂な休憩所を欲するのだと云つてをりました。否さうした休憩所が現に自分自身の頭の中に要求されてゐることも、或は他からそれを見抜くことも知つてゐないのだと云つてをりました或は知つてゐても、『駄目でさあね、今の資本家は、みんな自動ピアノをピー〳〵鳴らして、白粉をつけた給仕を置いて、赤い旗立てゝ、いらつしやい〳〵の式でやらなければ承知しないのですからね、目先の慾でさあね』といつて淋しさうに笑ふのです。

今一萬圓あつたらやつてみたいといふそのカッフエーの經營振りを一寸書いてみませう。

『先づ地所は市内でも目抜きの場所に充分の廣過ぎる程の土地を以つて、それでゐながらすつかり外界の騒音と絶緣する位の幽邃な奥深い構造にするのです。屋内は今迄のカッフエーの遣り方を全然離れて獨立し無論裝飾や意匠は何處迄も清楚高尚にして、下卑た厭味な眞似は一切避けます。若し客が表から這入つて來るとする、眼の前に食料品や酒類は並べてない、掛りの者が居て黒いカーテンをスル〳〵と引く、然うすると其奥の棚にはほのかに遠い電燈の光りに打ち映えて赤や青の洋酒の瓶がチロ〳〵と光つてゐる、注文を聽く、若しその酒の處にいつ迄もごて〳〵云つて愚圖つてゐる人は、トンと卓子に臂をついた拍子に、仕掛けしてあるマッサッヂ用の電流にびーんと感じて吃驚する。時分は（一日中に何時から幾時迄と時間を制つて）屋内全部の煙を消してしまつて、蠟燭の時間にする、その期間の、薄暗い夢幻的な氣分を好む人はその營業時間を目がけて來れば宜しい。』

『もう一つ特に新設したいのは、或る特種の上等な客の爲めに、或る非常に趣の深い、他の何處にも無い



様な、落ちついた幽遠な、即ち、詩の國とも云ふべき精神の安息所を設けるといふのです。之がこのカッフェーの一番の眼目で、其處は、即ち、この文明人が初めて社界の交渉と絶縁して泌々と自分一人の身心を休める處だといふのです。じつと耳を澄ますと、靜かな樹の茂みの何處からともなく、夢のやうな音樂の音律が忍び寄る、各自の體に適して調節された様々の形した椅子に埋まつて、或る料金を拂へばいつ迄でも氣の向く間其處で休んで宜しいバンだの砂糖だの果物だのといふものは、一々ボーイを煩はして取らなくとも勝手に好きな丈け採れる様に備へつける、その代り、五圓なり十圓なり、纏めて高い料金を受け取る、厭な人は來なくとも宜しい、併しさうした氣分に興鳴ある人は、一ヶ月に一度なり二度なりでも、きつと重ねて又訪ねて來る、生活に疲れた頭をやすめに來る。……』といふのがその大体でありました。

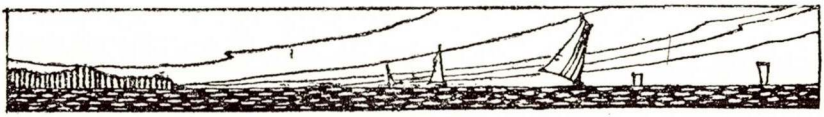
『次に給仕は無論男の子にする。或は女でも男でも品性の高い、學問のある人を高い給料で雇つて置いて、普斷はその人達は書なり音樂なり各自に好みの目的に就いて勉強してゐる、時々その人達の展覽會抔も開く然うして高級な希望者の爲めには、どんな話題でもひつさげて、話相手に成り得る――――』

その一語々々

『どうしても一萬圓は掛ります、それ以上かけては商賣になりません』

かう話し終つた時、彼は薄紅う両頬をほてらしてをりました。兎に角その考へ方は一等面白いと思ひました。文明に逆行した或る瞬間の思索生活を、確かに私共は或る形式を添へて欲しいと思つて居ります。

（美代子）



新式の斯ういふ旅館を建てたらと思ひます

═中流階級を目安にしたもの═

『婦女世界』記者　吉村美代子

先づ第一歩を大阪に踏み入れた人達が、あの梅田驛の前にズラリと並んだあゝいふ式の旅館の立て方に就いて、何とかお考へになつてみたことがおありにならないでせうか。或は市内でも、又は方々をお旅行中でも、現代の――、大抵の處が――旅館の經營の方法や取扱ひの何られ、それのみならず家屋の建て方といふやうなものに就いて、何とかお考へになつた方がおありにならないでせうか、と思つてみました。私は、現代人の生活に隨分不適當なあの舊式な、窮屈な、そして不便で重苦しい、今の多くの宿屋の弊風を、斷然と改めた、今後の時勢に適はしい旅館を、次のやうな考へを應用して建てゝみたなら、と思つたのでございます。

一、先づ大体に於いて、客室と食堂は全然區別して客室では一切飲食をさせないことに致します。今のやうに只一室に於いて食事を取るし、應接にも當てるし寢室にもせねばならないといふ遣り方は如何なもので



せう？極端に云へば、私はちよいとしたお茶の様なものでも、茶盆を運んだり、始終お湯を冷さない工夫をしたりする手數は、出來得る限り省きたいと存じてをります。

一、客室には無用の裝飾を省き、床の間や丸窓式なこと、茶がゝつたこと、一切抜きに致します、一体床の間拔といふものは、日本座敷に限られた一つの裝飾と禮式になつてゐるものですし、主人が客を招待してその室で應接するといふ様な場合の外、旅行中である客人にとつては不必要なものだと思ひます。それに、宿屋の床の間拔には大抵つまらないいかものの軸などが懸つてゐるものですから本當の美術愛好者――でなくともいやに不愉快なものでございます。

一、その代り、物入れや扉は完全なものにしなければなりません。

今の日本風の客室は、第一個人の各家庭と同樣その室の構造が全然開放的である事が一番の欠点だと存じます。是非西洋風の一室か二室に仕切つて、扉の鍵のやうな、或る必要な場合は、全然外界との交渉を嚴重に斷ち切るとの出來得る造り方にしなければなりません各室の鍵の製法は無論異はねばなりません。开うすると、客は呑氣に寢轉ぶことも出來得ますし、又安心して外出も出來得ます。

一、床の間の生花がしをれてゐたり、戸棚の中が塵埃だらけだつたり、机の抽出しに紙屑があつたり、よく有り勝ちな不注意の点は細心に氣を付けなければならないと思ひます。

一、其次に客室には安物でもいゝから、ガラスの大きな姿見を備へたうございます。鏡の無いといふ事は殊に私等婦人にとつてはどんなに不自由でございませう。男子の方も同樣だと存じます。

一、宿屋で一番氣掛りになるのは、夜具の敷布と、



蒲團の襟と、枕でございませう。敷布、襟かけ、枕包みの三品は必ず一客毎に(例へ一泊の人達でも)洗濯をします。之が實際この旅館に重要な條件なのでございます。無論信用を博する條件なのでございます。即ち右の三品を、例へば新聞紙の大袋へでも入れて封じ目に(本日洗濯)といふ封印でもべたりと押して、それを客が客間に入ると同時に持つてゆくといふ位にしたら如何でございませう。(之は客自身に開封させるためであります)

一、もう一つ宿屋で氣持のよくないのははき物なんです。それは多く旅行をする人の愚痴るのをよく耳に致します。即ち下駄でも靴でも、泥だらけになつてゐても大抵掃除がしてありません。この点は特に注意を要するものじやないでせうか?或は下駄掃除專務の子供か中供でも置いて、客が上に上る、同時にこれを掃除させる、靴の泥ならぬぐらし、きれいに乾して上等のクリームを塗つておく、下駄ならたわしで洗ひ布巾ですつかりふきとる……

一、客が最初宿泊の積りで這入つて來ましたら、先づ客間に通さぬ先に應接室で主人なり、番頭なり(なるべくは女主人でも)面會して、表にしてある宿料をきめます。私はこんな点は特に今迄の溫情主義を排して物質主義でゆきたいと思ひます。

一、大体の規定書——といつたやうなものを渡します。

一、大抵の事は主人自ら當りたいものと思ひます。でなければ、よく粗略、不行届になり勝ちのものですから。女中や使用人は補助と思はねばなりません。

一、一切茶代を謝絶します。女中への心づけはこの限りではないかもしれませんが、その代り、最初宿料で經營の立つ程度できちんときめて頂くのですから。

一、器物は貴重なものを使ふ必要はありません。併し清潔、簡易は忘れないや



うにしたうムいます。

一、若し旅館の方で、シヤツ、ユカタ、ズボン、タビ、ハンカチ、テヌグヒ、サルマタユグ、といふやうなものを、十二時間以内を限つて洗濯を引き受ける、といふ風にされたらお客は随分便利を感じるでせう。夏等は殊にさうです。(無論洗賃は別に要求します)にの設備は内にしてもいゝでせう　即ち瓦斯で乾かす方法でよく、簡易な乾乾燥法はとか研究したら出来るだらうと思ひます。或は別汁で或る洗濯屋と特約を結んでもいゝと思ひます。

一、風呂場の隣りに誰れでも勝手に出来る洗濯場を設けたらいゝと思ひます。例へば『どなたでも御自由にこゝで何でも御洗ひ下さい』といふ札をつけて——粉石鹸一袋一銭とかで賣つてやります。このことは規定書にも明らかに書いておくのです。要するに、『自分の事はなるべく自分でせよ』といふやうな文句で奨励したうございます。

一、内に販賣店を設けます。午前七時に開いて夜十時に閉める。

一、食堂は萬事現金支拂にします。或は切符制度で献立表の裡から、自分の食べたいと思ふものを欲する丈け求める、といふ經済的に、便利にしたいものだと思ひます。人々夫れ〳〵嗜好もあることですから、旅館邊りでの、贅澤な無駄な膳立てはよけいなことではないでせうか。するとこの食堂では若し外出先で食事をすれば、この旅館には宿料丈けを支拂へばいゝわけになります。

一、酒は一人に就き一度に日本酒でも一本、ビールでも一本より賣らぬ、日本酒とビールを同時に買ふことは出來ぬ、そして一人で一日にどちらも二本以上買ふことは出來ない、といふ風にしたら如何でせう?それは旅館の風儀と公安を保つ上に於いても嚴守しなければならないと思ひます。

一、午後十時には店を閉めて、それ以後は外泊と認めます、併し歸つて來る人は入れるのです。

一、十時以後の飲食は斷ります。



一、新聞は一切廻してみません。販賣店で賣ります。

一、總べて宿屋では大まかな處には氣がついて、小さな必要な点には不注意なのが多うございます。楊子歯みがきの類も宿屋の方で客間の机の抽き出しにちやんと備へて置くといゝと思ひます。一箇一錢か二錢で出來ることですし、又洗面所等に置いてあるのは、人の使つたあとのものもありますから、氣持ちが悪ふムいます。それ等は始終主人が心付けて見廻らねばなりません。

一、宿屋對客の關係は總べて大變にデリケートなものでして、どんなに御馳走がよかつたり、お世辭が上手でも、蒲團の襟に一寸黒い處でもありましたら、もうその宿の信用は駄目だと思はねばなりません。

一、ですから、この新式な旅館では決してお世辭をいふ必要はありません。

一、ありませんが、すべて誠實に氣持ちよく應答すること、用事は手早くすること、快活にすること。殊に婦人の單身旅行者の爲めには、安全な宿泊所である設備も致します。要するに總べてお客には『自分勝手に來て泊つて、自分勝手に自分の事をして勝手に出て行く』といふやうにさせるのです。これが最も近代的で、中流又はそれ以下の人達の最も望む處でせうと存じます。今のやうにこの多忙な時代でありながら一寸身體を運ぶとなると、大變な費用をその宿泊料に拂はねばならないといふことは實際事務的に動く人達にとつて、どんなにか不滿に思はれてゐることだらうと存じます。

極端に云ふと『この宿屋には召使が居りません、御用事は直ちに事務室にゐる主人に仰せつけ下さい』と、即ち『自分の事は自分でせよ』といふ風にしたいのでムいます。而して、斯ういふ經營法の旅館は、特に大阪抔に於いて必要ではないでせうか。少し大規摸にして、或は株式組織にしてもいゝでせうと存じます。

（をはり）



漫錄

四宜草堂漫筆

‖劇場と光と‖

會員　佐藤四郎

西鶴の名文章が小學兒童に解らないと同じやうに、『ベートフェン』の交響樂が田夫野人に解らないと同じやうに、文藝でも、繪畫でも、彫刻でも、建築でも、音樂でも其の藝術の香芬が高ければ高い程、之に對して何等の敎養をもうけて居ぬ者に、或は何等の智識をも有たぬ者に全然それを理解する能力のないと云ふのは勿論の事である殊に繪畫的なる外延と、夢幻的なる內包とを生命とする我が歌舞伎劇の如きに至りては、舞臺の上に於て可成り煩鎖な約束を强要するので、其の約束を許容することの出來ぬ人又は許容することを欲せぬ人即ち歌舞伎劇に對する何等の智識をも有たぬ人にとりては、全く風馬牛の藝術であらう、從つて藝術的なる歌舞伎劇場には夫等無理解なる張三李四を數多く收容する必要は更に無いのである、のみならず、繪畫的な舞臺面を快く鑑賞する爲には觀客席の三階四階と



云ふが如き視覺の水平面の高低に甚しき差違あるとは、頗る不自然であるから、能ふ限りは同じ水平面に觀客席を設備したい、さすれば現在に見るが如き二千三千と云ふ多數の觀客を收容し得る大規摸の劇場は、いづれにしても餘りに營業本位に囚はれたるものであると云ふても差支はあるまい。

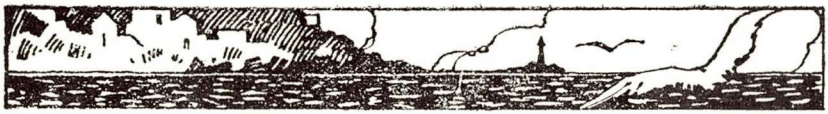
『モダーンオペラハウス』の著者『サッシュ』氏は『劇場建築家は莊麗なる美術に適當せる方法を以て先づ戲曲の家を造ることを目的とせねばならぬ』と云ふて居る、實にや劇場は一面に於て一般の公衆建築であると同時に、他の一面に於ては明かに戲曲の家である、構造上の設備を完全にすると共にそれに於て演ぜらるべき劇の內容や形式も最もよく調和したる者であらねばならぬ故に同一の劇場に於て度々表現の形式や內容の中心が甚しく相異れる演劇を交互せしむると云ふことは、劇の方面に於ても、劇場の方面に於ても夥しき勞力の浪費であり生產の損失である、欲する處は、歌舞伎劇に對して相當の理解を有する少數の觀客に藝術的香芬の高い歌舞伎劇を絶えず提供する小規摸の劇場である。

繰り返して云ふが、歌舞伎劇は繪畵的である、音樂的である、而して又更に現實を超越したる芝居と云ふ夢幻的な濃厚なる雰圍氣を以て幾重にも包擁せられて居るものである、それを盛る戲曲の家は果して如何に工夫せらるべきであらうか。

暫く之を光と色と音との各方面より或る角度を以て眺めて見やう。

希臘や羅馬の劇場には、觀客席にも舞臺にも屋根は無かつた、初期に於ける英吉利や佛蘭西の劇場も夫れと同樣であつた、我國の劇場は猿樂の能舞臺より轉化したるものにて、舞臺に屋根はあつたけれども觀客席には之を欠いたのである。

是等の時代にありては、屋外に於けると等しく日光は凡ゆる方向より舞臺に投射し



來るを以て、俳優の扮裝や、表情や、動作を明瞭に看取することは出來た、併し直射の光線は時々意外の部分に濃い陰影を與へるので、觀客も俳優も更に豫期せざりし不快の色を舞臺面に漲らすことが往々にしてあつた。

劇場建築が次第に發達して、十七世紀の頃には泰西の劇場の觀客席に屋根は出來た我國にて出來たのは元祿の初め頃であつたらう、斯くして從來は單に舞臺をとり圍んで見物したと云ふに過ぎない劇場の舞臺と觀客席とが充分密接して、一箇の建築物の中に芝居と云ふ氣分を作るやうになつた、從つて今まで屋外同樣に投射して居た光線が、窓とか、戸の隙とか云ふ一定の方向のみより洩れて來ることになつたので、舞臺の上の明るさが不充分になつたのみならず或る方向の觀客の視力を夥しく邪魔するやうになつたのは、蓋し免がれ得ない現象であつたらう。

そこで蠟燭とか石油とか云ふ人工の光線が要求せられた。

廣い意味に於て、劇は人生の再現ではあるけれども、決して現實の人生そのものではない、殊に歌舞伎劇にありては長き人生の連續に於て最も劇的要素に富める部分を凝結せしめたる再現であるから、舞臺の上の世界は所謂劇の世界であつて、必ずしも現實の世界其ものではない、我等は唯舞臺の上に浮き上りたる劇の美しさに醉へばよいのである、ほんのりとした夢幻的な雰圍氣にそゝられて劇の世界の人となればよいのである、此の時にちよつとでも現實の刺戟があれば、我等の幻覺は痛た〳〵しい迄に攪拌される、日光は現實の刺戟の中にて最も權威のある、最も强烈なる者である、さればスツポンよりせり上りたる仁木彈正の鼠の上下にチラリと鋭い日光が射したならば如何であらう、手をとりあふてはかない戀愛に身をもがく梅川と忠兵衛との袖に袂に三階の高窓から電光のやうな夕日が流れこんだならば如何であらう、舞臺の上に



共鳴して張り切るゝばかりに緊張した情緒の琴線は慘酷にも寸斷せられて、空しき悔恨と腹立たしさとが殘るばかりではないか

人工の光線が不充分なる時代には舞臺の上の明るさを保つ爲に多少の日光も必要ではあつたらうが、瓦斯もある、電氣もある科學の發達は日光なしに日光と同樣な、若しくはそれ以上の明るさを我等に提供したる今日である、俳優にも觀客にも、都合の好い强度の、都合の好い色調の、都合の好い方向の光線を任意に使用し得る今日であるから、劇の世界には人工光線以外の光線は全然不必要なのである、不必要なばかりでない、之れあるが爲に却つて美しい幻影が破壞せらるゝとすれば、寧ろ有害なものである、即ち劇の世界の明るさは凡て人工光線によりて變化せしむべきである。

觀客席の光線は一般に柔かにして、幕間と雖もぎら〳〵したる强き白日の光よりは朧月夜に花の木蔭を逍遙するやうな物なつかしい明るさを保たしむる事は大切である曾て東都の帝劇で娘道成寺の所作劇を演じたる時、華やかな鳴物と唄とにつれて差す手引く手の美くしく躍れる白拍子が身の上に正面の四階より强烈なる光線を浴びせかけたことがあつた、踊りを明かに見せやうと云ふ老婆心ではあつたらうが其の結果は却つて反對であつた、眞正面に眩しいやうな光を浴びるので俳優の踊り惡くいのは云ふまでもない、觀客の我等が此の一とすじの强い光の流れの爲に芝居と云ふ氣分を夥しく混濁せしめられたばかりでなく、位置によりては異樣の刺戟に攪亂せられて舞臺の上を正視する事の出來なかつた者すらもあつた、舊時代の演劇法に於て、花道に於ける六法の引込み等に『つらあかり』を用ひたるよりも一層拙劣なる考案にて、むしろ所作劇と云ふものを甚しく侮辱したる無智な試みと云はるべきであつたらう。

要するに、舞臺及觀客席の光は物柔かであらねばならぬ、華やかに輝はひを持たねばならぬ、强烈な乾燥した光は全く之を排斥すべきであらう。（つづく）





藻苑

俳句

秋双選

高々と目刺干す濱の照り曇り　月斗
目刺尚にがき腸持ちにけり　同
九州の南の海の目刺かな　同
埋火を開き目刺をあぶりけり　同
石よりも硬き目刺を愛すなれ　同
風と競うて野火走り飛夕間暮　同
噂を降り消す雨や虹の立つ　同
薄月に尚噂りや寺林　同
山焼くや煙谷々を峻しうす　同
城北の小村川風冴返る　同
霞やんで畠が乾く小噂り　宋斤
噂塞し硝子は風に光るなり　同
厨水にそこらを消せし野焼哉　同
籠の鳥に焚火の煙噂れる　同
春の山頂の石ぬれてけり　同
春暁の草の中風荒るゝ哉　同
春の灯に奪はれまじき心かな　伏兎
春の灯に即魔の影をのこし飛　同
春の灯に撫でわけし髪を斜め哉　同
日天を拝む眼落す芽麥かな　同
山拓く眞下遥かに麥青し　同
目刺やく炭火にたちし陽炎よ　風人
目刺やく煙に外を透し見る　同
目刺やく燻りに土間の日影哉　同
目刺乾く竿に雲雀を聞きに飛　同
夕霞網舟高く浮びけり　同
夕霞我と星とに灯りけり　同
噂に菜の花曇る夕かな　同
目刺積む船の者酒を足しに行く　月四
濱の闇夜目に目刺の光りけり　同
海光る濱をよこして目刺干す　同
目刺焼く煙の中に妻とゐる　同



船の中へ提げくるものに目刺哉　由水
燗瓶の酒の減り見ゐ目刺かな　同
目刺焼きつゝ鉋の刃先見ゑ鳧　之水
目刺鹹く番茶の味がよかり鳧　同
層買ひの〻〻來る日なり梅の花　鳩口
きかぬ藥の腹立しさよ冴え返る　同
摘草や何處へ履物ぬぎ捨し　同
雉子なくや草色づきし裏の山　啞蟬
雨の野を淋し〻行けば雉子ほろゝ　同
空を蔽ふ野焼きの煙夜雨來る　淡菜
砂船に掻上げられし蜆かな　同
雉子たちて一山空し日の麗ら　巨夢
野を焼けば川浸し行く煙かな　同
閉す窓に野焼あかるく夜の更くる　秋櫻
尼寺へ茶を乞ひに來る茶摘哉　北極星
春水に酒樽洗ふ男かな　初見草
草の芽の踏まれてあるや祠道　虹村
春の　水桶深々と洗ひ物　庭花
小波に果てしはなくて風光る　友子
日常の漬豆の水風光る　寸邑
桃咲けり干網の裾かけてある　金剛
冴返る野道行く灯の光りけり　英介

桃畑日傘が色を放れ來る　湘雲
目刺焼いて一時窓を開きけり　麥門
麥踏むや淡雪消ねし土の艶　晨生
早春の青き土踏む雀かな　魚將
批把の花を散らせし贈や春淺し　牙集
春野を行きつゝ遠く水の照り　德甫
春の山の頂きに澄む清水かな　穗風
貝塚を堀る山裾や木の芽吹く　華外
塀の上の雀明るし春の雪　竹棲
淡雪や日輝きて影もなし　皎月
川の洲のほのかに白し春の雪　竹世子
梅の枝折り返へされて強く搖る　湖月
春潮や富士紫に明けてくる　秋双
春潮の深きに沈む蛸壺よ　同
川底の砂が流るゝ日永かな　同
菊根分春の蚊柱たちにけり　同
高きより糞落す鳥や菊根分　同
土の香の寒き曇りや菊根分　同
庭芝の川まで廣し春の風　同
松活けて大床の間や春淺し　同
犬の子の重なり合へる暖かに　同
カナリヤの餌を喰ひこぼす暖かに　同



懸賞募集

改良住宅設計案審査報告

日本建築協會
第三部委員長
小笠原鈅

曩に、大阪住宅經營株式會社より依囑を受けて廣く募集したる改良住宅設計圖案は、締切の本年二月十日までに全部百〇四案集りました。之より先、雜誌及新聞に募集廣告をなしたる結果、其募集條件の印刷物を要求し來りたる當時の豫想にては、今少しく澤山に應募者あるかの如く考へられしも、二月十日正午までに約五十案、午後より夜に掛けて、二月十一日朝までに漸く前記の通り集りました。期限後翌々日、及二三日遲れて合計三案到着しましたが、之は規定違反なる爲皆不合格と致しました。

さて、右提出の百四案に就き、本會理事及第三部委員は、二月十五日に第一回の審査會を開き各圖案を陳列し、先以て、應募規定違反のもの及び左記の條件に對し、比較的劣等なるもの五拾五案を除きました。

審査條件

一　從來の住宅に比し其平面形狀並に構造が如何に改良せられあるや。

二　火災に際し其延燒を緩慢ならしむる方法は如何になしあるや。

三　建築費は募集當時の時價一萬五千圓に近きものなるや否や。

而して、二月廿九日に第二回の審査會を開き、前回審査に除かれざりし有資格のもの四拾九案

に就き、今回は前記條件の下に、各審査員は、各別に甲乙丙三種の評號を用ひて、稍精細なる選擇を致しました。其結果、

甲評　壹箇以上を有するもの　二十六案
乙評　以下のみの分　十四案
丙評　以下のみの分　九案

更に、丙以下の「デザイン」にして、前回と全様なるもの五案を除きました。

三月五日第三回審査會を開き、更に、重ねて、規定違反のもの以外の應募圖案全体に對して選擇を繰返し以て、本日までの審査が大体に正鵠を得て居る事を確め、前記第二回審査合格圖案を以て候補案にする事と決しました。

三月七日第四回審査會を開き、候補圖案を更に研究し、其甲種二十六案の中より當選者を選別する事に決し、各審査員一々前記條件の各項に對し滿點を十點として採點を致しました。

其結果、大体五名の當選候補者を得まして、更に又三月十三日第五回の審査會を開き、愈左記の通り當選者を確定したのであります。

第一等　當選者　油谷清次君
第二等　第一席同　中村庸次君
第二等　第二席同　藤原東君
第三等　第一席同　荊木由太郎君
第三等　第二席同　澁谷唯男君
選外佳作第一席同　川島良一郎君
仝　第二席同　山岸政治君

以上の結果を得たるも、是を通覽するに、各圖案共滿點の付せられたるもの一もなく、結局全應募圖案中より比較的好良なるものを順次に取り、是を其當選者としたる次第であります。

併し、茲に特筆すべきは、前記期限後に到着して當選の資格なきもの三案の内に、比較的優秀にして、實行案として頗る適切なるものを發見しましたが、期限後と云ふ規定違反の爲に、止を得ず、之を選外佳作としたのであります。

以上は、審査實況の概要を報告したるものでありますが、以下少しく此懸賞圖案に對する私一己の感想を述れば、應募圖案は、其六分通り何れも洋式を加味し、殊に其間取に於て、一二室

宛椅子卓子式になり居たるは、現代の住宅改良案として好適なる感を與へました。

外形も、大体西洋式を加味し、準防火の點から全部塗り家になしたるものが大部分でした。

一等當選は、形に於て稍改良したるも、各室共全然疊敷であります。併し、之は何時にても椅子卓子式に變更し得る樣になつて居ります。

建築費も、條件の費額に對しては餘程嵩むべきも、他の圖案に比すれば、幾等か廉く全体に最も實施し易き案なりと信じました。

二等以下の西洋窓等に、實際薄壁の日本屋に、両庇もなき斯樣な窓がうまく實施し得るやの疑念もあります。

要するに、應募案の大体が其形に於て、個人建築の住宅向にふさわしく、到底全体を通じて實施不可能のものが多い樣で有りました。住宅經營會社の經營すべき所謂貸家建築としては、當選案としても今少しく訂正の必要が有る樣に感じました。豫定の工費に就ては、一般に非常に是を輕く觀て居るものが何うも多くて、又、敷地に對する誤解から、配置は可成り優れて居つても條件に合はない爲捨てられたるのが可成り有ります。

以上

□□當選せる改良住宅設計案に就ての概評

はしがき

審査員　片岡安

我國の住宅改良案は、是まで隨分久しい問題であつて、實行の困難は、國字改良と殆んど等しい位のものである。國字の漢字數をなるべく少くして、之を千に限るとか二千に限るとか言ふ程度の改良と、又一歩飛び離れて羅馬字にすべしと言ふ極端論との調和が却々六ケ敷くて、三十年來未た右とも左とも方向さへつかぬ有樣である。我住宅の改良も、矢張りそれと等しいが

或はそれ以上に迷ひつゝあつて、未だ一歩も改良の方面へ進み得ないような現狀である。併しながら、我國民の生活狀態も、昔の暢ん氣な夢の延長を許さぬように經濟的壓迫を受けてみると、其生活狀態を改造することの急要は、漸次に迫つて來たのである。生活改造の第一が、其住居の改良であることは、衆人の一致して唱ふるところであるけれども、さて、其良案として認められしものゝ皆無なるは、如何に其困難なるかを物語るのである。本協會は、社會の爲めに、率先して其衝に膺るべく決心し、先づ、第一着に、大阪住宅經營株式會社と協定して、一の條件を附した改良案を懸賞にて募集し、今回

（其二）

懸賞應募圖案の通弊として、工費の点を無視し或は之を輕視し、唯一見圖案の優れん事にのみ留意せし傾向は、今回の應募圖案にも尙表はれ居れり。殊に、今回の如き懸賞課題に於ては、甚だ矛盾したるものと謂ふべし。

開が審査を了り、其結果を本誌にて發表することゝした。

當選案は、もとより、落選せし案も、凡て此社會的努力の爲めに盡されし斯道の勇士の考案であつて、吾人は、其努力に對して、深き敬意を拂はざるを得ない。扨て、其案は、何れも、可成り深き研究と考察を重ねしものなれども、條件の六ケ敷きと、吾々の日常生活を、如何なる程度まで住居の爲めに變更せしめ得るやの点に就きては、確實なる推定を許さぬゆへか、其成績は、未だ以て好良なるものとして、十分の同意を許さぬものあるを遺憾とする。

審査員　池田宮彦

間取に於ては、或物は全然洋風に、又或ものは半洋風に、又或物は全然和風に爲したれ共、通覽すれば、洋風又は洋風を加味したるもの多く現代中流社會一般の傾向として、住宅改良即ち生活改造の急務なるに覺醒しつゝある事を認め

得べし。

外觀は、「準防火」の目的を達せん爲め、外壁を主にモルタル塗としたるもの多きは、至當の事なれ共、防火壁を餘りに重視し、爲めに、外觀の殺風景となりしもの多きは、尙考案を要すべき點なり。

審査員　葛野壯一郎

（其二）

一等案

どちらかと云へば、此案は、何等新味に乏しい、寧ろ平凡なる案で、何の点といふ長所がないだけに、批難も少なく、其結果高點を贏ち得た譯で有らう。割合に狹いところへ、巧に各室を都會よく配置したところはウマイ。便所の始末もよく出來て居るし臺所も可成り廣くユックリ出來て居るのが先づ特長とす可きか？。外觀の屋根に殊更高低を附したところは、作者苦心の存するところならんも、私はとらない、輕快な感じに乏しい嫌は免れまい。

非常に狹くしたのは、最著しい欠點で、便所の如きも、甚だ窮窟を免れない。たゞ割合に簡單で、豫定の工費を以て、實行し得る程度に近いと云つた様な點が、當選の一理由か？、蓋し何事にも僥倖といふ事は有るものだと感ずる。

二等一席

製圖は器用に出來て居るが、間取は一向敬服出來ない。とりわけ、臺所を輕視して、

二等二席

間取に苦心の跡は認めるが、今一息といふ點が多い様だ。浴室を煉瓦造として張出した具合抔は、苦心の存するところかも知れないが、私はとらない。外觀は非常によく出來て居る、寧ろ全力を外觀に費した感が有る。けれ共、工費は豫定の倍かけても如何かと思はるゝ、餘りに工費を無視した嫌は免れまい。

三等一席

間取は最苦心されたものらしく、非常によく出來て居るが、餘りに技巧に過ぎ、出入が多くて、斯の種長屋建の本旨から遙かに離れすぎた憾が有りはしまいか。工費に就ても、自然、非常に增加することは免れまい。外觀も清楚でよい感じがする。斯の點に於ては優秀案と認められるゝが、防火に對る考が忘れられて居りはしまいか。

三等二席

間取が常識的で、實行案としては最徹底したものかとも思はれる。たゞ、遺憾な事は外觀に於て甚だ感服しない。窓の配列が如何にも多樣復雜で統一を欠き、壁面の手法もうるさく、嫌味タップリな考案である。

（其四）

一等

平面配置巧にして、中產階級の住宅として

選外一席

當選の、どの案に比較しても、遜色のない案だ。全体の配置に特長有り、間取もよい外觀も簡單で、斯種の計畫としては、頗る徹底したものと觀てよいと思ふが、期日に遲れた爲めに選外となつたのは、お氣の毒だと思ふ。

選外二席

これも宜い考案である。間取は、前案に比して大分復雜してゐるが、併し、わるくは無い。外觀もよい。斯の案も當然入選す可きものであつたかも知れないが、遲れたために前全樣の運命に陷つた事は、是亦お氣の毒な感を深くする。

審査員　吉井長七

は適當のものなれ共、稍々坪數多きに失し殊に、屋根の高さを一軒のものの内入高さ

を二様に取りたる如きは無意味で、工費を増大せしむるの欠點あり。
外觀は相當に品位あれ共、雨覆を防火壁にて切斷したるは惜むべき點にして、今少し考慮の点ありしならん。

二等一席

平面の配置稍巧にして、玄關、居間、階段廻の配置は、殊に、今日の時代の要求に應じたるものなれ共、却て臺所を無視したる感あり。
外觀としては、突出せる防火壁を一軒毎に取りたるは、實に見苦しきものなり。住宅としての感よりは病院の如き感を與ふ、斯の點に於て考慮すべき餘地あり。

二等二席

平面配置平凡にして、殊に浴室、便所の位置に窮せるの感あり。爲めに、必要なる庭園を狹少ならしめたるもの也。浴室の如きは斯くの如き長屋に一軒毎に設くるの必要なし
外觀は住宅として相當品位ありて愉快な感あり。

三等一席

平面配置設計者大に苦心の蹟あれども凹凸多くて復雜なる爲め、工費非常に增加し、實行困難なり。光線、通風の點に於て、巧に考慮せり。
外觀、住宅として稍堅苦しい、今少し考慮の必要あらん。

三等二席

平面配置巧なれ共、對照的のもの丶爲め、便所の如きは二軒相接し住む人をして不愉快の感あらしむ。殊に、階下に押入少き爲め更に不便の點を認む。規程の工費には超過すれ共、稍々實施し得るものに近からん。

選外佳作一席

平面配置巧に、外觀簡單にして、實施し易きものならん。

選外佳作二席

選外佳作の一と大差なきものなり、外觀に雅味を保たしめたし。

（其五）

審査員　安立糺

今回の懸賞圖案に對する應募數は、案外に多數集まり、應募者諸君の可成りの努力の跡を見る事が出來たのは、寔に愉快に感せらるゝことです併し、圖案總体より見て、着想の餘りに奇拔なのや、募集規定其他敷地等に關して餘りに無頓着なりし爲實行に遠ざかつた圖案抔の、可成り多かつた事には、一驚を喫しました。申すまでもなく、住宅の事は、また〳〵研究する餘地が十分にあるのですから、其當選者たると否とに論なく、邦家の爲め今一層努力研究せられん事を望むて止まないのであります。

▲お斷り

實際審査に膺られたる委員は以上數氏の外にもありしが、其の批評としては以上のみを代表的に掲ぐる事とせり。



時報

○社會的施設調査

內務省地方局は曩に各般の社會的施設に就て左記事項の調査を各地方長官に通達せるが既に本年三月末日を以て夫れ〳〵其報告を徵せりと。

（一）小住宅建築

（イ）著しく住宅の不足せる市區町村

（ロ）右住宅の足を來せる事由

（ハ）右市區町村に於ける住宅不足の狀況並に其の數の概算

住宅不足概數に就ては推算の根據を示すこと

尙市區町村に於ける現在人口及び現在住家推算總坪（延坪）數を附記すること

現在せざるも實施確定せる新築住家あらば之に依り不足を補ひ得る程度を附すること

（ニ）右住宅不足の救濟策

（甲）計畫の概要（乙）事業主體（丙）施行せんとする時期（年度等）及費用額並に其の支辨方法（丁）計畫中一部のものに對する救濟を目的とするにあらば其の一部を撰ぶ事由

（二）日用品小賣市場の建設

（イ）施設を必要とする市區町村

（ロ）施設を必要とする事由

現在施設箇所數、規模の大要等を揭げ其の不足の狀況を示すこと

現在せざる實施確定せる施設あらば之に依り必要を滿し得る程度を附記すること

（ハ）計畫の概要

（甲）計畫（乙）事業主體（丙）施行せんとする時期（年度等）費用額及び其の支辨方法

（三）其の他施設各項

前揭事項に關する事

（イ）本調査は總て市町村別に記述すること

（ロ）事業計畫の遂行一部又は全部を低利資金に俟たんとするものに就ては計畫施行時期、費用額及び其の支辨方法を特に區分明記すること

（ハ）現存施設を改良するものに就ては新施設に準じ本文の調査を爲し其の區分を明かにすること

（三）市區町村以上の區域又は市區町村内一部の區域を目標とするを適當とするものに就ても其の區域を明示し調査記載すること

○住宅資金融通決定

内務省は曩に公共團體等より住宅建築資金として低利貸金の融通を申請せるものに對し左記の通り割當を決定せりと

△東京府　二百二十一萬五千圓、澁谷町、淀橋町、戸塚町、小松川町、東京建築信用購賣組合、東京府住宅協會、帝都建築信用購賣組合、女子大學櫻楓會（以上住宅建築）

△大阪府　五百七十四萬圓、（安治川土地株式會社、大阪住宅經營株式會社）

△大阪府　平野鄉町、鯰江町、古市村（以上住宅建築）大阪府城北村荒生共同販賣組合、古市村榎並町（以上小賣市場）

△兵庫縣　百五十八萬七千五百圓神戸市（住宅及小賣市場）

△神奈川縣　四十五萬七千五百圓横濱市（住宅建築）

○保健衛生委員會

内務省は保健衛生會第七分科會即ち都市及農村衛生に關する事項の委員會に於て左記の調査事項を決定せり。

一、人體寄生の害蟲に關する事例調査の件

二、寄生蟲蔓延豫防上糞尿の處置に願する施設の件

三、寄生蟲驅除方法の機關に關する件

四、驅除藥草栽培の奬勵に關する件

五、寄生蟲驅除後の効果に關する調査の件

○地下鐵道敷設許可

鐵道院にては三月十七日東京鐵道株式會社發起人飯田義一外十名東京高速鐵道株式會社發起人利光鶴松外五十九名及び武藏電氣鐵道株式會社に對し夫々地下鐵道免許狀を下附したるが企業目的左の如し

東京鐵道株式會社　延長廿哩六十鎖、軌道幅員四呎八吋半の電氣鐵道にして建設資金九千二百萬圓線路には目黒より築地を經て押上に至る▲地袋より高田馬場驛飯田大手橋を經て洲崎に至る▲巢鴨より萬世橋に至る

高速鐵道株式會社　内藤新宿より日比谷萬世橋を經て大塚に至る軌道幅員四呎八吋半延長八哩六十鎖の電氣鐵道にして建設資金三千七百萬圓

武藏電氣鐵道株式會社　府下荏原郡目黒より市内麹町區有樂町に至る軌道幅員四呎八吋半延長五哩の電氣鐵道にして建設資金二千萬圓

○市の道路改良經費

大阪市の道路改良計畫は昨年十二月内務省に開れし大阪市區改正委員會に於て路線の決定を見たるが大阪市區改正部に於ては其の後事業着手に關する具體案研究中の所成案を得て池上市長より内務大臣に答申せるが其の内容は左表の如く大大阪の道路改良工費は九千二百萬圓にして今後十年間に完成せしめんのことなり。

大阪市區改正事業年度割（道路改良事業年度）九年度より十八年度まで

幹線道路費

▲九年度六百萬圓▲十年度七百萬圓▲

十一年度九百萬圓▲十二年度同▲十三年度同▲十四年度同▲十五年度同▲十六年度八百萬圓▲十七年度七百萬圓▲十八年度四百四十四萬圓

計七千七百四十四萬圓

舊道補裝費

▲九年度五十萬圓▲十年度百萬圓▲十二年度百萬圓▲十三年度百二十萬圓▲十四年度百二十萬圓▲十五年度同▲十六年度同▲十七年度同▲十八年度百萬圓

計一千萬圓

事務費

▲九年度十六萬圓▲十年度十八萬圓▲十一年度廿四萬圓▲十二年度廿四萬圓▲十三年度廿四萬圓▲十四年度廿四萬圓▲十五年度二十四萬圓▲十六年度二十二萬圓▲十七年度十八萬圓▲十八年度十二萬圓

計二百六萬圓

豫備費

九年度より十八年度まで各二十五萬圓

計二百五十萬圓

年度調

▲九年度六百九十一萬圓▲十年度千四十九萬圓▲十二年度同▲十三年度千六十九萬圓▲十四年度同▲十五年度同▲十六年度九百六十七萬圓▲十七年度九百六十三萬圓▲十八年度五百八十一萬圓

計九千二百萬圓

右の中九年度に着手するものは

(イ)一等大路一類一號線(元御堂線)

(ロ)同上二類一號線(川口線)

(ハ)二等大路一類一號線(南北線)

なり表中幹線道路費の內譯は

▲幹線道路費　幅員八間以上二十三間

線延長四萬六千四百七十一間

一、用地費　五千九百九十三萬二千九百五十圓

一、道路築造費　二百三十二萬四千二百三十七圓

一、路面補裝費　五百二十四萬三千七百九十二圓

一、橋梁費　九百四十二萬二千三百五十圓

一、附帶工事費　五十一萬九千九百四十圓

計七千七百四十三萬九千二百六十九圓

なるが道路改良計畫中歩道費は新舊路線とも全部所有者及び家屋所有者の負擔と內定しあり。

○大阪市の住宅政策

政府より大阪市に融通さるべき低利資金五百萬圓の內二百萬圓を市にては住宅經營に投じ殘餘の二百萬圓を住宅經營會社安治川土地會社に轉貸し、百萬圓を以て市電從業員公舍、公設市場を建設すべきは既報の如くなるが住宅市營に就ては、當初より市理事者間にも異論ありしにも拘らず市としては各會社其他多數從業員を有する團體に對し住宅經營を勸奬する意味を以て試驗的に經營せんとの趣旨より兎も角第一回の低資に依る住宅は市營とする事に決したるなり然るに住宅問題の解決は國家の事業たると共に住宅の直接經營は市營事業としては極めて不適當の性質なること其後に至り頓見せしより這次の低資にては市直接住宅の經營をなさず市內の適當なる土地、會社に資金を轉貸し以て民間事業として經營せんとの方針を執るに至り市理事者にては適當なる會社を物色中なりしが、民間にて同資金を借入れ住宅經營をなすものなき場合には止むなく市營をするに至ると共に市營地も市有との關係上結局築港に設くるの外なき模樣なり。市が同資金を會社に貸轉する場合は有利なる條件を附し一定の期間に配當の制限を加ふるに過ぎずして利子は四歩八厘なりと。



會報

會報

▲過般來募集審査中でありました改良住宅設計案は、別項所載の通り當選者も決定致、既に賞金授與式も濟みましたから其設計案を本號全部掲する筈でムいましたけれども、頁の都合や他の記事との關係上、唯一等及二等第一席當選の分だけを載せました、其他は四、五の兩月號に亘りて掲載致す筈でムいます。

▲本誌の頁も今少々緊縮致しまして、一層内容の充實を圖り度いのでムいますが何分有益な原稿が多うムいますので、寧ろ頁の擴張でもせなくてはと位に思ってゐるやうな次第でムいます、けれども、成るだけ緊密なものに爲度い考でムます

▲彼緣に原稿は續々集りますが、亦それだけ編輯者の苦心も實際想像以外なのでムいます、殊に、毎號編輯のプランを立つて、其豫定通り進むで往きましても、扨愈々となつたとき、約束の原稿が頂戴出來ないとなりますと、實際編輯者としては苦汁を呑まされるような狀態でムいます、併し、此際會員各位の御意見なり何なりと多く載せたいものだと、眞劍に望むで居る次第でムいます。

圖書

（交換）

建築雜誌　第三四輯第三九七號（建築學會）
建築世界　第十四卷第三號（建築世界社）
住宅　第五卷第三號（住宅）
工業之大日本　第十六卷第三號（工業之大日本社）
鐵と鋼　第六輯第三號（日本鋼鐵協會）
建築新報　第二卷第三號（建築新報社）
通俗衛生　第二二九號（大阪衛生會）
電氣協會雜誌　第三七九號（電氣協會）
木材新聞（其社）
建築業協會々報（其會）
建築評論　第二卷第三號（建築評論社）

會合

○二月例會

日時　二月二十七日午後六時—九時
會場　大阪商品陳列所
出席者　片岡、小笠原、瀨戸(文)、葛野、矢嶋、吉井、大林、内藤(太)、宗、八尾、坪井、山本、藤野、片山、森(篤)、浦、竹腰、島田、池村、能村、江村

記事

▲宗主記より、新入會員にして當日の出席者坪井及山本兩氏を紹介す。

▲去る二月十二日の理事會にて決議せる細則改正に就て通信決議の結果を報告す、即ち別項通り細則の一部改正となれり。

▲更に、曩に募集の改良住宅設計案に對する第一回審査會の經過を報告し、次いで、葛野理事より五日會員及日本建築協會員聯合協議會に就ての顚末を報告せり。

▲參考として大正八年度決算報告書及大正九年度豫算案を配付せり。

○改良住宅設計案第二回審査會

日時　二月廿九日午前十時—午後三時
會場　中央電氣倶樂部
出席者　小笠原、片岡、柳下、吉井、葛野、八尾、設樂、舟橋、安立、花岡の各委員及江村編輯員

記事

第一回審査會に於て合格せる設計案全部四拾九箇案に對し、各委員は甲、乙、丙、丁、の等差を票記し、其結果、附せられたる等差中最高の等級に組み入るゝ事として各級毎に綜合せり。

○改良住宅設計案第三回審査會

日時　三月五日午後六時—九時
會場　中央電氣倶樂部
出席者　小笠原、宗、片岡、葛野、八尾、池田(宮)。矢嶋各委員江村編輯員

記事

前回に於て甲選に入れるものより更に選別を爲し、豫め決定せる三條件の標準の下に、各條件毎採点を爲し、更に決選の結果豫定數の通り五案を選定せり。

（審査の詳細は別項報告書參照）

○理事會

日時　三月五日午後五時—六時
會場　中央電氣倶樂部
出席者　片岡、宗、舟橋
決議　會務に關する人事及例會に提案すべき事項を決議せり。

○第七部委員會

日時　三月九日午後六時—八時半
會場　大阪商品陳列所
出席者　瀨戸、小笠原、舟橋、大原、松本、森(正)、熊澤、江村

記事

東京に於て成立せる建築材料統一聯合調査會へ日本建築協會より代表委員派遣に就て委員長より報告旁々協議あり。

○改良住宅設計案審査報告會

日時　三月十三日午後六時—九時
會場　大阪倶樂部
出席者　片岡、舟橋、葛野、吉井、小笠原、安立、矢嶋、池田(宮)、江村

記事

第三回審査會に於て決選せる五案に就き更に各員の意見を求めて、別項の通り當選者を確定せり。尙期日後に到達せるもの三案に就て展覽の結果、其二案は極めて優良なる上、其發送地が

旅順にして、多少考慮すべき餘地あるものと認め、結局選外佳作として賞金を贈ることに決せり

○例　會

日　時　三月十七日午後六時―九時半
會　場　大阪商品陳列所
出席者　野村、内藤(太)、平島、呼子、中川吉木、坪井、片岡、安井、光安、森(正)本田、清水、大原、吉井、池田、(宮)、竹平、須川、阪井、權藤、瀬戸(文)伊藤(正)、小笠原、佐藤(彰)、大林、生野、永野、宗、長田、宮本、村野、新海、前田、津村、舟橋、江村

決議及報告

▲宗主記より、當協會募集の改良住宅設計案の審査に就て報告し、更に小笠原全委員長より其詳細なる報告を爲せり。尚、宗主記より改良住宅設計案の展覽會及賞金授與式を三月二十四日午後二時より大阪市中央公會堂に於て擧行すべき旨の報告あり。

▲片岡理事長より、建築材料統一に關する建築界各會の聯合會成立に就て報告あり。尚其代表委員を選定する事を諮り、片岡理事及瀬戸第七部委員長を推選せり。

▲次いで會費の增額を諮り、異議なく別項の如く原案通り可決せり。

▲大正八年度の決算報告を爲し、異議なく承認。

▲更に大正九年度豫算を附議し、異議なく原案通り可決す。

▲瀬戸第七部委員長より從來同會の決議せる事項に就て報告あり、委員長報告通り承認。

規程改正

▲日本建築協會細則第二十一條中『會則變更ハ會員數ノ二分ノ一以上』とあるを左の通り改正し即日實施する事となれり

『會則變更(會員數ノ五分ノ一以上)』

▲日本建築協會會則第二十條中會費を左の通り變更し、大正九年三月より實施することとなれり。

會員一箇年拾圓
普通賛助員一箇年六圓
特別賛助員一箇年九圓

改良住宅設計案當選者

別項所載の如く、曩に大阪住宅經營株式會社の依囑に依りて懸賞募集せる改良住宅設計案は左の通り當選せり（詳細は別項報告書參照）

大阪市北區西梅ヶ枝町八九六ノ一
一　等(賞金參百圓)　油谷　清次君
東京市日本橋區濱町二ノ十四
二等一席(賞金貳百圓)　中村　庸二君
大阪市東區高麗橋横川工務所
二等二席(賞金貳百圓)　藤　原　東君
横濱市神奈川仲ノ町二七三
三等一席(賞金壹百圓)　荊木由太郎君
前橋市神明町馬場内
三等二席(賞金壹百圓)　澁谷　唯男君
旅順新市街關東軍經理部營繕課
選外佳作一席(賞金壹百圓)川島良一郎君
新旅順月見町六八號の四
選外佳作二席賞金五拾圓)山岸　政治君

會員消息

(會　員)移轉先
河　合　清君　東京市下谷區南稻荷町六七
長田岩次郎君　兵庫縣六庫郡六甲村篠原字下岡五五五
中川　彌八君　朝鮮釜山附凡一洞七百番地
山崎　英二君　朝鮮紡織株式會社
東京市本郷區森川町一番地北裏六七
青田　忠時君　大阪府中河内郡楠根村大字西堤十四番地
(普通賛助員)
平古秋之亟君　岐阜市役所
石津　三吉君　東京市神田區猿樂町三丁目三棚瀬米吉方
八木　盛次君　大阪市西區市岡町六八六ノ二佐伯與三吉方
佐伯與三吉君　同所

ブダペスト建築條令

（下）



ブタペスト建築條令（下）

地形

第百九十八條　建物壁ハ耐重ヲ有スル地上ニ地形チナスベシ土臺煉瓦又ハ硬石ヲ以テ築設スベキモノニシテ建物ガ土地室ヲ有スル場合ニアリテハ地形ハ其床ヨリ〇、五〇深ク其他ハ場合ニヨリテ耐重力ヲ有スル地盤ガ高キ場合ニアリテモ完全水平面一米突ナルヲ要ス

地形ハ土地ノ狀況ニ從ヒ或ハベトン或ハ柱建テ又ハ筏地形等ノ上ニ築設スベキモノトス

組合セ天井

第百九十九條　天井ノ構造ノ撰定ニ付キテハ第二百條乃至第二百六條ノ制限ヲ附シテ建築主ノ意ニ任ズ

第二百條　第一及第二建築區ニアリテハ左ノ如クナスベシ

1、最上階上又ハ屋下ノ住宅ニアリテハトラム床及土又ハ片板ノ間ニ少クトモ三〇珊知ノ隙間ヲ有シ而メ板張ノ場合ニハ桁ニ$\frac{1}{2}$ツオル（二珊知半）厚味ノ板ノ貼布スベキ場合ニ限リ桁床ヲ使用スルヲ得

2、穴庫ノ室ハ「ヂツベル」式ストソルツ式及ビ軌條月圓天井ヲ除キ專ラ耐火式圓天井トナスベシ

ヂツベル式床

第二百〇一條　ヂツベル式床ノ桁ハ毎二米突ヲ隔テ木栓ニテ製シ一對ツヽ桁ニ貫通スベキモノトス梁ガ其兩端以外ニ支點ヲ有セザル場合ニアリテハ長サ五米突マデ十八珊知二十二珊知七米突マデ二十六珊知八米突マデ三十珊知ノ適度ノ厚サヲ有セザルベカラズ

ヂツベル式床ハ建物ノ屋根ガ完全ニ出來セザル前ニアリテハ之ガ取付ケヲナス事ヲ得ズ

トラム床

第二百〇二條　トラム床ハ通常（中央ヨリ中央マデヲ側ル）相互ニ一米突ノ距離アルヲ要ス此桁ハ其兩端ニ於テノミ支點ヲ有スル場合ニアリテハ長サ四米突マデ$\frac{5}{10}$珊知五米突マデ$\frac{5}{10}$珊知六米突マデ$\frac{5}{12}$珊知七米突マデ$\frac{1}{2}$珊知八米突マデ$\frac{1}{2}$珊知ノ厚サヲ要ス

前記ノ桁ヨリ長キモノニアリテハ或ハ上部ニテ之ヲ釣リ或ハ下部ニテ之ヲ支持スヘシ

トラブエルチントラム床

第二百〇三條　軌條間ノ木製天井ニアリテハ天井梁ノ大サニ應ジ其長サヲ定ムベシ

トラフエルゼン丸天井

第二百〇四條　軌條式圓天井ニアリテハ軌條ハ通常相互ニ一乃至一米五〇ノ距離ヲ有シ半枚瓦ノ厚サトナスベシ但倉庫及ビ特別重量ノ物体ヲ収容スベキ建物ニアリテハ一枚瓦ノ厚サトナスベシ

鐵道天井

第二百〇五條　鐵道天井ノ採用ニ付キテハ毎件提出シタル明細圖及耐重力計算表ニ基キ之ヲ許可ス

圓天井ノ構造

第二百〇六條　煉瓦圓天井ノ造築ニアリテハ左ノ注意ヲ要ス

煉瓦ノ樽形天井ハ普通ノ張間及正矢ノ耐重ノ場合ニ於テハ其末端ノ厚サヲ半枚瓦トナス事ヲ得但此場合ニアリテハ迫持受又ハ迫持壁ヲ以テ相當ノ支持ヲ要ス

通常以外ノ張間及ビ耐重ノ場合ニアリテハ特別計算表ヲ提出スベシ土中室欠圓迫持天井ハ煉瓦ニ限リテ半枚瓦ノ厚サトナス事ヲ得而メ張間ハ多クトモ三米突又之ニ缺圓ノ高サハ$\frac{1}{3}$トナス

天井間ノ條ハ一枚瓦ノ厚サトシ其高サハ少クトモ$\frac{1}{15}$トス而メ其厚サハ末端ニ於テ張間度三米突マデ一枚半瓦トス故ニ之等ノ條上ニハ必要ノ場合ニ於テ隔壁ヲ設クル事ヲ得ベシ

防護式瓦天井ノ採用ニアリテハ「ペオエーメン」式又ハ缺圓形内天井ヲ造築スル場合ニ限リ壁孔ヲ穿ツ事ヲ得樽形天井ニアリテハ迫持受ト共ニ足柱ヲ設クベシ

木造煉瓦嵌込壁又ハ粘土製瓦壁又ハ混合壁ハ丸天井ノ支持ニ供スベキ目的ノ支壁トシテ使用スル事ヲ得ズ

屋根葺以前ニアリテハ瓦天井ノ築造ヲ開始スル事ヲ得ズ

第二百〇七條　本令ニ掲ゲザル天井構造ノ採用ハ妨ゲナシ但該構造ノ良好ニシテ防火條件ニ適應セルモノナルヲ要ス

天井上ノ撒布

第二百〇八條　他物ノ含有セザル完全乾燥ノ砂又ハ之ト同樣ノ金滓ニ限リ天井ニ撒布スル事ヲ得

撒布ノ厚サハ十珊トナス但丸天井ニアリテハ最高點ヨリ計算スルモノトス

引金物

第二百〇九條　建物ヲ鞏固ナラシメンガ爲メ專門的注意ヲ以テ各階楷梯ニ於テ天井ノ附近ニ於テ強ク鍛錬セル引金物ヲ用フベシ

軒蛇腹

第二百十條　軒蛇腹ヲ石造トセル場合ニ於テハ堅固ニ取付ケ少クトモ其幅ノ半分ハ壁上ニアル樣ニ据置クベシ

之ニ關スル明細圖ハ耐重計算表ト共ニ提出スベシ

軒腹蛇ガ木製ナル場合ニアリテハ其突出次ノ如ク規定ス

1、幅十米突ヲ超エザル街路ニテハ一米突

2、幅十乃至十五米突ノ街路ニテハ一米突、五〇

3、幅十五米突以上ノ街路ニテハ二米突

角家ニアリテハ狹隘ナル道路ヲ以テ標準トス

裝　飾

第二百十一條　建物ノ外部前面ニ施スベキ彫刻裝飾並ニ裝飾蛇腹風雨ニ耐ユベキ石、金屬又ハ煉瓦ヲ以テ製作シ建物ノ堅牢部ト充分連結セシメタル場合ニ限リ之ヲ許可ス

第二百十二條　石骨、テラコッタ又ハセメント製裝飾ハ適當ニ取付ケ得ベキ場所ニ限リ之ヲ許可ス

アツチカ式築壁

第二百十三條　最上階天井ノ上部ニ設クベキ壁ハ壹枚煉瓦巾造リニナスベシ

平家建上ニ設クル壁ノ厚サハ少クトモ一枚煉瓦厚ヲ要ス但シ該壁ガ石造蛇腹又ハ屋根ヲ荷フベキモノナルトキハ一枚半煉瓦ノ厚サニ建造スベキモノトス

破風壁及防火壁

第二百十四條　破風壁及防火壁ハ加重用ニ供セザル以上ハ高サ七米突マデ半枚瓦ノ厚サトナシ屋根構造ニ引金物ヲ以テ連結シ猶三米突毎ノ距離ニ於テ力柱ヲ置クベシ

破風及防火壁ノ高サハ七米突以上トナサントスル場合ニアリテハ明細圖ヲ提出スベシ

屋根小屋

第二百十五條　第一及第二建築區ニ於テ屋根受壁ハ少クトモ煉瓦二枚丈ケ屋根床ヨリモ高カラシムベシ

第二百十六條　屋根構造ハ建物ノ本壁ニ側面壓迫ヲ加ヘズ又雪風ニ耐ユル樣構造スベシ

第二百十七條　第一及第二建築區域内ニ於テ道路側ニアリテハ屋根ニ耐火性樋ヲ取付ベシ堅樋モ亦同一材料ヲ以テ製作スベシ

但該樋ハ便所排水ニ使用セザル限リ人道及溝渠ヲ備ヘタル街路ニアリテハ人道ノ下部ヲ通ジテ市街溝渠ニ注流スルヲ得

前項規定ノ要件ハ已ニ存在セル建物ニ之ヲ準用ス

從テ所有者ハ本令施行後一ケ年内ニ相當ノ處置ヲ施スベシ

屋　根　床

第二百十八條　屋根床ハ粘土又ハ瓦ヲ以テ耐火構造トナスベシ

第二百十九條　屋根床上ニ採光ノ爲メ雨水ノ泄ラザル窓ヲ設クベシ

防　火　壁

第二百二十條　屋根床ヘ長キモノニアリテハ毎三十米突ニ屋根面上ヨリ瓦一枚ダケ突起セル防火壁ヲ設ケテ之ヲ區劃スベシ

屋根床ノ使用

第二百二十一條　住宅又ハ工場ノ屋根床ハ穀類又ハ發火シ易キ物質ノ貯藏ニ供スル事ヲ得ズ

雪　受　ケ

第二百二十二條　人道水平面ヨリ軒蛇腹ノ上端マデ高サ六米突以上ノ建物ニアリテハ道路前面屋根端ニ(別莊ヲ除ク)雪受ケヲ取付クルヲ要ス

第二百二十三條　通行用ニ供スル内庭ニ面スル屋根ノ一部ニハ係リ廳ノ命令ヲ受ケタル時ニ限リ雪受ケヲ取付クベシ

アツチカ式樋

第二百二十四條　アツチカニ受付ケシ建物ニアリテ「アツチカ」以外ニ屋根端ガ四十珊知以上ノ幅ヲ有スル場合ニハ其端ニ於テ四乃至五珊知ノブリキ製樋ヲ設クベシ而メ如此シテ成レル樋ハ堅樋

ニ注入セシムベシ

此規定ハアヂチカヲ設ケザルモ軒樋ヨリ以外ニ四十珊知以上ノ余地アル場合ニ準用ス

第二百二十五條　左ノ場合ニアリテハ古建物ニ雪受ケノ取付ケテナスベシ

1、規定ノ屋根トナサントスルトキ

2、屋根端及軒樋ニ比較的大ナル修繕ヲ加フルトキ

雪受ケノ構造

第二百二十六條　雪受格子ハ四十珊知ノ高サヲ以テ屋根ニ受付ケ其垂直ノ桿ト相互ニ八十五乃至百十珊知ノ距離ヲ有シ水平桿ハ中央マデ八珊知米突ノ距離アルヲ要ス

第二百二十七條　屋根ニ掛ケ樋ヲ取付ケタル場合ニ於テ雪受ケ格子ハ軒蛇腹極端ヨリ計算シテ十五乃至廿珊知ノ深サヲ有セシムベシ之ニ反シテアヅヂカ外ノ端樋ノ場合ニ於テハ（屋根端ガアヅチカヨリ側リ四十珊知以内ノトキハ）雪受ケハ樋内ニ取ル事ヲ得ヘシ此屋根端ガ四十珊知以上ノ幅ヲ有スル場合ニアリテハ雪受ケハ屋根端ヨリ十五乃至四十珊知ノ距離ヲ以テ取付クルヲ要ス

第二百二十八條　工事圖面ニハ雪受取付ケノ模様ヲ示スベシ

避雷針

第二百二十九條　爆發物又ハ發火シ易キ物質ノ貯藏用ノ建物ニハ避雷針ヲ備フルヲ要ス

第二百三十條　建物ニ避雷針ヲ受付ケタル場合ニ於テ其旨直チニ土木局ニ届出ツベシ

第二百三十一條　土木局ハ取付ケタル避雷針ノ効力ヲ試驗シ臨機相當ノ改良ヲ命ズ

木材納屋、穀倉、洗濯場及洗濯物仕上ゲ場

第二百三十二條　木材納屋穀倉馬車部屋洗濯場及洗濯仕上ゲ場ハ第一及第二建築區内ニアリテハ一枚瓦厚サノ壁ニシテ耐火屋根ヲ有シ道路線ヨリ六米突ヲ隔テ内庭ニ於テ建設スルヲ得

洗濯場ハ建物内道路ニ面シ設置スル事ヲ得ズ

硝子屋根

第二百三十三條　硝子葺キノ料理店建物車房、園内娯樂場及ビ轉球場ニシテ耐火屋根ヲ採用セル場合ニアリテハ木造トナス事ヲ得但係リ廳ガ狀況ニ顧ミ可能ト認メタル場合ニ限ル

露店

第二百三十四條　露店ハ第三及第四區内ニアリテハ隣家ヨリ三米突ヲ隔テ道路前面ノ明キ地ニ於テ假リ設置ヲ許可ス但之等ノ露店ハ仕上板ニテ見悪クカラザル樣裝飾並塗抹ヲナシ其大サハ二十米ヲ超ユベカラズ

第二百三十五條　第一區内ノ露店ハ本令施行後六ヶ月内ニ立チ退クベシ

第二百三十六條　第二區内ノ露店ハ係リ廳ノ命令ヲ待テ立退クベシ

氷室

第二百三十七條　氷室ハ隣家並ニ自己ノ建物ニ損害ヲ及ボサヾル樣設置スベキモノトス

氷室ガ圍ヒナシノ場合ニアリテハ第百八十五條ノ規定ヲ除キ隣地ヨリ三米突ヲ隔テ設置シ特別ノ側壁及地形ヲ備ヘシムベシ又其壁ヲセメント塗リトナシ地水ノ排泄不能ナル場合ニアリテハ「

ポンプ」ヲ以テ汲ミ出ス様設備スベシ

氷室ヲ建物ノ土中室内又ハ其ノ入口ヨリ深キ所ニ設クル場合ニアリテハ建物ノ圍壁ハ相當ノ根積及地形ヲナスベシ

第十三編　建物の各部

土中室

第二百三十八條　係リ聽ハ左ノ場合ニ於テ土中室ノ堅造（セメント、モルタルヲ用ヒ數瓦セシモノアスファルト等）ヲ命ズル事ヲ得

1、地ガ健康ニ適セザルトキ又ハ

2、地水出ツルトキ

第二百三十九條　土中室ノ通風及光リ取リニ供スル孔及窓ノ乾空底ハ人道又ハ周圍ノ地ヨリ少クモ十珊知高キヲ要ス

第二百四十條　土中室ハ住室又ハ寢室トシテ使用スル事ヲ得ズ

第二百四十一條　左ノ條件ニ適合スルトキハ土中室ヲ工場又ハ厨房トシテ使用スル事ヲ得

1、床ハ溝渠ノ底ヨリ少クモ〇、三〇米突高ク土中室ノ室内ノ高サハ人道水平面ヨリ少クトモ一、十米突高キヲ要ス

2、有害瓦斯及濕氣ノ流入ヲ防グベク床トニハ十珊知厚サノベトン及ビ一珊厚ノアスファルト又ハ之ニ類セル絶緣層ヲ設クベシ此場合ニ於テハ床ノ枕木ハ之ノ層中ニ嵌込マズシテ該物体ノ上ニ並置スベキモノトス又地中ニ埋入セル壁部モ其全延長ニ濕氣止ヲ裝置スベシ

3、土中室ノ高サハ水平天井ニアリテハ二米突六〇圓天井ニアリテハ三米突ヲ有セザルベカラズ

4、窓ハ人道又ハ周圍ノ地盤ヨリ十珊知以上ノ高サニアリテ各窓内法リノ高サハ少クトモ〇、六〇米突其面積ハ一、〇〇平方米突ヲ有スル様建造スベシ又窓ノ數ハ建物ノ構造ニ支障ナキ程サヒル限リ多數ナラシムベシ

5、之等ノ室ハ各々區劃ヲ有シ内部ヲ煖メ得ベカラシムルヲ要ス

6、之等室ノ下部ニ於テ便所及排水ヲ設クルトキハ鐵製又ハ土管ヲ限リテ使用シ煉瓦造リ溝トナスベカラズ

7、此等ノ室ハ堅牢ナル壁ヲ以テ他室ヲ區劃シ特別ノ出入口ヲ設クベシ

第二百四十二條　第二百四十一條ニ揭ゲタル工場及ビ厨房ハ寢室トシテ使用スルヲ得ズ

第二百四十三條　公ノ建物、貸間ヲ有セザル宮殿、別莊、及ビ嶮坂市街ニ存在セル家屋ニアリテハ例外トシテ地下室ニモ亦住居スルヲ得但此場合ニ於テ地下室ハ一面ガ地盤ヨリ全ク高ク又ハ兩側道路ノ人道面ヨリ半バ高クシテ明ラカニ且各方面ヨリノ出入容易ナルヲ要ス

地下室ガ下部ニ穴庫ヲ有セザル場合ニアリテハ第百四十一條ノ2、3、4、5、6、7、頃規定ノ條件ニ相當セルトキニ限リ住室トシテ之ヲ使用スル事ヲ得

大入口及通路

第二百四十四條　大入口及通路ハ廣サ一米突六〇、高サ二米突四〇以上ノ口ヲ有シ自由ニ通行シ得ラルベキ各條件ニ適合スルヲ要ス

比較的大ニシテ家族多キ家屋ニアリテハ所有者ハ規定以上ノ廣キ入口ヲ設ク

ルカ又ハ多數ノ入口ヲ設ケル事ヲ得

階　段

第二百四十五條　第一及第二建築區内ニ建築スベキ劇場ニハ通常少クトモ下層ヨリ屋根床ニ通ズル耐火材料製ノ階段ヲ設クベシ

第二百四十六條　副階段ハ木造トナス事ヲ得但堅木製ニシテ兩壁間ニ築キ下部ヲ迫持トナスベシ又最上階ニ達スル階段ハ木製トナスヲ得ト雖モ此場合ニアリテハ最上階ノ床ヨリ屋根床迄ハ耐火質製ノモノヲ用ヒザルベカラズ

第二百四十七條　屋根床階段ハ平家ニアリテハ木製トナスヲ得レドモ二階家ニアリテハ本階段ノ接續ノ場合ニ根ル屋根床ノ戸ハ鐵製タルベシ

第二百四十八條　本階段ノ幅ハ一米突三〇以上トナスベシ而メ其側端ニハ高サ一米以上ニシテ密且安全ナル石造又ハ鐵製ノ手摺子ヲ備ヘ其上部ニハ手摺ヲ設ケ或ハ相當ノ方法ヲ以テ墜落ヲ豫防スベシ

第二百四十九條　各階段ハ踏面三十珊知ヨリ狹カラズ蹴上ゲ十六珊知ヨリ高キヲ得ズ

第二百五十條　屋根床及土中室階段ノ各幅（踏面）二十五珊知以上ナルベシ但シ其高サハ（蹴上ゲ）二十珊知ヲ超ユベカラズ

第二百五十一條　蝸狀又ハ螺鐵形又ハ半圓狀ノ階段ノ幅ハ一米突三十以上トナスベシ而メ各段ハ其中央部ニ於テ八珊知ヨリ狹カラズ十六珊知ヨリ高カラザルヲ要ス

第二百五十二條　副階段ノ幅ハ〇、九五米突トナスヲ得

第二百五十三條　一室ヨリ一室ニ通ズベキ階段ハ本規定ニ從ハズ

第二百五十四條　公ノ建物、學校又ハ演說集會舞踏等群衆ノ來會ヲ目的トスル私有建物ノ階段ハ其幅少クトモ二米突ヲ要ス而シテ之等ノ建物ニアリテハ持放シ階段ヲ禁ズ

第二百五十五條　本階段ハ戸外内庭通路昇降口ヲ設クベカラズ而シテ中間ニ必ズ踊場ヲ備フベキモノトス

第二百五十六條　廣大ナル住民多キ家屋又ハ家屋ノ一部ヲ工業用ニ供シタル場合ニアリテハ係リ廳ハ多數ノ耐火質本階段ノ設備ヲ要求スルヲ得

昇　降　機

第二百五十七條　昇降機ノ構造及其位置ニ關シテハ毎時特別圖面ヲ提出スベキモノトス

第二百五十八條　昇降機ニハ墜落ヲ防グニ足ルベキ相當ノ裝置ヲ備フベク又豫定ノ終點以上ニ登ラザル樣安全ナル構造ヲ要ス本機使用前係リ廳ハ之ガ試驗ヲナスベシ

上部ノ明リ取リ

第二百五十九條　階段又ハ其他上部室ノ明リ取リニ供スベキ硝子屋根ノ骨ハ鐵製ニシテ規定ノ堅牢ナル壁上ニ取付クベキモノトス

廊　下

第二百六十條　住室ヨリ階段ニ通ズル廊下ハ一米突以上ニシテ耐火材料ヲ以テ建造シ高サ一米突以上ノ安全手摺ヲ備フベシ

廻廊直角曲リ目角ヲ削リ又ハ之ガ取擴ゲヲナシ鈍角ナラシムベシ

煙　突

第二百六十一條　煙筒ハ堅牢ニシテ防火ニ適シ適度ノ通風ヲ有シ且掃除ニ容易ナル樣建築スベキモノニシテ各種ノ木材及燃燒物ヨリ少クトモ十五珊知ノ距離ヲ以テ設クベシ

第二百六十二條　最小又ハ直徑十六珊知露西亞式煙筒ニアリテハ普通ノ竈二箇以上ヲ置クベカラズ又直徑二十三珊知ノ煙筒ニアリテハ三箇以上ヲ集設スルヲ得ズ而シテ數層ノ筒管ヲ一煙突內ニ導クヲ得ザルモノトス

第二百六十三條　煙突ヲ道路正面ノ本壁內ニ築造セントスルトキハ築設ニ關スル明細圖ヲ提出スベシ

第二百六十四條　鐵製煖爐ノ煙突ハ軒下ノ本壁ヲ通ジテ道路又ハ內庭ニ導クヲ得ズ之等ノ筒管ハ規定ノ煙突內ニ導クベキモノトス

第二百六十五條　煙突ニハ閉鎖又ハ調節辨ヲ取付クベカラズ

第二百六十六條　煙突掃除口ハ屋根床ニ設クルヲ得ズ煙突ハ屋根外ニテ掃除スベキモノナルヲ以テ之ガ爲メ所謂防火路ナルモノヲ屋端ニ設クベキモノトス

第二百六十七條　舊家屋ノ大修繕ニ當リ屋根床內ニ萬一煙突掃除口ノ存在セル場合ニアリテハ之ガ取除ヲナシ規定ノ防火路ヲ屋端ニ設クベキモノトス

第二百六十八條　比較的大ナル焚火用ノ煙突ハ屋棟ヨリ三米突高キヲ要ス（必要ノ場合ニハ之ヨリ以上）或ハ管ヲ以テ之ヲ伸長シ熄受ケヲ裝スベシ

焚　場

第二百六十九條　竈（爰ニハ厨房ノ竈及煖房用ストーブヲ包含ス）ハ煤煙適度ノ排出ヲ計リ燃料ガ其內ニ於テ燃盡シ得ル樣構造スベキモノトス

第二百七十條　屋根床內竈ノ建設ハ當然之ヲ禁止ス

第二百七十一條　竈ハ通常圍壁ヲ有スル場合ニ於テノミ焚火スベキモノトス若シ之ニ反スル場合ニアリテハ係リ廳ニ於テ每時之ヲ決定ス

第二百七十二條　空氣湯及蒸氣煖房裝置設備ノ條件提出スベキ明細圖ニ基キ且當該設計者並ニ現場主任者ノ責任ヲ以テ願出スル時ハ見込ヲ以テ之ヲ許可ス

第二百七十三條　ゼルヒー庫（蒸燒場）ハ建物內任意階上ヲ設クルヲ得

該庫ハ石造又ハ瓦ニテ造リ煙突ニ接シテ建設シ其入口ニ鐵戶ヲ設クベシ

第二百七十四條　麵麭燒竈ハ耐火材料ヲ以テ之ヲ造リ其外被ハ天井ヨリ一米突以上ヲ隔テ其側壁ハ各種ノ木材部ヨリ〇、六十米突以上隔タリタルヲ要ス

第二百七十五條　麵麭燒竈ヲ隣家ニ接スル室內ニ設置シタル場合ニ於テハ自己ノ境界壁ヨリ〇、一六米突以上ノ空地ヲ存シ厚サ〇、一六珊知以上ノ丈夫ナル圍壁ヲ築設スベシ

第二百七十六條　パン燒竈及ビ之レト關連セル食物調理場ハ平地又ハ地下室ヲ限リ住室ト全ク分離シテ築設スベキモノニシテ何レノ點ヨリスルモ防火條件ニ適合スルヲ要ス

便　所

第二百七十七條　各家屋ニハ住者ノ數ニ應ジテ相當ノ便所ヲ設クベシ而メ其割合ハ二個ノ小住宅（一箇又ハ二個ノ室ヲ有スルモノ）又ハ大住宅（三室以上ヲ有ス）一軒ニ付キ一ケ所トス

第二百七十八條　便所ハ第一區内ニアリテハ勿論他建築區内ニアリテモ成ヘク建築内ニ設置シ隣家並ニ該建物ヲ損セザル樣築設シ屋上ニ通ズベキ適當ノ通風孔ヲ備フベシ

第二百七十九條　境界壁ニ接シテ設ケタル便所ニアリテハ隣家ニ對シテ境壁ヨリ〇、一六米突以上ノ明キ地ヲ有セシメ且ツ厚サ〇、一六米突以上ノ圍壁ヲ築クベシ

第二百八十條　便水排出管ハ漏出セザル材料ヲ以テ之ヲ製スベシ

第二百八十一條　便所及溜ハ道路側ニ設クルコトヲ得ズ

第二百八十二條　便所ハ住室ニ臨ジ適當ニ配置スルヲ要スト雖シ其窓ハ勿論戸モ可成的本階段ノ昇降口ニ設クベカラズ便所ハ厨房ノ出入口ニ設クルコトヲ得ズ

下水ノ設備

第二百八十三條　公共溝渠ノ設ケアル道路ニ存在スル家屋ニアリテハ便所ハ其下部ニ漏洩セザル溜ヲ備ヘ夫ヨリ糞尿排出ノ目的ヲ以テ適當ノ傾斜ヲ有シ且堅牢ニシテ漏洩ヲ防ゲル屋内溝渠ヲ通ジテ道路溝ニ連絡セシムベシ但屋内溝渠ヲ公共溝渠ニ注流セシムルニ付キテハ市土木局ノ指圖ヲ仰グベキモノトス

第二百八十四條　下水掃除口及其孔口金体ニハ防臭裝置ヲナスベキモノトス

第二百八十五條　給水管ヲ布設セル道路ニ於テ家屋新築ノ場合ニアリテハ便所ニ水洗裝置ヲ施スベシ

暗渠

第二百八十六條　道路ニ於テ尚公共溝渠ヲ備ヘザル場合ニアリテ便所ニハ漏洩ヲ防ゲ爲迫持形ノ特別暗渠ヲ設ケ尿水ヲ其中ニ導キテ夫ヨリ排出ヲ計ルベシ暗渠ハ隣地ヨリ少クトモ三米突隔タルヲ要ス

廐舍

第二百八十七條　廐舍ハ通常平地面ニ設クベシ然レドモ溝渠トノ連絡ヲ保チ得ベキ場合ニアリテハ例外トシテ地下室ニ設クルコトヲ得ベシ

第二百八十八條　廐舍ハ第一及第二建築區内ニアリテハ常ニ圓天井トナスベシ他區ニアリテハ之ニ反シ上部ニ住室アル場合ニ限リ圓天井トナス隣家側ノ壁ハ耐水「セメント」ニテ之ヲ築キ糞尿ハ溝ヲ通ジテ屋内溝渠ニ送リ又ハ耐火石灰ニテ築キタル迫持暗渠内ニ導キ夫ヨリ更ニ排出ヲ計ルベシ

糞尿坑

第二百八十九條　廐舍ハ通常道路ニ面シ之ヲ設ケザルヲ普通トス糞尿坑ハ決シテ道路ヘ面シ設クルヲ得ズ

第二百九十條　糞尿坑ハ時々掃除ヲナシ得ベキ樣設置スベシ

第二百九十一條　一時的ノ板造又ハ木ト煉瓦混合造ノ嵌壁ナル廐舍ノ建築ハ第一及第二建築區ニ於テ之ヲ許サズ

建築區内ノ舍

第二百九十二條　第一區内ノ廐舍ハ多クモ十二頭立テ第二區内ニ於テハ二十頭立以下ノモノヲ設置スルヲ得

第三區内及其他ノ別莊建築區内ニアリテハ通常自用ノ馬匹並ニ牝牛ヲ收容スベキ小舍ニ限リ建設スルヲ得

兵營、宮殿及現時ノ「プタベスト」馬車鐵道營業所ハ本令ニ於ケル例外トナス

第二百九十三條　已ニ建築ヲ了ハリタル廐舍ニシテ本令ニ該當セルモノニ付テ

ハ衛生條令及其他ノ要件ニ關ミ係リ廳ニ於テ之ガ處分ヲナスベシ

第十四編　建築線以外ノ建物ノ部分

側　石

第二百九十四條　側石ノ道路面突出ハ幅七、五米突以下ノ道路ニアリテハ十五珊知米突之ヨリ廣キ道路ニアリテハ二十五珊知トナスコヲ得

突出部

第二百九十五條　前面壁ノ一部分ノ突出ハ幅十一米突以上ノ街路ニ限リ之ヲ許可スルモノトス

前面壁突出部ノ側石ハ道路巾ノ三十分一以上トナスコヲ得ズ

第二百九十六條　市街幅ガ比較的大ナル前面壁突出ヲ許ス場合ニアリテモ隣家ヨリ六米突ノ距離マデハ三十珊知ヲ超ユベカラズ

右三十珊知内ニハ側石ノ出ヲ加算セズト雖モ其場合ニ於テハ常ニ側石ヨリノ出ハ道路幅ノ三十分一ヲ超ユルコヲ得ズ

第二百九十七條　公共ノ紀念建物並ニ公園ニ面セル其他ノ建物ノ前面壁突出部ノ大サニ付キテハ係リ廳ニ於テ毎時之ヲ指定ス係リ廳ハ又比較的廣キ建物前面突出部ノ大サニ付キ時々之ガ決定ヲ與フ但比較的廣キ前面壁突出部ノ縱長ハ建物長サノ三分一ヲ超ユルヲ得ズ

第二百九十八條　側石及ビ前面壁突出部ノ爲メニ要セル公共ノ地面ハ建物ノ存立中ハ其所有者ノ使用ニ供ス

第二百九十九條　側石ニ關スル土地使用料ハ支拂ヲ要セズ但建物ノ所有者ハ前面壁突出部ニ對シ使用認可前ニ於テ係リ廳ガ指定セル全使用期間ノ稅額ヲ支拂フヲ要ス

人道ニ接セル踏段

第三百條　第一及第二建築區ニアリテハ三十珊知以下ノ廣サニ於テ全建物ニ沿ヒ建築線ヨリ突出セル階段ヲ設クルコヲ得各戶前階段ノ設置ハ人道水平面ガ尙決定ナル土地ニ限ル此場合ニアリテハ十一米突以下ノ幅ヲ有スル道路ニ於テ通常建築線ヨリ計算シテ幅三十珊知以下ノ階段一箇トス之ニ反シテ幅十一米突以上ノ道路ニアリテハ二ツノ階段幅合シテ五十五珊知ノモノヲ設クルコヲ得例外ノ場合ニアリテハ係リ廳之ガ特別處分ヲナスベシ

木材置場ノ口

第三百〇一條　人道ニ接シテ木材貯藏場其入口並ニ穴庫窓ノ設置及ビ人道上築建線以外ニ穴庫入口用階段ノ建設ハ一般ニ之ヲ認可スルコトナシ

人道ニ接シテ已ニ設置シタル孔口ハ本令施行ノ日ヨリ一年內ニ撤去スベシ

下層室ノ窓

第三百〇二條　下層室ノ窓ハ人道ノ道路面上ヨリ二、五〇米突以下ノ高サヨリ始ムルモノハ內方ニ開閉スルヲ要ス

第三百〇三條　第一及第二建築區ニアリテハ窓ニ突出セル鐵格子ヲ裝スルコヲ得ス但公園附近ノ別莊ニ限リ例外トス

第三百〇四條　穴庫窓及穴庫ノ格子ハ內方ニノミ開クヲ得

出　窓

第三百〇五條　覆ヒナキ出窓ハ隣家ヨリ少クトモ一米突ノ距離ヲ有シ建築線ヨリ一、五〇米突以下ノ突出トナスベシ

第三百〇六條　圍壁付出窓ハ隣家ヨリ五米突以上ノ距離ヲ有スル場合ニ限リ設クルヲ得

圍壁付出窓ハ蛇腹マデ計リ一、五米突ノ突出ニ限ルベシ

第三百〇七條　出窓ノ下部ハ人道ノ上部ニ於テ少クトモ三米突ノ高ニ設クベシ

庇

第三百〇八條　人道上入口ニ庇ヲ設ケントスルニハ係廳ノ特別許可ヲ要ス

庇ハ堅牢ナル鐵構造トナスベシ但人道ニ其支柱ヲ設クルヿヲ得ズ壁面ヨリ庇ノ突出ニ付キテハ係リ廳毎時之ヲ指定ス

但突出部ハ人道外三十珊知以上ニ及ブヲ得ズ

店燈ノ下部ハ人道ヨリ二、五米突以上高ク又人道上ニ突出セザル樣設置スベシ

人道内ニハ商號及告知札ヲ突出セシムルヲ得ズ已ニ現存セルモノハ本令施行ノ日ヨリ三ケ月内ニ撤去ラベキモノトス

圖天井入口

第三百〇九條　丸天井ノ入口及壁ニ受付ケタル列品箱ハ市長ノ特別認可ヲ經タル場合ニ限リ建築線ヨリ三十米突厚サ以下ノモノヲ設置スルヲ得

販ヤカニシテ隘路又ハ壁突出部ヲ已ニ設ケタル家屋ニアリテハ交通ノ標準トシテ第一項ノ幅員ヲ制限シ又ハ其認可ヲ拒絶スルヲ得

第三百十條　壁ニ取付ケズシテ人道上ニ据エ置ケル陳列箱ハ一般ニ之ヲ許可セズ已ニ現在セザルモノハ本令施行ノ日ヨリ一年以内ニ撤去スベシ

第三百十一條　丸天井入口又ハ列品箱ノ取付ケニ當リ壁柱ヲ削リテ之ヲ弱ムルヲ得ズ

第十五編　製造所及工業的企業

音響ヲ伴フベキ工業

第三百十二條　千八百八十四年法律第十七號第三十四條ニ依リ大音響ヲ發スベキ業務ハ寺院、學校、病院及其他音響ノ爲メ適當ノ使用ヲ妨ゲラレ得ベキ公共ノ建物附近ニ於テ之ヲ營ムヲ得ズ

第三百十三條　千八百八十四年法律第十七號第二十五條ノ製造所ニ關スル營業証明書ヲ提示スルニアラザレバ建築認可証明書ヲ與フルヿナシ又他ノ場合ニ於テハ營業証明書ノ存在セルニ拘ハラス其認可ヲ拒ムヿヲ得

第三百十四條　第三建築區並ニ別莊區及ビ直接セル建築地ニアリテハ製造所又ハ製造的營業ノ目的ニ供スル建物ヲ禁ズ

健康上有害ノ臭ヲ發セシムル製造所

第三百十五條　千八百八十四年法律第十七號第二十五條ニ揭グル營業中左記ノモノハ健康ヲ害スベキ臭ヲ發生セシムベキ製造所トス

獸毛精製所
礦油精製所
腹及琴糸精洗所
亞鉛華製造所
洒骨所
煮骨所
骨打碎キ場
皮剝所

膠製造所
脂肪溶解所
坩堝ヲ使用セザル鑄鐵所及粗製冶金所
ペンキ製造所
瓦斯ヲ生ズル工業
蠟燭製造所（精製脂肪ヲ用ユル製造所ヲ除ク）
速晒所
發火用物ニ關スル總テノ製造所
鍛鐵場
瓦紙製造所
コールタ及コールタ塗被覆製造所
糊及糊汁製造所
粗製品製造所以外ノ「コークス」製造竈
松材煤煙製造所
麻革浸漬所
油製造所
パラフィン油製造所
焙シ竈
石鹸製造所
アルコール製造所
柔皮製造所（革皮製造所ヲ指ス革皮仕上所及白色柔製皮造所ヲ除ク）
肥料製造所
屠場
健康ヲ害スベキ物質ヲ供給スル化學品製造所
血炭及灰水製造所
營業ノ大小及製造所ノ種類ニ關セズ右等ノ製造所ハ之ニ關スル特別規定ニ基キ設置スルヿヲ得
尚右規定中ニ入ルベキモノ左ノ如シ
酢釀造所
家畜飼養所
加熱式處理ヲ施スベキ車輛用塗料製造所
將來不健康ノ臭ヲ發生スベキ製造所ト當該官廳ノ認ムル營業所全体

第三百十六條 前條ニ擧ゲタル製造所及工業的企業ニ關シ指定セル特別區左ノ如シ

1、左岸ノ市區ニテハ、フランツ町ノ外廓及「スタインプルソフ」町ヲ成セル地方ニシテ「アパツセルホツテル」附近ニ起レルドナウ沿岸ヲ逆上リ鐵道連絡線ニ及ビ又フタインプルツフ街並ニ下鐵道道路ノ西側及ビ「ギエーメル」街ヨリ起リ「アパツフイ」道路及該道路ノ接續線トシテ設計セル「ヤスベレン」道路ニ至ル道路ノ南正面ト「ベフオルスツンゲスギュルテル」及ビゾロクザール街ニ至ルマデ境ヲ接スル地但屠場地域ヲ加フ

2、右岸ノ市區ニアリテハ外部オーフエン市場街トナウ沿岸及スツールワイセンブルヒ街間ニアリテ下境界ニ達スル地

第三百十七條 骨及襤褸及其仕分ケ營業所乾骨場骨及襤褸倉庫ノ指定地左ノ如シ

1、左岸ノ市區ニアリテハ連絡鐵道線ノ下部第九管區ニ介在セル地方ニシテ「ドナウ」河及「ゲーパツセルホツテル」ニ沿ヒタル「ベルフオルスツンゲスギュルテル」並ニ「イラトース」墓地及ゾロクザール街ヨリ鐵道連絡線ニ至ル「ゾロクザール」街ヲ以テ圍繞セル地

2、右岸ノ市區ニアリテハ鐵道堤ノ下

部ニ介立スル地ニシテ不健康ノ臭ヲ發生スベキ製造所指定地ノ一部

製造所ノ煙突

第三百十八條 三米突平方(又ハ以上)ノ熱面ヲ以テ焚火ヲ罐ヨリ排出セシムベキ煙突ハ製造所用ノモノト見做ス又他ノ場合ニアリテハ一時間ニ燃燒セル炭量ヲ以テ標準ト定ムル而シテ其量ガ二十基瓦ニ及ブ場合ニアリテハ其燃燒瓦斯排出用ノ煙突ハ亦製造所用ノモノト見做ス

第三百十九條 製造所ノ煙突ハ其附近ノ建物ノ棟ヨリ三米突以上高キヲ要ス故ニ若シ將來其附近ニ煙突以上ノ高サヲ有スル建物ノ建築アリタル場合ニアリテハ必要程度ノ高サヲ煙突ニ追加スルヲ要ス

蒸溜機罐

第三百二十條 別莊地及別莊的建築地域並ニ保養目的地ノ附近ニアリテハ工業用ノ汽罐ヲ据付クルコヲ得ズ

第三百二十一條 滯在ニ供スベキ建物ノ下部並ニ住家ヨリ三米突以内又堅牢ナル天井ヲ有スル建物又ハ圓天井ヲ有スル建物内ニ普通ノ汽罐所謂發爆性ノモノヲ据付クルコヲ得ズ

此種ノ汽罐ハ輕易構造ニシテ而モ耐火性天井ヲ備エタル場合ニ据付クベキモノニシテ据付地ハ隣地ヨリ三米突ノ距離ナルヲ要ス自己ノ地面内ニ存在セル住室ヨリ三米突隔ツル能ハザル場合ニアリテハ住室ノ壁ヨリ十五珊知ヲ隔テ相當ノ土壘ヲ有シ且罐ノ最高部ヨリ二米突高キ厚サ四枚瓦ノ堅牢壁ヲ以テ汽罐ヲ圍ムヲ要ス

第三百二十二條 小煮沸管ヲ備フル所謂安全汽罐及百リートル以下ノ水槽ヲ有スル汽罐並ニ普通ノ加熱場ニテ使用セル汽壓〇、六ニシテ安全辨ノ外ニ吸上管及ビ自動補水器ヲ備フル汽罐ハ一般ニ各種建物内ニ据付クルコヲ得

第三百二十三條 熱面三米突平方以下ノ汽罐ニアリテハ煙ノ排出ニ普通ノ煙突ヲ使用スルコヲ得但蒸汽ヲ煙突内ニ引クコヲ得ズ

第三百二十四條 汽罐ハ獨立圍壁ヲ築キテ全ク獨立セル基礎上ニ据付クベシ基礎ハ〇、一五米突以上ノ幅アル空地ヲ以テ隣家ノ境界壁ヨリ隔ツルヲ要ス

撒煙器

第三百二十五條 第一及第二建築區内ノ製造所用煙突ヲ設ケタル焚火ニアリテハ相當ノ散煙器ヲ準備スベシ瓦斯及コークス爐ハ散煙器ヲ設クベシ其他係リ廳ガ散火器裝置ヲ附スベキモノト認メタルモノヲ散煙器焚火トス

第三百二十六條 建築廳ハ第一及第二建築區内ノ焚火ニアリテハ一定期間内ニ散煙器裝置ノ取付ケヲ命ズルノ權ヲ有ス

發動機

第三百二十七條 工場ノ要件ニ適合セザル建物ニアリテハ發動機ノ据付ヲ許ザス

第三百二十八條 發動機(蒸溜、瓦斯、石油、ベンチン等ノ發動機)ハ周圍〇、一五米突ノ完全空所ヲ有シ全ク獨立セル基礎上ニ之ヲ設置スベキモノトス

第三百二十九條 一七五瓲米突以上ノ圓徑ヲ有スル爆壁「モートル」ハ左ノ場合ニ限リ隣地ニ接スル室内ニ設置スル事ヲ得

基礎ガ隣家ノ壁ヨリ三米以上隔リタルトキ

○、一五米突ノ空地ヲ以テ隣家壁ト並行シ建物ノ全高サニ第二ノ壁ヲ築キタルトキ

第三百三十條　爆發機關（瓦斯機械等）ノ流出管ガ隣地ヨリ十米突以上ノ距離ニアラザル場合ニ於テハ仕切サレ若クハ完全ニ獨立シタル基礎上ニ設ケタル容器ヲ之ニ備フベシ但該容器ノ面積ハ圓筒容積ノ五倍アルヲ要ス

此流出管ノ口ハ隣家ノ防火壁ヨリ一米突以上突起スルヲ要ス此孔口ハ之ヲ溝渠中ニ導クベカラズ

第三百三十一條　蒸氣機關ノ流出管ガ直接戸外ニ出デ其廻轉速力ガ毎一分時六十以上ナルトキハ仕切ラレタル容器ヲ之ニ附スベキモノトス

運轉機

第三百三十二條　運轉機ノ受土臺ハ亦獨立基礎ヲ有スベキモノトス

第三百三十三條　印刷機（輪轉機）金敷、蒸氣槌、ダイナモ、搗碎器、捏粉機等ノ如キ發動機ノ作用ガ大音響ヲ伴エル場合ニアリテハ當該機械ハ特別ナル特立建物内ノ獨立基礎上ニ据付クベキモノトス

弧立セル製造所

第三百三十四條　製造所建物ガ隣地境界ヨリ二十米突ヲ隔テ又道路前面ヨリ十米突以上隔リタル地ニ設置セラレ得ルダケノ土地面積ヲ有スル場合ニ於テハ其製造所ヲ獨立ト見做ス

第三百三十五條　獨立製造所建築ニアリテハ係リ廳ハ壁ノ厚サ建物各部ノ構造殊ニ材料品質ニ關スル本令規定ヲ多少酌酌スル事ヲ得然レ共建築主並ニ設計者及ビ主任技師ハ建物ガ完全ニ身体保安ノ條件ニ適シ且一般ニ建築條令ニ該當スルモノナル事ヲ保證スルノ責任ヲ有ス

左ノ各項ハ常ニ必要ナルモノトス

1、各種製造所建物ニハ一箇ノ耐火梯子ヲ備フベシ又比較的縱長ナル建物ニアリテハ毎四十米突ノ距離ニ一、五〇幅ノ耐火梯ヲ備ノベシ

2、不潔又ハ惡臭ヲ發スル流液ハ屑及糞便ハ附近住民ノ健康ヲ害セザル樣運搬若クハ收容スベシ

3、職工三十人毎ニ付廣キ小便所ヲ備エタル厠一箇、但厠ハ少クトモ二箇ヲ設クベシ

4、製造所役員及作業者ノ住所ニ供スベキ建物ハ火災ニ罹リ易キ建物ヨリ二十米突以上ノ距離ヲ有シ少クトモ輕易建築法ヲ以テ築設スベシ

5、各建物ハ火災ノ場合ニ於テ消防具ヲ以テ參集シ能フダケノ相互距離ヲ有スベシ

第三百三十六條　製造所使用ノ水ヲ濫渠内ニ注入スル場合ニアリテハ豫メ冷却スルヲ要ス

第十六編　圍障

第三百三十七條　第一及第二建築區内ノ各建築地ハ圍障ヲ施スベキモノトス公安清潔又ハ當該建築地使用上必要ト認メタル場合ニアリテハ係リ廳ハ第三及第四區ノ各建築地ニ對シテモ圍障設置ヲ命ズル事ヲ得

第三百三十八條　土木局ガ境界線ヲ榜示セズ又之ニ證明ヲモ與ヘザル場合ニア

リテハ圍障設備ニ着手スル事ヲ得ズ

境界線標示ノ際ハ利害關係ノ隣者ヲ召喚ス

第三百三十九條 第一及第二建築區內ノ道路線上ノ圍障ハ美麗ナル壁又ハ側石附鐵格子又ハ鉋仕上ゲノ板壁トシテ前庭ニ沿ヒ(別ニ條件アラザル限リ)ヲハ鉋仕上ノ狹キ板籬又ハ側石付鐵格子ナルヲ要ス

第三百四十條 內部境界線ニハ單壁又ハ板塀ヲ設クベシ

第三百四十一條 圍障ノ高サハ一般ニ二米突(完全水平面ヨリ計ル)ト定ム二米突以上ノ圍障ニ付キテハ係リ廳ノ特別許可ヲ要ス

第三百四十二條 第三區及別莊的建築地ノ圍障ニ境界線並ニ內側境界ニ於テハ高一、九〇米突以下ニシテ專ラ透カシ板籬又ハ金網籬ノ設備ヲ許可ス但此場合ニアリテハ建築地ノ位置ニ關シ別段ナル圍障法ノ規定アラザルトキニ限ル

何レノ建築ヲ問ハズ道路線上ニ茨垣又ハ荊アル垣ヲ設クルヲ得ズ

第三百四十三條 第三及第四建築區ニアリテハ建築地ノ圍障トシテ生垣ノ設備ヲ許ス但該垣ノ高サハ一、四〇米突以下ニシテ隣家又ハ道路ヨリ〇、五〇米退ケ且一小枝モ境界線上ニ出デザル樣常ニ剪採スルヲ要ス

第三百四十四條 相接スル二ツノ建築地間ニアリテハ當事者ハ共同ニ圍障ヲ設クルヲ得此場合ニアリテハ當事者ハ其維持費ヲモ分擔スベキモノトス然レドモ概シテ各持主ハ其建築地ニ圍障ヲ施スノ義務アルモノトス

第十七編 給水

水道

第三百四十五條 給水及排出管ハ隣家ニ接觸セル壁ニ設クルヿヲ得ズ

第三百四十六條 水道溜及貯水池ハ隣家ノ壁ヨリ少クトモ四十五珊知ヲ隔テ、設置スベシ

井

第三百四十七條 井ヲ設ケントスルニハ常ニ建築廳ノ許可ヲ要ス右ニ關スル願書ニハ井水使用ノ目的及見込ヲ立テタル堀井師ノ姓名ヲ記載シ最後ニ當該地及隣地ノ明細圖ヲ附シ圖中井ノ位置ヲ適當ニ現ハスヘシ

第三百四十八條 飲料水供給ノ目的ヲ有スル井ハ通常便所及溝渠ヨリ八米突暗渠ヨリ十五米突ヲ隔ツベシ

第三百四十九條 隣家ノ境界線又ハ共ヨリ一米以內ニアリテ堀井セントスルニハ隣家ノ承諾ヲ受クルヲ要ス

第三百五十條 堀井ニ際シテハ井口ニ大ナル注意ヲ拂フベシ

井口ノ板ハ厚サ少クトモ五珊米ヲ要ス

第三百五十一條 井ハ石又ハ最良楔形瓦ヲ以テ疊ムベシ

第三百五十二條 各井ハ適宜ノ方法ヲ以テ蓋フベシ

第三百五十三條 飲料水供給井ハ建築廳ノ特別認可ヲ受ケテ使用スベシ

建築廳ハ井水ヲ試驗シ衛生上良好ト認メタル場合ニ限リ其使用ヲ許可ス之ニ反スル場合ニアリテハ飲料水供給ノミノ目的ノ井ハ直ニ其填塞ヲ命ズ

第三百五十四條 不可飲雜用水ニハ持主ノ費用ヲ以テ官署ヨリ注意札ヲ貼付ス

第十八編　新築家屋ノ使用

第三百五十五條　凡テノ新築家屋又ハ舊家屋内ニ適法ノ改築ヲ施シタル建物ハ官署ノ認可ヲ得テ認可圖面指定ノ目的ニノミ專ラ使用スルヲ得ベシ

第三百五十六條　使用認可ヲ乞ハントスルニハ使用豫定ノ日ヨリ少クモ三十日前市廳ニ願書ヲ提出スベシ

規定ノ稅金ハ豫納スベキモノトス

第三百五十七條　使用認可ノ請求ハ使用豫定前ニ査定スベキモノトス

第三百五十八條　使用認可ハ建築及衛生警察上ノ豫行檢査ノ結果建物並ニ局部ガ請求使用ノ目的ニ全ク適合セルモノナルヿヲ認メタル場合ニノミ與フルモノトス

第三百五十九條　市長ニ依テ編成セラレタル委員會ハ豫シメ持主ノ承諾ヲ經テ建築及衛生警察上ノ檢査ヲ行フ

委員會事務擔任ノ行政官ノ外技術者一名並ニ醫官一名ハ常ニ該檢査ニ參加スルヲ要ス

第三百六十條　住宅ノ使用期ニ關シテハ次ノ原則ヲ準用ス

1、二階以上ノ家屋、家根葺濟ノ年ニ於テ使用スルヲ得ズ

2、平家又ハ一階建家屋ハ壁ガ一枚半瓦以下ノ厚サニシテ五月中已ニ家根葺ヲ了ハリタル場合ニ限リ十一月使用ノ認可ヲ與フ

第三百六十一條　未出來ノ建物又ハ住宅出來前ノ工場使用認可ニ付キテハ建築及衛生警察上ノ点ヨリ觀察シ建築官廳ニ於テ毎件之ヲ判決ス

第三百六十二條　或建物ヲ使用認可ニ相違セル目的ニ供セントスルニハ建築廳ノ認可ヲ要スルモノトス

右訂正認可ノ請求ニハ第三百五十六條ヲ準用ス

第三百六十三條　賃借人ハ使用認可濟ナルヤ否ヤヲ取調ベ而シテ賃借人ガ使用認可濟ナル旨ノ証明ヲ乞フ場合ニ於テハ市長ハ即時之ヲ交附スベシ

第三百六十四條　使用認可ヲ經ズシテ使用セル場合ハ持主ニ於テ費用並ニ一切ノ損害ヲ負擔シ緊急ノ場合ニハ强力ヲ以テ官署ヨリ之ガ明渡シヲ命ス

此場合ニ於テハ同時ニ之ヲ罰則ニ照ス

第十九編　建築物ノ維持

第三百六十五條　各種ノ建物、圍障及井ハ其存在中規定ノ維持法ニ從フテ取扱フベシ

第三百六十六條　係リ廳ハ著ルシク無飾ノマヽ、放棄セル建物ノ修繕、新規壁塗又ハ相當ノ修理ヲ命ズルノ權ヲ有ス

第三百六十七條　一屋ノ下ニアルモノ又ハ一團ノ建物ニシテ前面一軒ヲナセルモノハ其儘常ニ保存スベシ

第三百六十八條　修繕スルモ恢復ノ見込ヤク又其存在ガ身体財産ノ安全ヲ害スベキ程度ノ破損家屋及其各部又ハ圍壁ニ拂付キテハ係リ廳其狀況ニ從ヒテ取閉鎖又ハ取敷ハシテ命ズ

緊急ノ場合ハ持主ガ命令期間ニ實行ヲリサールル場合ニアリテハ係リ廳ハ持主ヲシテ自已ノ費用ニ依リ一切ヲ實行セシムルヲ得

第三百六十九條　建物取敷ハシニ當リ隣

家建物ノ露出部分ハ條令ニ從フテ修理スベシ

第二十編　罰則

第三百七十條　本令ニ反スルモノハ吟味ノ結果ニ從ヒ五乃至千フロリーンノ罰金ニ處ス

第三百七十一條　第三百七十條ノ吟味ニ付官署ヨリノ召喚ニ應セザルモノハ缺席判決ヲ受クベク又此場合ニ於テ係リ廳ハ職權ヲ以テ調査セル事實ニ基キ罰金ヲ課ス

第三百七十二條　罰金及其執行費用ハ稅金ト共ニ行政手續ヲ以テ之ヲ徵收ス

第三百七十三條　罰金ハブダペスト市ノ貧民金庫ニ送附ス

第三百七十四條　刑法ニ反スル行爲又ハ不行爲アリタル場合ニアリテハ事實取調後事件決定前直ヲニ其事件ヲ當該刑事裁判所ニ引渡スベキモノトス此場合ニアリテハ刑事裁判手續結了ニ至ルマデ行政官廳ハ其手續ノ進行ヲ中止ス

第二十一編　管轄

第三百七十五條　本令施行ニ關シテハ第三百七十九條ノ例外ノ場合ヲ除キ左ノ官廳ニ於テ之ヲ司トル

第一審　市　長

第二審　市建築委員會

第三審　王國ウンガルン內務大臣

第三百七十六條　右官廳ノ決定ニ對スル抗告書ハ該決定書送付ノ日ヨリ十五日以內ニ市廳調書課ニ提出スベシ

右期間經過後ニアリテハ取調ベヲ要セズ職權ヲ以テ抗告ヲ却下ス

第三百七十七條　實行ノ猶豫ガ危險ヲ伴フ場合ニアリテハ所有權以外ニ限リ抗告ヲ許可スベシ詳言セバ此場合ニ於テハ抗告ハ妨ゲラルヽコトナシ但此事項ハ決定書中ニ特記スベキモノトス

第三百七十八條　第二審ノ決定ニ對スル抗告ニハ市長ガ自己ノ決定ヲ飜ヘシテ更ニ新規ノ決定ヲ與フルニ足ルベキ參考書ヲ附シテ提出スベシ

第三百七十九條　停車場又ハ汽車鐵道線路ヨリ六十米以內ノ建物ノ管轄ハ千八百八十一年法律第四十一號第十七條ニ依リテ左ノ如シトス

第一審ハ　行政廳タル市建築會

第二審ハ　王國ウンガルン商務大臣

第三百八十條　本令ハ下二項ニ及バズ

1、國王殿下及其宮中ノ常住又ハ假居及其附屬建物

2、專ラ城築用ニ供スベキ建物

第三百八十一條　本令ハ千八百九十四年一月一日ヨリ施行ス

（畢）

役員及職員

理事長　片岡安
理事　宗兵藏（主記）
　　池田宗實（編輯）
　　葛野壯一郎（編輯）
　　吉井長七（編輯）
　　舟橋喜一（主計）
編輯補　波江悌夫
設計　樂貞雄
　　佐藤四郎
書記　江村郊邨
　　山崎萬壽夫

會員	一七四	會員（地方）	五一
名譽贊助員	七二	終身贊助員	四〇
特別贊助員	九	普通贊助員	二四三
合計	五八九		

本誌及廣告料定價表

本誌	冊數	定價	郵稅
	一冊	金五拾錢	貳錢
	十二冊	六圓	貳拾四錢

廣告料	種別	金額
	半頁	八圓
	一頁	拾五圓
	特別頁	貳拾圓
	裏表紙表	貳拾五圓

大正九年三月廿九日印刷（毎月壹回）
大正九年四月一日發行（一日發行）

大阪市北區相生町一三四
電話（東一八八三番）
發行兼編輯人　伊藤幸太郎

大阪市東區內淡路町一丁目三十一番地
印刷人兼印刷所　大阪活版所

大阪市東區今橋一丁目十一番地
發行所　日本建築協會
電話本局二二四一番
振替口座大阪三九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話（土佐堀二四四〇番）
振替口座二〇八四番

第三集　第四号　掲載広告一覧（掲載順）

三石耐火煉瓦グレー
池田稔事務所
出浦建築事務所
新海工務所
葛野建築事務所
渡辺建築事務所
片岡建築事務所
横河工務所
宗建築事務所
真水工務所
真水三橋建築事務所
遠藤於菟
木子建築事務所
設楽建築工務所
茂、野村建築事務所
山本窯業商店
池田勘蔵

大倉土木組大阪出張所
橋本料左衛門
大林組
竹中工務店
長瀬兵馬
山本鑑之進工務所
山中建築部
山本組
鴻池組
松村組
小西組
安藤組大阪出張所
清水組大阪支店
木村組
清水工務店
銭高組
内外土木建築材料

熊取谷熊次郎
石井定七
矢橋商店
濱恒次郎本店
ホーン大阪支店
穴原商会
浅海商店
村井工業所
野沢幸三郎商店
高田商会銀座販売店
明正社大阪支店
山本コンベス商会
大野正営業所
大阪窯業
銀座建築用品店
大阪煖房商会
大阪電気商会

高田商会
松尾和助本店
大阪鉄筋混凝土工務所
横河橋梁製作所
高石商会本店
米国貿易会社
浅野スレート大阪出張所
共同建材製作所
栄進社
日本コルク
日本石綿盤製造
コルク工業
東洋鉄網製造
東洋コンブレッソル大阪出張所
須賀商会
有田製陶所
宇野沢組スティンド硝子製作所
川崎工場
巣鴨製作所大阪支店

北木島石材大阪出張所
日本建築協会
旭家具装飾
茂木
